

千歳市の教育

2 0 1 2



平成24年4月に開校した勇舞中学校

千歳市教育委員会

目 次

I	千歳市の概況	1
II	教育計画	
1	千歳市第6期総合計画 抜粋	3
2	千歳市生涯学習基本計画	12
III	教育目標	14
IV	教育行財政	
[1]	教育行政	
1	教育委員会委員	15
2	歴代教育委員会委員	16
3	教育行政の沿革	17
4	市内小中学校の変遷	21
5	教育委員会組織と事務分掌	25
[2]	教育財政	
1	教育予算	26
2	平成24年度主要事業予算	27
V	学校教育	
[1]	学校教育の主な施策	28
[2]	児童生徒数の推移	30
[3]	学校の概要	
1	小学校	31
2	中学校	48
3	幼稚園	57
4	高等学校	58
5	大学・各種学校	60
[4]	就学の助成	
1	就学援助	61
2	特別支援教育助成	63
3	奨学金制度	65
4	私立幼稚園助成	66

〔5〕 学校保健	
1 児童生徒の体位	67
2 災害共済給付	68
〔6〕 学校給食	69
〔7〕 生徒指導・青少年指導	71

VI 社会教育

〔1〕 生涯学習・社会教育の主な施策	75
〔2〕 社会教育委員・公民館運営審議会委員	76
〔3〕 生涯学習・社会教育の対象	76
〔4〕 社会教育事業	77
〔5〕 文化財	79
〔6〕 社会教育施設	
1 千歳市立図書館	88
2 千歳市立千歳公民館	90
3 千歳市民文化センター	92
4 千歳市民ギャラリー	95
5 千歳市民活動交流センター「ミナクール」	97
6 千歳市青少年会館	98
〔7〕 公益財団法人千歳青少年教育財団	99

VII 社会体育

〔1〕 社会体育事業	103
〔2〕 学校開放事業	104
〔3〕 社会体育施設	
1 千歳市温水プール	106
2 千歳市スポーツセンター	107
3 千歳市開基記念総合武道館	108
4 その他の社会体育施設	109

VIII 教育委員会議の開催状況

111



千 歳 市 章（昭和27年5月1日制定）

ちとせの「ち」を飛行機の形に図案化して、空港がある臨空都市を表現するとともに、国立公園支笏湖とその連山、豊かな大地など、伸びゆく千歳の姿を描いています。

I 千歳市の概況

1 位置及び地勢

千歳市は、北海道の中南部・石狩平野の南端に位置し、市域は東西に細長く西高東低の地形で、札幌市や苫小牧市など4市4町に隣接しています。

市街地の海拔は、15m 前後の低地となっていて、飛行場の付近には太平洋と日本海の分水嶺があり、標高は25m 前後と国内では最も低いものとなっています。

西部は、国立公園支笏湖や世界的にも珍しい三重式活火山を樽前山(1,041m)は、頂上部に溶岩円頂丘があり、北海道の天然記念物に指定されています。ほかにも、恵庭岳(1,320m)、オコタンペ湖、美笛の滝、苔の洞門、支笏湖に面して泉質の異なる3つの温泉など、レクリエーション・リゾートの地としてにぎあいを見せています。

中央部は、ほぼ平坦地で、市街地をはじめ工業団地、飛行場、自衛隊駐屯地・基地、農用地などに利用され、東部は丘陵地帯で農林業に活用されています。

千 歳 市 の 位 置					
方 位	町 名	経 緯 度			
極 東	東 丘	東経	141°	52′	12″
極 西	美 笛	東経	141°	10′	17″
極 南	美 笛	北緯	42°	40′	53″
極 北	新 川	北緯	42°	57′	12″

千歳市役所の位置

東経：141° 39′ 04″ 北緯：42° 49′ 18″

広 が り 東西：57.20 km 南北：30.40 km

面 積 594.95 km²

隣接市町村 東：由仁町、安平町 西：伊達市

南：苫小牧市、白老町 北：札幌市、恵庭市、長沼町

2 気 候

千歳市は、太平洋と日本海の気象の影響を受ける分岐点に位置しています。夏季の最高気温は 30℃程度、年間の平均気温は6℃から8℃であり、内陸型のしのぎやすい気候となっています。年間降水量は 900 mmから 1,000 mm程度で、降雪量も道内では少ない地域です。風向は一年間を通して南北に一定しているため、国内の他の空港が横風用滑走路を必要とするのに対して、千歳の空港は日本で唯一、平行の滑走路になっています。

3 人 口

千歳に戸長役場が置かれたのは、明治 13 年です。当時は、47 世帯 209 人の宿場町に過ぎず、大正後期から昭和初期に至っても人口は 5,000 人前後の寒村でしたが、昭和 14 年に海軍航空隊の基地完成により人口が 10,000 人を超え、以来、戦後の米オクラホマ州兵団駐留や自衛隊の移駐などで人口は増え続け、昭和 33 年 7 月 1 日には、北海道第 17 位の人口となり、道内 24 番目の「市」になりました。

昭和 50 年の国勢調査では 61,031 人にのぼり、J R 千歳線鉄道高架が完成した 55 年国勢調査では 66,788 人と北海道第 12 位の都市に躍進しました。平成 2 年国勢調査では 78,946 人、7 年国勢調査では 84,866 人、12 年国勢調査では 88,897 人、17 年国勢調査では 91,437 人、22 年国勢調査では 93,630 人となり、人口増加数は、道内他市町村が人口減少の中、札幌市、音更町に次ぐ道内第 3 位で、増加率は道内市部第 2 位となり、増加の一途をたどっています。千歳市の人口は、現在道内第 10 位となっております。

平成 24 年 4 月 1 日現在の人口・世帯	
男	47,464 人
女	46,120 人
総人口	93,584 人
世帯数	44,701 世帯

(住民基本台帳)

4 地名の由来

千歳の旧地名は、アイヌの人たちの言葉でシコツと呼ばれていました。シコツとは「大きくぼ地、または谷」という意味で、当時は、大空に鶴が舞い、川にはサケが溯る自然にあふれた大地でした。また、シコツには、太平洋と日本海を結ぶルートとなる「シコツ越え」があり、万治元年（1658 年）に、現在の千歳神社の位置に志古津弁天小社が造営されるなど、人の往来が多い地でした。文化 2 年（1805 年）、シコツ場所担当の箱館奉行調役並山田鯉兵衛嘉充が箱館奉行羽太正養に新しい地名を付けてほしいと願い出ました。そこで、シコツの地には多くの鶴がいることから、「鶴は千年、亀は万年」の故事から千歳と命名されました。

千歳市民憲章

世界をつなぐ 北の大空。
千歳川の 清い流れ。
開拓 ここに一世紀。
私たちは、誇りある千歳市民です。
郷土の発展と、お互いのしあわせを
願い、この憲章をかかげて、力強く
前進をつづけます。

1. 心身をきたえ、仕事にはげみ、
明るく 若々しい まちにしましょう。
1. 自然を愛し、季節に親しみ、
快く 楽しい まちにしましょう。
1. きまりを守り、力を合わせて、
美しく 住みよい まちにしましょう。
1. 年よりを敬い、子どもの夢をはぐくみ、
温かく 平和な まちにしましょう。
1. 文化を育て、希望にみちた、
豊かな おちついた まちにしましょう。

(昭和 54 年 7 月 1 日制定)



「希望」「健康」「自然」「連帯」「愛」を
イメージする市民権肖像

(平成 3 年 7 月 20 日建)

Ⅱ 教育計画

1 千歳市第6期総合計画 抜粋 《 学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち 》

(1) 生涯学習のまちづくり

[基本方向]

- ・市民へ生涯学習活動の必要性を普及・啓発するとともに、市民が抱える地域課題や生活課題に対する学習を支援し、学びの意欲を向上できるよう、生涯学習社会を推進する総合的な環境づくりに努めます。
- ・市民・団体・事業者・学校・行政などが連携し、活動に伴う様々な情報を共有し、刺激し合い相互に学びあえるようにネットワークと活動支援の場の整備を図るとともに、市民活動をリードする地域の人材育成と発掘に努めます。
- ・未来を担う子どもたちを守り、育てる地域社会を実現するため、地域の様々な人材を活用しながら子どもたちの安全で健やかな活動場所の充実や拡大を図ります。

[施 策]

ア 学びあえる仕組みづくりの推進

<目指すこと>

いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりを推進します。

<取組の方向>

- ・地域課題や生活課題に対する自主的な学習活動を支援します。
- ・市民の生涯学習活動が「人づくり」、「まちづくり」、「地域づくり」につながる学びの意欲の向上を促進します。
- ・市民・事業者・行政などが連携した学習支援や交流を図るよう、生涯学習の活動を支援します。
- ・市民主体のまちづくりのため、生涯学習の普及・啓発活動を充実します。

イ 市民活動の活性化とネットワーク体制の充実

<目指すこと>

市民の学習活動やまちづくり活動への支援体制を確立させるため、学習機能のネットワーク体制を充実します。

<取組の方向>

- ・市民や団体の交流等を通じて、まちづくり活動を行うセンター機能の強化を図ります。
- ・生涯学習実践活動団体などの地域の学習情報を共有できるネットワーク体制を充実します。
- ・まちづくりを行う人材や団体の育成と活動支援を図ります。

ウ 未来の社会を担う人づくりのための機会の創出

<目指すこと>

子どもたちが健やかに育ち、社会性や協調性を養い、新しい社会に柔軟に対応していく力を身に付けるため、様々な体験や挑戦を行う機会を創出します。

<取組の方向>

- ・子どもたちの活動を大人が応援し、見守る中で子どもたちの自主性や協調性が養われるよう、放課後などにおける様々な体験の機会を拡充します。
- ・市民が自らの資格や技能、また、生涯学習の機会から学んだことを実際に学校活動などの地域活動に生かせる仕組みや体制づくりを強化します。

(2) 幼稚園教育の充実

[基本方向]

- ・就園を希望する幼児がより良い環境で教育を受けられるよう、幼稚園教育の促進を支援します。
- ・幼稚園の整備、教職員の研修等を取り入れ、時代に合った特色ある教育環境の促進を支援します。
- ・早期の問題解決や学校生活への円滑な移行が可能になるよう幼稚園と小学校との連携の支援を推進します。

[施 策]

ア 幼稚園教育の充実

<目指すこと>

幼稚園就園を促進するため、時代に合った幼稚園教育の充実を図ります。

<取組の方向>

- ・幼稚園を活用した子育て支援としての2歳児の受け入れ体制づくりを支援します。
- ・2歳児の預かり保育（子育て支援の観点から、教育時間終了後などに引き続き園児を預かる教育活動）を支援します。
- ・就園幼児の保護者の負担軽減を図るため、就園に要する費用等の一部を助成します。
- ・幼稚園に対して運営費の一部を助成します。
- ・障がいのある幼児の就園体制づくりを支援します。
- ・時代に合った教職員の育成を支援します。
- ・幼稚園と小学校の連携・交流を支援します。

(3) 小中学校教育の充実

[基本方向]

- ・児童生徒の学習活動の充実を図るため、社会の変化に応じた学習機器や図書を整備します。
- ・確かな学力を養うため、知識や技術といった基礎・基本の定着はもとより、応用力や表現力等の向上を目指します。
- ・幼稚園・小中学校・高等学校・大学が連携し学力の向上や生徒指導等における協力体制を整えます。
- ・児童生徒の良好な教育環境の確保と、効果的な教育活動を展開するため、学校規模の適正化を推進します。
- ・学校・家庭・地域が協働して学校を支える仕組みを整え、地域に根ざした信頼される学校づくりを進めます。
- ・特別支援教育をより一層充実させるため、専門的な教育機関である道立特別支援学校の誘致運動を積極的に展開します。
- ・子どもたちの学校生活に密着した環境教育を行うことができるよう、環境に配慮した施設づくりの調査研究を進めるとともに、施設整備の推進を図ります。
- ・教職員の指導力を発揮させるため、生徒指導や保護者対応などのコミュニケーション能力向上を図り、児童生徒とゆとりを持って向き合う環境を整えます。
- ・不登校等の悩みや問題行動を抱える児童生徒の現状を把握し、学校復帰に向けた適切な指導体制を構築するとともに、学校や関係機関との連携の中で早期解決を図ります。
- ・子どもたちが安全に安心して登下校できるように学校、保護者、町内会、関係機関等が連携して見守る体制の整備を推進します。
- ・市内小中学校の児童生徒に対し、健康に配慮した安心・安全な給食を提供するとともに、給食時間等を利用した食に関する指導を進めます。

[施 策]

ア 快適な学校環境の整備

<目指すこと>

時代に沿った教育環境の充実や学校規模の適正化に努めるとともに、環境問題に対応した教育の場として、学校環境などの整備を推進します。

<取組の方向>

- ・情報教育設備などの学習機器や図書の整備を推進します。
- ・施設損傷の拡大を防ぐため、早期発見による修繕を実施することによる施設の維持に努めます。
- ・学校施設の耐震化を推進するとともに大規模な修繕を計画的に実施し、学校施設の維持に努めます。
- ・児童生徒が学校施設を通じて、環境保護の大切さや環境問題に対応する方法などを学び、環境に配慮した行動を自らの生活の中で実践できるようにします。
- ・児童生徒がより良い教育環境で学校生活を送れるよう、学校規模の適正化等を推進します。

イ 教育活動の充実

<目指すこと>

生きる力の源となる「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」のバランスがとれた子どもたちを育む教育活動の充実を図ります。

<取組の方向>

- ・各学校の特色ある教育活動を推進します。
- ・家庭教育や地域教育と連携した学習環境の創造に努めます。
- ・学力向上に向けた取り組みを進めるとともに、幼稚園・小中学校・高等学校・大学が連携した協力体制を整えます。
- ・国際理解、環境、福祉、情報、職業、食育、防犯など、様々な分野を通して豊かな心と生きる力を育て、未来を担う人材の育成を進めます。
- ・新学習指導要領に基づいた教育課程を円滑に実施します。
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」や「読書」を奨励し、保護者とともに児童生徒の望ましい生活習慣づくりを進めます。
- ・社会性を身に付け、礼儀正しく他者を思いやる心と健やかな体づくりを進めます。

ウ 安心・安全な教育環境の充実

<目指すこと>

児童生徒が安心して学べる安全な環境教育の充実を図ります。

<取組の方向>

- ・学校内の感染症予防などの衛生状態を管理し、緊急時には迅速な対策を講じるなど、常に良好な環境を整えます。
- ・経済的な理由で就学が困難な家庭に必要な助成を行います。
- ・遠距離通学を行う児童生徒に対し、スクールバス等を運行します。
- ・児童生徒の健康状態を把握し、発達段階に合わせた適切な教育を実現するため、定期的な健康診断を実施します。
- ・学校・家庭・地域と連携して、通学路における見守りや避難場所等の充実を図るなど、子どもたちを見守る体制を推進します。
- ・安全対策についての意識向上を図るため、情報収集・情報提供を推進します。

エ 特別支援教育の充実

<目指すこと>

障がいのある児童生徒の自立と社会参加に向け、一人ひとりのニーズに合った特別支援教育の充実を図ります。

＜取組の方向＞

- ・障がいのある子どもたちの適切な就学先について、就学指導委員会の判定により、保護者と相談しながら自立と社会参加に向けた適正な就学先を確保します。
- ・特別支援教育体制の充実を図るため、特別支援教育支援員や介助員等の必要な人員の適切な配置に努めます。
- ・千歳市に道立特別支援学校を誘致するため、積極的な要望活動を行います。
- ・千歳市特別支援教育研究会と連携し、千歳市における今後の特別支援教育の在り方を研究します。

オ 学校を支える組織の充実

＜目指すこと＞

学校が掲げる教育目標の下、教育関係者・地域・家庭がそれぞれの役割を果たし、協働して学校を支える組織づくりに努めます。

＜取組の方向＞

- ・学校評議員会や保護者アンケート、学校関係者評価などを活用し、信頼される学校づくりを進めます。
- ・信頼される学校の基礎である教職員の資質向上に努めます。
- ・教職員と児童生徒が向き合える環境の改善に努めます。
- ・家庭と地域が一体となって子どもたちへの教育力を高めます。

カ 教育相談・指導の充実

＜目指すこと＞

社会環境の変化や個々の児童生徒の状態に対応できるよう、教育相談や指導の充実を図ります。

＜取組の方向＞

- ・不登校児童生徒の学校復帰を目指し、個々の児童生徒の状態に応じた教育相談や指導体制を充実します。
- ・社会環境の変化に伴う児童生徒や教職員の悩み・不安を解消するため、臨床心理士などによる教育相談窓口の充実を図ります。
- ・児童生徒の身近な相談相手として、地域の人材（元教員や元PTAなど）を心の教室相談員として配置し、心の悩みなどの相談機会を拡充し、問題行動の未然防止を図ります。
- ・児童生徒が安全で快適な学校生活を送るために、学校・教育委員会・家庭・地域・関係機関等が連携・協力して指導の充実を図ります。

キ 学校給食の充実

＜目指すこと＞

児童生徒の心身の健康の維持・増進を図るため、適切な栄養摂取に配慮した安心・安全な学校給食の充実を図ります。

＜取組の方向＞

- ・児童生徒の健全な成長にふさわしい献立を作成し、おいしい学校給食の提供に努めます。
- ・安全な学校給食を実施するため、衛生管理体制の強化を図ります。
- ・安定した学校給食を提供できるように給食施設の充実を図ります。

(4) 高等学校教育等の充実

[基本方向]

- ・高等学校等の適正配置や適正な入学定員を確保します。
- ・特色ある学校づくりの促進に努めるよう働きかけます。
- ・未来を担う人材育成のため、生徒・学生がより高度な専門知識を身に付ける機会を広げるよう努めます。

[施 策]

ア 教育機会の拡充

<目指すこと>

高等学校教育等における適正な定員の確保と教育機会の拡充に努めます。

<取組の方向>

- ・人口の推移等を見極めた適正な高等学校等の配置や適正な入学定員の確保に努めます。
- ・経済的な理由で修学が困難な生徒・学生に対して奨学金を給付します。
- ・開校している専門学校の充実を促進し、多くの学生の教育機会の確保に努めます。
- ・生徒、学生や地域のニーズに合った高等学校教育、高等教育の促進を要請します。

(5) 社会教育の充実

[基本方向]

- ・生涯におけるライフスタイルの多様化に伴い、それぞれの個性に応じた学習機会の充実に努めます。また、身近な生活から地球規模の問題に至るまで、様々な学習ニーズに応じた取組を進めます。
- ・様々な学習機会を通じて保護者の教育力の向上を図り、健全な家庭づくりを推進します。
- ・社会教育施設の充実を図るため、市民が安全で快適な利用ができるよう耐震化やバリアフリー化、設備の更新などの改修に努めます。

[施 策]

ア 学習機会の充実

<目指すこと>

社会の変化や課題などに対応した様々な学習機会を充実します。

<取組の方向>

- ・地域課題や国際問題など、市民ニーズに応じた学習機会を充実します。
- ・生きがいづくりや地域で活躍する人材づくりのため、高齢者の学習機会を充実します。

イ 家庭教育の充実

<目指すこと>

健全な家庭づくりを推進し、家庭における教育力の向上を図ります。

<取組の方向>

- ・学習機会の提供などにより、家庭の教育力の向上に努めます。
- ・家庭教育に関する男性の意識の向上に努めます。

ウ 社会教育施設の充実

<目指すこと>

市民ニーズに対応した生涯学習の場を形成するとともに、安全で快適に利用ができるよう社会教育施設の機能の充実に努めます。

<取組の方向>

- ・市民ニーズを反映させながら、社会教育施設の機能の充実に努めます。
- ・高齢社会に対応した図書の充実を図るほか、子どもの読書環境を整備するために、絵本やヤングアダルトを対象とした図書の充実に努めるとともに、子育て期に親子で読書に親しむ環境づくりに取り組みます。
- ・市民が安全で快適に利用できるよう施設の耐震化やバリアフリー化、設備の更新などの改修を計画的に推進します。

(6) 市民文化の創造

[基本方向]

- ・社会や生活の中で文化の果たす役割が大きいことから、芸術文化を鑑賞する機会の充実に努めます。
- ・個人や団体の活発な文化活動を推進するため、創作活動や発表の場を提供するとともに、文化活動をリードする人材の育成を進めます。
- ・文化施設の機能を維持する上で重要な機器や設備などの更新・改修を計画的に行い、良好な施設環境で市民が文化に親しめる環境づくりに努めます。

[施 策]

ア 文化鑑賞会の充実

<目指すこと>

豊かな心を持ち、潤いのある生活を送ることができるよう、文化鑑賞機会を充実します。

<取組の方向>

- ・市民ニーズを反映した魅力ある事業を開催するなど、多様な文化鑑賞の機会を充実します。
- ・多様な文化鑑賞に関する情報提供を充実します。
- ・文化施設の設備等の更新・改修を計画的に進めるとともに、利便性の向上に取り組みます。

イ 文化活動の推進

<目指すこと>

個人や団体による主体的な文化活動を支援するとともに、活動成果の発表の機会の充実に努めます。

<取組の方向>

- ・芸術文化活動を支える人材づくりに努めるとともに、文化関係団体やサークルなどの育成と活動を支援します。
- ・市民の主体的な芸術文化活動を促進するため、活動成果を発表する機会の充実に努めます。

(7) 文化財の保護と活用

[基本方向]

- ・埋蔵文化財をはじめとする文化財の適切な保護と保存を図ります。
- ・市民がふるさとに理解と誇りを持ち、まちづくりの源泉となる豊かで多様な文化財や自然にふれあう場の整備・機会の充実に努めます。
- ・伝統文化について、市民の理解が深まる取組を進めます。

[施 策]

ア 文化財の保護と保存

<目指すこと>

地域の貴重な資産である文化財を将来へ確実に守り伝えていくために、保護と保存に努めます。

<取組の方向>

- ・埋蔵文化財の法的協議・調査・研究を行い、保護・保存します。
- ・周知の埋蔵文化財と関係資料の整備を促進します。
- ・郷土の資料である有形・無形の文化財の保護と保存に努めます。

イ 郷土資料の公開と活用

<目指すこと>

千歳市の個性豊かな自然、歴史、文化とのふれあいを通じて、より多くの市民が郷土への意識を高めることを目指し、郷土資料等を収集・調査し、公開と活用を図ります。

<取組の方向>

- ・郷土の自然、歴史、文化にふれ、学ぶことができる場の整備に努めます。
- ・市民が自然や歴史、文化を知ることにより、郷土を考える機会を拡充します。
- ・郷土の自然史資料、歴史・民俗資料、開拓資料等の文化財の収集・調査・管理を行い、公開と活用を図ります。
- ・指定史跡の保存・管理を行い、後世に伝えるとともに公開と活用を図ります。

ウ 伝統文化の保存と継承

<目指すこと>

千歳市の伝統文化である郷土芸能やアイヌ文化が保存され、次の世代に継承されるよう努めます。

<取組の方向>

- ・郷土芸能への理解を深め、その保存と継承を支援します。
- ・アイヌ文化への理解を深め、その保存と継承を支援します。
- ・伝統文化にふれあい、地域の文化や歴史を理解することができる機会の拡充に努めます。

(8) 生涯スポーツの推進

[基本方向]

- ・スポーツを通じて健康で心豊かなライフスタイルを築く生涯スポーツの推進を目指し、健康づくりや体力増進に関する市民意識を啓発するとともに、スポーツに親しめる機会や場の充実を図ります。
- ・多様化する市民のスポーツニーズに応えていくため、各種スポーツ活動を支援するとともに、指導体制の充実を図ります。
- ・市民の日常的なスポーツ活動をより一層促進するため、それぞれの年齢や体力に応じて、いつでも・どこでも・だれもがスポーツに親しむことができるよう多機能を重視した施設の改修を行うとともに、市民ニーズに沿った施設運営の弾力的運用を図るなど利便性の向上に努めます。

[施 策]

ア 生涯スポーツの啓発と普及

<目指すこと>

地域における各種スポーツ活動の活発化と団体の育成を図ります。

<取組の方向>

- ・年齢や体力に応じた市民の生涯にわたるスポーツ活動を促進します。
- ・スポーツイベント、スポーツ教室などの充実に努めます。
- ・ニュースポーツをはじめ、多様化する市民のスポーツ活動を支援する指導者や団体の育成・確保を図ります。
- ・活力あるライフスタイルを築くため、市民のスポーツ意識の高揚を図ります。

イ スポーツ施設の充実

<目指すこと>

快適で安全に利用できるようスポーツ施設の機能の充実を図るとともに、市民に親しまれる管理運営に努めます。

<取組の方向>

- ・市民ニーズに沿ったスポーツ施設の計画的な改修を実施し、快適な施設の充実に努めます。
- ・市民が安心して利用できるよう施設の安全性の維持と向上に努めます。
- ・利用者の利便性向上を図るため、効率的な施設運営を行います。
- ・市内の小中学校施設を学校教育に配慮しながら、スポーツの普及、幼児・児童の安全な遊び場や地域開放の施設として活用します。

(9) 青少年の健全な育成

[基本方向]

- ・ 青少年団体の育成や地域活動への参加の促進、活動の場の整備に努めます。
- ・ 思いやりの心と考える力を育むため、豊かな自然や文化に関する学習機会を通じた青少年健全育成活動を推進します。
- ・ 関係機関、団体等と連携して、青少年の非行防止活動を強化するとともに、青少年を取り巻く有害環境の浄化を推進します。

[施 策]

ア 青少年健全育成活動の推進

<目指すこと>

青少年が心身ともに健やかに成長していくことを目指し、思いやりの心とチャレンジ精神を身に付けるように、青少年健全育成活動を推進します。

<取組の方向>

- ・ 家庭、学校、地域などとの連携・協力を通じて健全育成活動を推進します。
- ・ 自然体験や地域文化の理解、科学探究活動の充実を図ります。
- ・ 「千歳サケのふるさと館」を設置運営する財団法人千歳青少年教育財団などの青少年関係団体の育成と活動を支援し、青少年の活動の場の充実に努めます。

イ 青少年の非行防止

<目指すこと>

青少年を有害環境から守り、問題行動を未然に防止し、非行の減少を図ります。

<取組の方向>

- ・ 関係機関との連携を強化し、巡回指導の充実を図ります。
- ・ 保護者、学校、事業者、地域との連携を強化し、有害環境の浄化を推進します。
- ・ 有害環境を有する恐れのある事業所の把握と指導を強化します。
- ・ 非行防止と有害環境に対する意識向上のための情報提供を推進します。

(10) 多様な地域間交流の推進

[基本方向]

- ・ 国際化に対応した生活環境の整備・充実に取り組むとともに、市民や市民活動団体、事業者、行政などがそれぞれの役割を分担し、連携を図りながら様々な分野における国際交流機会の拡充に努めます。
- ・ 国際交流に対する市民の意識を醸成しながら、国際社会で積極的に行動する人材や地域において国際交流を推進する人材の育成を進めます。また、市民参加型の国際交流活動や国際協力活動を支援し、市民や市民活動団体、事業者が主体となった国際交流活動の拡大に努めます。
- ・ 国際性豊かな人材の育成、国際交流都市の実現のため、J 8アフターサミットの実施やまちづくりに寄与する国際会議の開催など幅広い国際交流を推進します。
- ・ 都市間の友好親善や相互理解を深めるとともに、多くの市民が参加し、豊かな心を持った人材の育成を図るため、姉妹都市との交流を推進します。

[施 策]

ア 人と地域が育む国際交流の推進

<目指すこと>

国際化に対応する情報の提供や交流事業を進めるとともに、国際理解の促進や国際性豊かな人材の育成を図るよう幅広い国際交流を推進します。

<取組の方向>

- ・外国人の行動または生活の利便性向上を目指すため、外国語表記（併記）を推進します。
- ・通訳やホストファミリー（留学生を受け入れ世話をする家庭）など市民ボランティアの育成を図り、各種訪問団などの受け入れ体制の整備に努めます。
- ・国際交流活動を行う市民や市民活動団体の活動を支援し、国際感覚を持った人材の育成を図ります。
- ・市内の様々な国際交流事業の情報を一元化し、市民に国際交流の機会を提供します。
- ・千歳のまちづくりに寄与する国際会議について、情報収集に努め、開催の可能性を検討します。
- ・J 8アフターサミットの実施や通訳ボランティアなどとの市民ネットワークづくりを進めます。

2 千歳市生涯学習基本計画(ちとせ学び愛プラン)

基本目標 『 学びの意欲と豊かな心を育む文化のまち 』

推進方向1 「いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりの推進」

【取組方策】

- (1) 市民の自主的な学習活動の支援
- (2) 関係機関と連携した学習支援や交流活動の支援
- (3) 生涯学習活動の普及・啓発の充実
- (4) まちづくり活動を行うセンター機能の充実
- (5) まちづくりを行う人材や団体の育成と活動支援
- (6) 地域の力による、未来を担う子どもたちの活動支援の充実

推進方向2 「社会の変化や今日的課題などに対応した、様々な学習機会の充実」

【取組方策】

- (1) 市民ニーズに応じた学習機会の充実
- (2) 高齢者の学習機会の充実
- (3) 子育てに関する学習機会の充実

推進方向3 「市民ニーズに対応し、安全で快適に利用ができる社会教育施設の充実」

【取組方策】

- (1) 市民ニーズを反映した、社会教育施設の機能の充実
- (2) 安全で快適に利用ができるよう、施設や設備の計画的な改修・更新

推進方向4 「多様な文化鑑賞機会の充実と文化活動の支援」

【取組方策】

- (1) 文化鑑賞機会の充実と活動の支援
- (2) 文化鑑賞に関する情報提供の充実
- (3) 読書環境の充実
- (4) 文化関係団体やサークルなどの育成と活動の支援
- (5) 活動成果を発表する機会の充実

推進方向5 「文化財の保護と継承」

【取組方策】

- (1) 文化財の保護・保存と活用
- (2) 郷土資料等の収集・調査と公開
- (3) 伝統文化の保存と継承

推進方向6「地域における各種スポーツ活動の活発化と団体の育成」

【取組方策】

- (1)生涯にわたるスポーツ活動の促進
- (2)スポーツイベント、スポーツ教室などの充実
- (3)スポーツ活動を支援する指導者や団体の育成
- (4)市民のスポーツ意識の啓発
- (5)小中学校施設の地域開放

推進方向7「思いやりの心とチャレンジ精神を育む青少年の健全育成活動の推進」

【取組方策】

- (1)家庭、学校、地域などとの連携・協力を通じた健全育成活動の推進
- (2)関係団体の育成と活動の支援
- (3)自然体験や地域文化の理解、科学探究活動の充実
- (4)青少年の非行防止

Ⅲ 教 育 目 標

平成 24 年度教育推進の重点目標

社会で生きる学力、健全な心と体の育成と、学びの循環による生涯学習社会の実現

主な施策

1 学校教育の主な施策

- (1) 生きる力を育む学校教育の充実
- (2) 特色ある教育の推進
- (3) 安心・安全な教育環境の充実
- (4) 特別支援教育の充実
- (5) 教職員の資質向上と学校環境の整備

2 社会教育の主な施策

- (1) いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりの推進
- (2) 社会の変化や今日的課題などに対応した、様々な学習機会の充実
- (3) 市民ニーズに対応し、安全で快適に利用できる社会教育施設の充実
- (4) 多様な文化鑑賞機会の充実と文化活動の支援
- (5) 文化財の保護と継承
- (6) 地域における各種スポーツ活動の活性化と団体の育成
- (7) 思いやりの心とチャレンジ精神を育む青少年健全育成活動の推進

IV 教育行財政

〔1〕教育行政

1 教育委員会委員

委員長 山 田 律 子 平成 17 年 10 月 1 日就任

委員長職務代理者 佐々木 義朗 平成 18 年 10 月 1 日就任

委 員 阿 部 弓 枝 平成 19 年 10 月 1 日就任

委 員 明 石 光 正 平成 20 年 10 月 1 日就任

教育長 宮 崎 肇 平成 24 年 10 月 1 日就任



佐々木委員 阿部委員 明石委員
宮崎教育長 山田委員長

2 歴代教育委員会委員

委員長(任命年月日)	委員(任命年月日)	委員(任命年月日)
五十嵐 直蔵 31.10. 1 岸本 貞一 34. 6. 7 河野 有三 46.10. 1 島倉 充平 60.10. 1 伊藤 博邦 9.10. 1 山田 律子 17.10. 1 (在職中)	内村 ナツ 31.10. 1 32.10. 1 36.10. 1 40. 9.28 鎌倉 末吉 43.10. 1 44.10. 1 (46. 4. 7 まで) 河野 有三 46. 4.30 48.10. 1 52.10. 1 56.10. 1 島倉 充平 60.10. 1 元.10. 1 5.10. 1 伊藤 博邦 9.10. 1 13.10. 1 山田 律子 17.10. 1 21.10. 1 (在職中)	信田 信太郎 31.10. 1 33.10. 1 (34. 5.13 まで) 34. 5.25 37.10. 1 阿部 忠彦 41.10. 1 高塚 興正 45.10. 1 49.10. 1 53.11. 1 57.10. 1 61.10. 1 佐藤 嘉彦 2.10. 1 (6. 8.21 まで) 三ツ野 仁 7.10. 1 10.10. 1 14.10. 1 佐々木 義朗 18.10. 1 22.10. 1 (在職中)
委員(任命年月日)	委員(任命年月日)	教育長(任命年月日)
五十嵐 直蔵 31.10. 1 岸本 貞一 34. 6. 1 34.10. 1 38.10. 2 42.10. 1 矢野 和子 46.10. 1 50.10. 1 54.10. 1 寺山 恵美子 58.10. 1 62.10. 1 3.10. 1 橋爪 光子 7.10. 1 11.10. 1 15.10. 1 阿部 弓枝 19.10. 1 23.10. 1 (在職中)	高橋 三次郎 31.10. 1 (34. 5.13 まで) 若木 キサ 34. 7. 3 35.10. 1 (36. 3 まで) 鈴木 清子 36. 3.31 39.10. 1 藤本 敬一 43.10. 1 47.10. 1 51.10. 1 信田 茂 55.10. 1 59.10. 1 63.10. 1 今 清 4.10. 1 8.10. 1 竹嶋 勝利 12.10. 1 16.10. 1 明石 光正 20.10. 1 24.10. 1 (在職中)	菅原 恵一 31.10. 1 (34. 3.13 まで) 半田 景明 34. 6.16 35.10. 1 39.10. 1 43.10. 1 47.10. 1 (50. 3.20 まで) 宮澤 一成 50. 6. 1 51.10. 1 55.10. 1 59.10. 1 佐藤 利雄 63.10. 1 4.10. 1 工藤 文夫 8.10. 1 12.10. 1 (13. 9.30 まで) 小林 義知 13.10. 1 16.10. 1 20.10. 1 宮崎 肇 24.10. 1 (在職中)

3 教育行政の沿革

(1) 沿革

年 月	主 な 出 来 事
明治12 (1879) 年10月	千歳村で初の寺子屋式教育を始める (現千歳小学校)
" 13 (1880) 年3月	千歳村に戸長を置き事務を行う (戸長役場開庁)
4月	千歳教育所創設
" 22 (1889) 年4月	千歳教育所を改め簡易小学校となる
" 28 (1895) 年3月	簡易小学校が千歳尋常小学校となる (現在地に校舎新築)
" 32 (1899) 年9月	長都に私立教育所設置 (現長都小学校)
" 33 (1900) 年6月	千歳尋常小学校阿宇砂里分教場設置 (現駒里小学校)
9月	嶮淵簡易教育所設置 (泉郷小学校の前身)
11月	幌加簡易教育所設置 (幌加小学校の前身)
" 34 (1901) 年6月	長都の私立教育所が長都簡易教育所となる
12月	長都簡易教育所が長都尋常小学校となる
" 35 (1902) 年4月	近唐教育所設置 (協和小学校の前身)
" 39 (1906) 年9月	木臼簡易教育所設置 (中央小学校の前身)
大正元 (1911) 年10月	阿宇砂里分教場が阿宇砂里簡易教育所となる
" 4 (1915) 年4月	烏柵舞特別教授所設置 (水明小学校の前身)
" 5 (1916) 年10月	二級町村制施行 (烏柵舞村、蘭越村、長都村、千歳村を合併)
" 6 (1917) 年4月	幌加簡易教育所が幌加尋常小学校となる
12月	阿宇砂里、嶮淵、木臼の各簡易教育所及び近唐教育所が尋常小学校となる
" 7 (1918) 年6月	烏柵舞に私立王子尋常小学校開校、烏柵舞特別教授所廃止
12月	新嶮淵尋常小学校開校 (東丘小学校の前身)
" 9 (1920) 年12月	千歳尋常小学校に高等科併置
" 12 (1923) 年4月	千歳尋常小学校根志越分教場設置 (現千歳第二小学校)
" 13 (1924) 年4月	嶮淵、私立王子の両尋常小学校に高等科併置
" 15 (1926) 年4月	根志越分教場が千歳尋常小学校分教場根志越特別教授所となる
" 15 (1926) 年5月	千歳、長都、嶮淵、幌加に青年訓練所設立
昭和6 (1931) 年4月	釜加特別教授場設置
" 7 (1932) 年	私立王子尋常高等小学校が公立烏柵舞尋常高等小学校となる
" 11 (1936) 年11月	釜加特別教授場を長都尋常小学校へ統合
" 12 (1937) 年10月	烏柵舞尋常高等小学校千歳鉦山特別教授所設置
" 14 (1939) 年4月	千歳鉦山特別教授所が千歳鉦山尋常高等小学校となる
" 15 (1940) 年6月	一級町村制施行
" 16 (1941) 年4月	長都尋常小学校に高等科併置
" 17 (1942) 年5月	国民学校令の施行により小学校を国民学校と改称する
" 21 (1946) 年4月	町制施行 (人口 13,994 人)
11月	根志越教授所が千歳第二国民学校となる
" 22 (1947) 年4月	蘭越国民学校開校
5月	法令改正 (学校六・三制発足) により校名変更
6月	長都、千歳鉦山、嶮淵の各小学校に千歳中学校の分校を併置 (長都、千歳鉦山、泉郷各中学校の前身)
12月	千歳中学校木臼分校設置 (中央中学校の前身)
" 23 (1948) 年6月	千歳中学校開校
10月	幌加中学校開校 (小学校に併置、東千歳中学校の前身)
" 24 (1949) 年1月	烏柵舞小学校支笏湖畔分教場設置 (現支笏湖小学校)
4月	千歳第三小学校開校
" 25 (1950) 年3月	道立野幌高等学校千歳分校設置
4月	烏柵舞小学校支笏湖畔分教場が支笏湖小学校となる
12月	千歳中学校烏柵舞分校設置 (小学校に併置、水明中学校の前身)
" 26 (1951) 年3月	野幌高等学校千歳分校が北海道月寒高等学校千歳分校となる
4月	月寒高等学校千歳分校が町立千歳高等学校となる
12月	千歳中学校鉦山分校が千歳鉦山中学校となる
" 27 (1952) 年4月	千歳中学校阿宇砂里分校設置 (小学校に併置、現駒里中学校)
10月	千歳中学校が東雲町4丁目から栄町4丁目に移転
11月	字名変更により木臼小学校及び千歳中学校木臼分校が中央小学校及び同中央分校に烏柵舞小学校及び千歳中学校烏柵舞分校が水明小学校及び同水明分校となる
" 28 (1953) 年5月	字名変更により阿宇砂里小学校・千歳中学校阿宇砂里分校、嶮淵小学校・同嶮淵分校、近唐小学校、新嶮淵小学校が駒里小学校・同駒里分校、泉郷小学校・同泉郷分校、協和小学校、東丘小学校となる
" 29 (1954) 年4月	幌加中学校が東千歳中学校となる
	千歳町教育委員会委員選挙執行
	千歳町教育委員会発足
	北栄小学校開校
	千歳町立千歳高等学校道立移管
	千歳公民館開館

年 月	主 な 出 来 事
昭和29 (1954) 年5月	千歳町体育協会発足
9月	駒里小学校開校 50 周年記念式典
" 30 (1955) 年4月	千歳町教育委員会委員補欠選挙執行
5月	千歳中学校長都分校が長都中学校となる
" 31 (1956) 年1月	千歳中学校駒里分校、同泉郷分校、同中央分校及び同水明分校が駒里中学校、泉郷中学校、中央中学校及び水明中学校となる
4月	末広小学校開校
" 32 (1957) 年4月	緑小学校開校
8月	青葉中学校開校
" 33 (1958) 年7月	市制施行(人口 48,443 人)
" 34 (1959) 年4月	水明小・中学校藤の沢分校設置(藤の沢小学校の前身)
11月	キウスのチャシ重要文化財の指定を受ける
" 35 (1960) 年5月	千歳小学校特殊学級発足(精神薄弱学級：昭和 46 年に北進小学校に分離独立)
" 37 (1962) 年4月	千歳中学校特殊学級発足(精神薄弱学級：昭和 46 年に北進中学校に分離独立)
10月	市民会館開館
" 39 (1964) 年3月	水明小学校を支笏湖小学校に統合 水明中学校藤の沢分校を本校に統合
4月	水明小学校藤の沢分校が千歳小学校藤の沢分校となる
9月	ウサクマイ遺跡発掘調査
10月	学校給食センター開設
" 40 (1965) 年10月	千歳小学校特殊学級及び千歳中学校特殊学級が千歳小学校北栄分校・千歳中学校北栄分校となる
" 41 (1966) 年3月	水明中学校を千歳中学校に統合
4月	千歳小学校藤の沢分校が藤の沢小学校となる
" 42 (1967) 年1月	日の出小学校開校
3月	藤の沢小学校廃校
" 43 (1968) 年3月	青少年健全育成都市宣言 泉郷小学校を千歳第二小学校に泉郷中学校を千歳中学校に統合
4月	信濃小学校開校
7月	千歳第三小学校を信濃小学校に統合
12月	中央「千歳キウス環状土籬群」北海道文化財に指定
" 44 (1969) 年8月	千歳市開基 90 周年記念式典
12月	青少年会館開館
" 45 (1970) 年4月	支笏湖青少年研修センター開設
6月	高台小学校開校
12月	スポーツ都市宣言 東千歳地区スクールバス運行開始
" 46 (1971) 年1月	千歳第二小学校開校 50 周年記念式典
4月	幌加小学校、協和小学校、東丘小学校を統合し東小学校開校
9月	千歳小学校北栄分校・千歳中学校北栄分校が北進小学校・北進中学校となる
" 47 (1972) 年1月	「千歳神社境内釜加神社弁天御厨子」千歳市文化財に指定
3月	真町中学校開校
9月	中央中学校を真町中学校に統合
" 48 (1973) 年1月	北進小学校に言語治療教室開設
4月	青葉中学校が根志越(現在地、豊里)に移転
5月	北海道千歳北陽高等学校開校(中央)
" 49 (1974) 年3月	北栄小学校に情緒障害児学級開設
4月	末広小学校が富丘(現在地)に移転
10月	学校給食センターが上長都に移転
11月	北進小学校の言語治療教室を緑小学校に移設
" 50 (1975) 年4月	支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター開設
6月	人口 6 万人突破(人口 60,200 人)
8月	富丘中学校開校
12月	支笏湖自然の村開村
" 51 (1976) 年4月	美々貝塚永久保存のため発掘調査
	北海道千歳北陽高等学校が北信濃(現在地、北陽)に移転
	千歳市青少年指標制定
	千歳中学校に言語治療教室開設
	祝梅小学校開校
	教育委員会事務局市庁舎に移転
	市立図書館開館
" 52 (1977) 年4月	「美々貝塚」「馬遡看板」「磨製石棒」「男性土偶」千歳市文化財指定
" 53 (1978) 年3月	千歳鉾山小学校、千歳鉾山中学校開校
4月	蘭越小学校を緑小学校に統合
6月	桜木小学校開校
10月	北進中学校に情緒障害児学級開設
	総合スポーツセンター完成
	千歳小学校開校 100 周年記念式典
	「動物形土製品」千歳市文化財指定

年 月	主 な 出 来 事
昭和54 (1979) 年12月	泉沢市民スキー場開設
" 54 (1979) 年 5 月	「ウサクマイ遺跡群」国の史跡に指定
6 月	「動物形土製品」国の重要文化財に指定
7 月	千歳市民憲章制定
8 月	千歳市開基百年記念式典
10 月	「キウス周堤墓群」国の史跡に指定
	「泉郷獅子舞」千歳市文化財（無形民俗文化財）指定
" 55 (1980) 年 7 月	「蕨手刀」千歳市文化財指定
" 57 (1982) 年 2 月	(財)千歳青少年教育財団設立
4 月	向陽台小学校開校
" 58 (1983) 年 2 月	人口 7 万人突破（人口 70,051 人）
3 月	北進小学校に情緒障害児学級開設
11 月	北海道都市教育長会開催
" 59 (1984) 年 4 月	市民文化センター開館
	北斗中学校開校
" 60 (1985) 年 8 月	第 16 回全国中学校選抜卓球大会開催
12 月	ひびけ市民の「第 9 交響曲」発表
" 61 (1986) 年 4 月	千歳小学校に肢体不自由児学級開設
7 月	青空運動公園（アスファルトリンク）完成
" 62 (1987) 年 4 月	向陽台中学校開校
5 月	千歳市民球場完成
" 63 (1988) 年 2 月	市立図書館新築移転（青葉公園内）
4 月	通学区域変更（末広地区を富丘中学校から千歳中学校へ、清水町及び錦町 1・2 丁目地区を千歳中学校から真町中学校へ）
7 月	青葉公園ピクニック広場完成
9 月	夢ランドちとせ開催
平成元 (1989) 年 4 月	教育委員会事務局が本庁者から現教育委員会庁舎に移転
	千歳中学校に肢体不自由児学級開設
9 月	第 44 回国民体育大会軟式野球競技会開催
10 月	千歳市開基 110 周年記念式典
11 月	青空公園ふれあいセンター完成
" 2 (1990) 年 8 月	語学指導を行う外国青年を招致し中学校巡回訪問指導開始
12 月	鶴は千年塾事業により青少年海外派遣
" 3 (1991) 年 9 月	障害児教育相談員設置
10 月	人口 8 万人突破
" 4 (1992) 年 9 月	学校週 5 日制開始
" 5 (1993) 年 3 月	(財)千歳市体育協会設立
	開基記念総合武道館完成
5 月	中央小学校を千歳小学校に統合
8 月	「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」千歳市文化財（無形民俗文化財）指定
" 6 (1994) 年 4 月	学校給食センターが祝梅に移転
8 月	北陽小学校開校（千歳小の肢体不自由児学級を北陽小に移設）
9 月	第 24 回全国中学校選抜剣道大会開催
" 7 (1995) 年 4 月	千歳サケのふるさと館開館
5 月	市民ギャラリー開館
8 月	駒里水泳プール完成
" 8 (1996) 年 5 月	第 39 回北海道学校給食研究大会開催
9 月	青葉陸上競技場全天候型トラック及び管理棟全面改修完了
" 9 (1997) 年 4 月	第 46 回北海道公立小中学校事務研究大会（東北・北海道合同）石狩大会開催
6 月	泉沢小学校開校
11 月	適応指導教室「おあしす」開設
" 10 (1998) 年 4 月	千歳中学校開校 50 周年記念式典
	千歳高校全日制普通科が 1 学級増
7 月	向陽台小学校に情緒・知的障害児学級開設
8 月	千歳市温水プール完成
10 月	支笏湖小学校開校 50 周年記念式
	第 47 回全道へき複・併置校教育研究大会石狩大会開催
" 11 (1999) 年 1 月	第 38 回北海道社会教育研究大会開催
3 月	北陽小学校校舎増築
4 月	千歳第二小学校校舎増築
8 月	千歳高校に学科を新設（国際教養科・国際流通科）
11 月	全道中学校卓球大会開催
" 12 (2000) 年 9 月	千歳高校創立 50 周年記念事業実施
" 13 (2001) 年 4 月	北海道言語障害児教育研究大会千歳大会開催
11 月	学校評議員設置
" 14 (2002) 年 2 月	長都小学校開校 100 周年記念式典
4 月	安全対策として小・中学校にインターホン及びオートロック設置
	完全学校週 5 日制開始「総合的な学習の時間」開始

年 月	主 な 出 来 事
平成14 (2002) 年 7 月	人口 9 万人突破
12 月	東千歳中学校開校 50 周年記念式典
" 15 (2003) 年 3 月	支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター廃館
4 月	北栄小学校に知的障害学級、向陽台小学校に難聴学級、千歳中学校に情緒・知的障害学級開設
6 月	「特別支援教育推進体制モデル事業」の指定を受ける
11 月	北栄小学校開校 50 周年記念式典
" 17 (2005) 年 3 月	長都小中学校閉校
	支笏湖青少年研修センター閉所
6 月	「北海道美々8 遺跡出土品 (1, 164 点)」国の重要文化財に指定
10 月	千歳市の教育を考える市民会議設置
" 18 (2006) 年 4 月	国の構造改革特区の認定により幼稚園の入園年齢を 1 才引き下げ
	千歳第二小学校、東千歳中学校で 2 学期制の試行開始
	市民文化センターがリニューアルオープン
5 月	児童の登下校時の安全確保のため「千歳っ子見守り隊」を設置
8 月	千歳市民活動交流センター「ミナクル」オープン
11 月	駒里小学校開校 100 周年、駒里中学校開校 50 周年記念式典
12 月	末広小学校開校 50 周年記念式典
" 19 (2007) 年 2 月	千歳市の教育を考える市民会議から 3 つの目標、20 の提言を受理
3 月	第 8 回全国中学選抜卓球大会
10 月	富丘中学校校舎増築
	青葉中学校開校 50 周年記念式典
12 月	緑小学校開校 50 周年記念式典
" 20 (2008) 年 4 月	学校二学期制開始
5・7 月	市制施行 50 周年、ジュニアエイトサミット 2008 千歳支笏湖の開催記念事業として市内小中学生約 4, 000 人が参加し、環境をテーマとした「ちとせつこ未来フォーラム」を開催し、中学生代表がインターネットを通して世界へ向けて環境メッセージを発信
" 21 (2009) 年 5 月	サケのふるさと館開館 15 周年記念事業
6 月	放課後こども教室のモデル事業を北栄小学校に開設
" 22 (2010) 年 4 月	埋蔵文化財センターが旧長都小中学校に移転オープン
" 23 (2011) 年 1 月	姉妹都市であるアンカレジ市ミアーズ中学校訪問事業を実施
12 月	北進小中学校開校 50 周年・開校 40 周年記念式典
" 24 (2012) 年 3 月	真町中学校閉校
4 月	勇舞中学校開校
	北陽小学校校舎増築

(2) 教育委員会の発足

戦後の民主化、地方分権化の一環として、昭和23年7月15日に教育委員会法が制定され、市町村については、昭和27年11月1日までに設置することとされました。教育委員会の委員は、住民の選挙によって決められ、市町村の委員5人のうち1人は議会から選ばれました。任期は4年ですが、最初の選挙における上位2人は4年、次の2人は2年で、2年ごとに半数の委員を改選するという規定でした。

本市では、昭和27年10月5日に第1回の選挙が行われ、4年任期の委員に今与三郎、市村政五郎、2年任期の委員に中川要助、野沢栄三郎が選ばれ、さらに町議会選出の吉田信一の5名でスタートしました。11月1日第1回教育委員会が開催され、委員長に今与三郎、副委員長に中川要助を選出しています。その他、教育長として町教育民生課長の谷口好忠を任命し、教育委員会会議規則や教育委員会事務局組織規程等が決定されています。発足当初は、米オクラホマ州兵師団の駐留による町の風紀問題や、人口急増に伴う不足教室の対策など、教育を取り巻く難問を抱えることになりました。昭和28年4月1日、谷口教育長に代わり、北海道民生部社会課民生・保護生活係長の佐藤勝蔵が招かれて教育長に就任しています。昭和29年6月18日に公職選挙法の一部改正があり、2年委員の任期は更に2年間延長されました。この年、野沢栄三郎委員の辞任に伴い中村竹五郎が繰上当選により委員に就任し、更に、今与三郎委員長が辞任したため、翌30年4月30日の地方統一選挙で町教育委員会委員補欠選挙が行われ、熊谷功男が委員に当選しました。議会側からは、新たに佐藤文喜が選任され、後任委員長には、副委員長であった中川要助が、副委員長には市村政五郎が選ばれました。昭和31年6月の第2回国会において、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の成立（同年10月1日施行）に伴い、教育委員会委員の公選制が廃止され、地方公共団体の長が議会の同意を得て委員を任命することになりました。同年9月、第3回定例町議会において、五十嵐直蔵、信田信太郎、高橋三次郎、内村ナツ、菅原恵一が議会の同意のもとに委員に任命され、委員長に五十嵐直蔵、副委員長に内村ナツ、教育長に菅原恵一が選出されました。当時は、ジェット機の騒音問題や東千歳地区の通学問題などを抱えていました。

4 市内小中学校の変遷

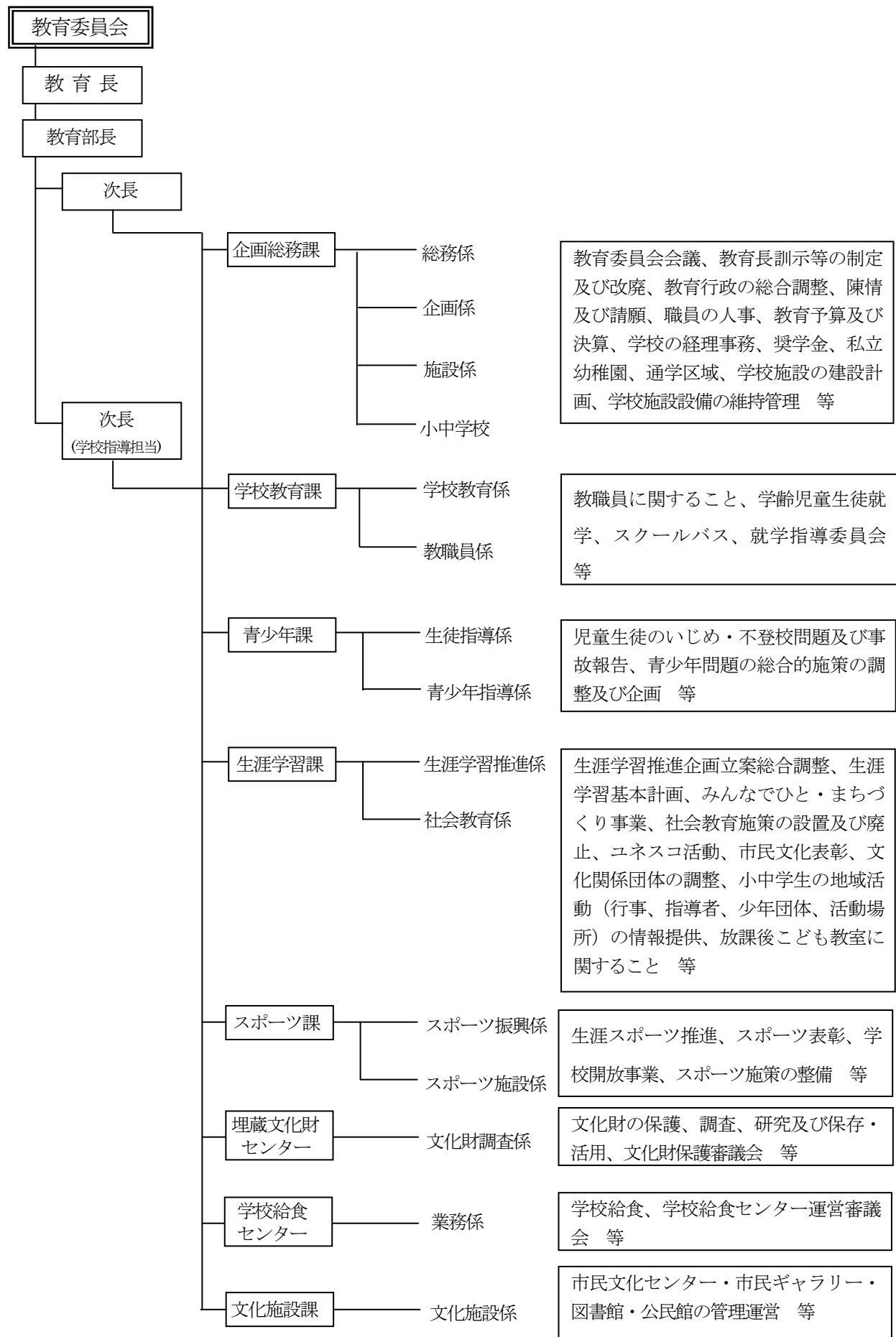
	千歳小学校	駒里小学校	長都小学校	泉郷小学校	幌加小学校
明治	(明治 2. 10. 15) 寺子屋式教育開始 ↓ (明治 13. 4.) 千歳教育所 ↓ (明治 22) 千歳簡易小学校 ↓ (明治 28) 千歳尋常小学校 ↓	(明治 31. 4) 寺子屋式私塾 ↓ (明治 33. 6) 千歳尋常小分教場 ↓ (明治 39. 9) 阿宇砂里簡易教育所 ↓	(明治 32. 9) 私立教育所 ↓ (明治 33. 11. 21) 長都簡易教育所 ↓ (明治 34. 6. 3) 長都尋常小学校 ↓	(明治 33. 6. 8) 嶮淵簡易教育所 ↓	(明治 33. 9. 24) 幌加簡易教育所 ↓
大正	(大正 7. 12) 高等科設置 ↓	(大正 6. 4. 1) 阿宇砂里尋常小学校 ↓	(大正 15. 5. 1) 場 ↓	(大正 6. 4) 嶮淵尋常小学校 ↓ (大正 12. 4) 高等科設置 ↓	(大正 5. 10. 25) 幌加尋常小学校 ↓
昭和	(昭和 16. 4) 千歳国民学校 ↓ (昭和 22. 4) 千歳小学校 ↓	(昭和 16. 4) 阿宇砂里国民学校 ↓ (昭和 22. 4) 阿宇砂里小学校 ↓ (昭和 27. 4. 1) 駒里小学校 ↓	(昭和 7)統合 ↓ (昭和 15. 6) 高等科設置 ↓ (昭和 16. 4) 長都国民学校 ↓ (昭和 22. 4) 長都小学校 ↓	(昭和 16. 4) 嶮淵国民学校 ↓ (昭和 22. 4) 嶮淵小学校 ↓ (昭和 27. 4. 1) 泉郷小学校 ↓ (昭和 43. 3. 31) 第二小学校へ統合	(昭和 16. 4) 幌加国民学校 高等科設置 ↓ (昭和 22. 4) 幌加小学校 ↓ (昭和 46. 1. 1) 東小学校
平成	(平成 5. 4. 1) 中央小学校を統合 ↓ 現在に至る	現在に至る	(平成 17. 3. 31) 北陽小学校へ統合		

	協和小学校	中央小学校	水明小学校	東丘小学校	千歳第二小学校	千歳鉦山小学校
明治		(明治 26 年ころ) 説教所で寺子屋 ↓				
大正	(明治 34. 12. 1) 近唐教育所 ↓ (大正 6. 4. 1) 近唐尋常小学校	(明治 35. 4) 木臼簡易教育所 ↓ (大正 6. 4. 1) 木臼尋常小学校	(大正元. 10) 烏柵舞特別教授所 ↓ (大正 6. 12) 私立王子尋常小学校 ↓ (大正 12. 4) 高等科設置 ↓	(大正 7. 6. 6) 新嶮淵尋常小学校	(大正 9. 12. 13) 千歳小学校根志越分 教場 ↓ (大正 13) 根志越特別教授所	
昭和	↓ (昭和 16. 4) 近唐国民学校 ↓ (昭和 22. 4) 近唐小学校 ↓ (昭和 27. 4. 1) 協和小学校 ↓ (昭和 46. 1. 1) 東小学校	↓ (昭和 16. 4) 木臼国民学校 ↓ (昭和 22. 4) 木臼小学校 ↓ (昭和 26. 4. 1) 中央小学校 ↓	(昭和 6. 4) 烏柵舞尋常高等小学校 ↓ (昭和 11. 11. 30) 千歳鉦山特別分教場設 置 ↓ (昭和 16. 4) 烏柵舞国民学校 ↓ (昭和 22. 4) 烏柵舞小学校 ↓ (昭和 22. 12. 25) 支笏湖畔分教場設置 ↓ (昭和 26. 4) 水明小学校 ↓ (昭和 34. 2. 1) 藤の沢分校設置 ↓ (昭和 39. 3. 31) 支笏湖小学校へ統合	↓ (昭和 16. 4) 新嶮淵国民学校 高等科設置 ↓ (昭和 22. 4) 新嶮淵小学校 ↓ (昭和 27. 4. 1) 東丘小学校 ↓ (昭和 46. 1. 1) 東小学校	↓ (昭和 21. 4) 千歳第二国民学校 ↓ (昭和 22. 4) 千歳第二小学校 ↓ (昭和 43. 4. 1) 泉郷小学校を統合 ↓ 現在に至る	(昭和 11. 11. 30) 烏柵舞尋常高等小千 歳鉦山特別教授所 ↓ (昭和 12. 10. 1) 千歳鉦山尋常高等小 学校 ↓ (昭和 16. 4) 千歳鉦山国民学校 ↓ (昭和 22. 4) 千歳鉦山小学校 ↓ (昭和 53. 3. 31) 廃校
平成		(平成 5. 3. 31) 千歳小学校へ統合				

	蘭越小学校	支笏湖小学校	千歳第三小学校	北栄小学校	末広小学校	緑小学校
昭和	(昭和 21. 11. 20) 蘭越国民学校 ↓ (昭和 22. 4) 蘭越小学校 ↓ (昭和 53. 3. 31) 緑小学校へ統合	(昭和 22. 12. 25) 烏柵舞小学校支笏湖畔分教場 ↓ (昭和 24. 1. 29) 支笏湖小学校 ↓ (昭和 39. 4. 1) 水明小学校を統合 現在に至る	(昭和 23. 6) 開校 ↓ (昭和 43. 7. 18) 信濃小学校へ統合	(昭和 28. 5. 25) 開校 現在に至る	(昭和 31. 4. 1) 開校 現在に至る	(昭和 32. 4. 1) 開校 ↓ (昭和 53. 3. 31) 蘭越小学校を統合 現在に至る
	藤の沢小中学校	北進小中学校	日の出小学校	信濃小学校	高台小学校	東小学校
昭和	(昭和 34. 4. 1) 水明小中学校藤の沢分校 ↓ (昭和 39. 3. 31) 水明中藤の沢分校水明中学校へ統合 ↓ (昭和 39. 4. 1) 千歳小学校藤の沢分校 ↓ (昭和 41. 4) 藤の沢小学校 ↓ (昭和 42. 3. 31) 廃校	(昭和 35. 5. 5) 千歳小学校特殊学級 ↓ (昭和 37. 4. 1) 千歳中学校特殊学級併設 ↓ (昭和 40. 10. 1) 千歳小中北栄分校 ↓ (昭和 46. 4. 1) 北進小中学校 現在に至る	(昭和 41. 12. 1) 開校 現在に至る	(昭和 43. 4. 1) 開校 ↓ (昭和 43. 7. 18) 千歳第三小学校を統合 現在に至る	(昭和 45. 4. 1) 開校 現在に至る	(昭和 46. 1. 1) 幌加、協和、東丘の3校を統合して開校 現在に至る
	祝梅小学校	桜木小学校	向陽台小学校	北陽小学校	泉沢小学校	長都中学校
昭和・平成	(昭和 51. 4. 1) 開校 現在に至る	(昭和 53. 4. 1) 開校 現在に至る	(昭和 57. 4. 1) 開校 現在に至る	(平成 6. 4. 1) 開校 ↓ (平成 17. 4. 1) 長都小学校を統合 現在に至る	(平成 9. 4. 1) 開校 現在に至る	(昭和 22. 4. 1) 千歳中学校長都分校として小学校に併置 ↓ (昭和 30. 5. 23) 長都中学校として独立 ↓ (昭和 52. 4. 1) 長都小中学校 ↓ (平成 17. 3. 31) 富丘中学校へ統合
	千歳中学校	東千歳中学校	青葉中学校	千歳鉦山中学校	駒里中学校	泉郷中学校
昭和・平成	(昭和 22. 6. 4) 開校 ↓ (昭和 41. 4. 1) 水明中学校を統合 ↓ (昭和 43. 4. 1) 泉郷中学校を統合 ↓ (平成 24. 4. 1) 真町中学校を統合 現在に至る	(昭和 22. 6. 5) 幌加中学校として小学校に併置 ↓ (昭和 27. 4. 1) 東千歳中学校 現在に至る	(昭和 32. 8. 29) 開校 現在に至る	(昭和 22. 4. 1) 千歳中学校鉦山分校として小学校に併置 ↓ (昭和 25. 4. 1) 千歳鉦山中学校 ↓ (昭和 53. 3. 31) 廃校	(昭和 25. 12) 千歳中学校阿字砂里分校として小学校に併置 ↓ (昭和 27. 4. 1) 同 駒里分校 ↓ (昭和 31. 1. 1) 駒里中学校として小学校に併置 現在に至る	(昭和 22. 4. 1) 千歳中学校嶮淵分校として小学校に併置 ↓ (昭和 27. 4. 1) 同 泉郷分校 ↓ (昭和 31. 1. 1) 泉郷中学校 ↓ (昭和 43. 3. 31) 千歳中学校へ統合

	中央中学校	水明中学校	真町中学校	富丘中学校	北斗中学校	向陽台中学校
昭和・平成	(昭和 22. 5. 13) 千歳中学校木臼分校として小学校に併置 ↓ (昭和 26. 4. 1) 同 中央分校 ↓ (昭和 31. 1. 1) 中央中学校 ↓ (昭和 47. 3. 31) 真町中学校へ統合	(昭和 24. 4. 8) 千歳中学校烏柵舞分校として小学校に併置 ↓ (昭和 26. 4. 1) 同 水明分校 ↓ (昭和 31. 1. 1) 水明中学校 ↓ (昭和 34. 2. 1) 藤の沢分校設置 ↓ (昭和 39. 4. 1) 藤の沢分校を統合 ↓ (昭和 41. 3. 31) 千歳中学校へ統合	(昭和 47. 1. 1) 開校 ↓ (昭和 47. 4. 1) 中央中学校を統合 ↓ (平成 24. 3. 31) 千歳中学校へ統合	(昭和 50. 4. 1) 開校 現在に至る ↓ (平成 17. 4. 1) 長都中学校を統合 現在に至る	(昭和 59. 4. 1) 開校 現在に至る	(昭和 62. 4. 1) 開校 現在に至る
	勇舞中学校					
平成	(平成 24. 4. 1) 開校 現在に至る					

5 教育委員会組織と事務分掌



〔2〕教 育 財 政

1 教育予算

(1) 教育費の推移(人件費を除く)

(単位：千円)

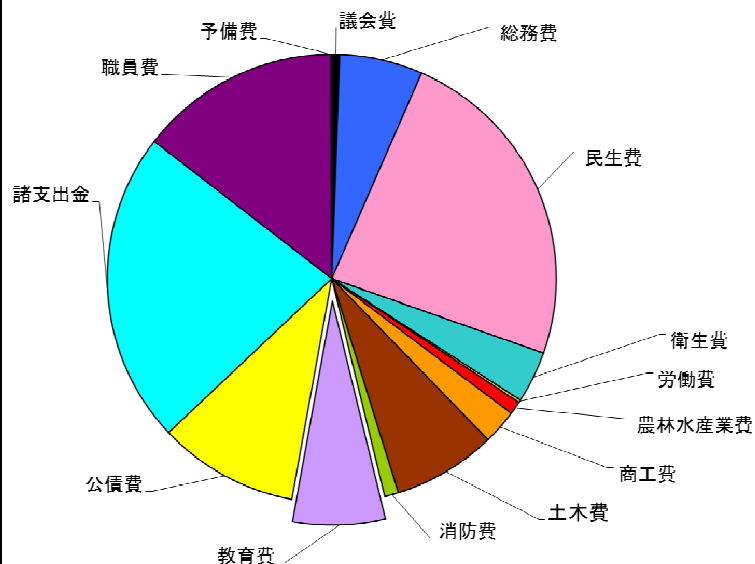
年度 区分	当 初 予 算 額				
	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
教育費	2,770,011	2,752,874	2,758,559	3,895,625	2,801,820
一般会計	46,870,585	43,180,159	43,286,640	42,315,770	42,127,489
構成比	5.9%	6.4%	6.4%	9.2%	6.7%

(2) 平成 24 年度当初予算構成

一般会計

(単位：千円)

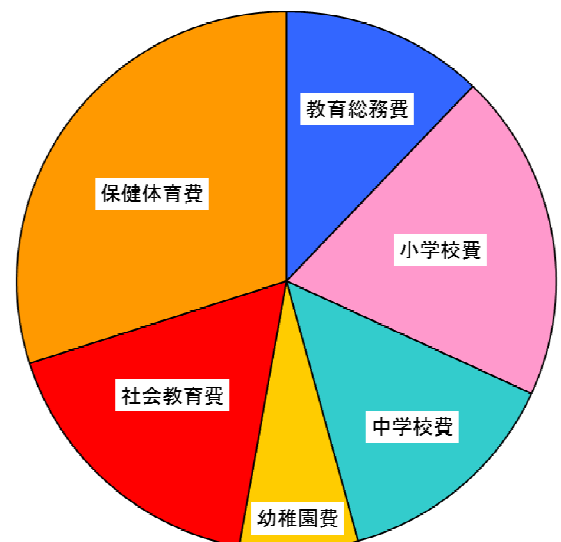
区 分	金 額	比 率 %
議 会 費	239,201	0.6
総 務 費	2,521,512	6.0
民 生 費	10,045,194	23.8
衛 生 費	1,565,443	3.7
労 働 費	83,897	0.2
農 林 水 産 業 費	394,049	0.9
商 工 費	1,053,458	2.5
土 木 費	3,141,310	7.5
消 防 費	420,046	1.0
教 育 費	2,801,820	6.7
公 債 費	4,257,778	10.1
諸 支 出 金	9,485,066	22.5
職 員 費	6,098,715	14.5
予 備 費	20,000	0.0
総 額	42,127,489	100.0



教育費

(単位：千円)

区 分	金 額	比 率 %
教育総務費	340,543	12.1
小学校費	552,065	19.7
中学校費	388,293	13.9
幼稚園費	198,634	7.1
社会教育費	483,420	17.3
保健体育費	838,865	29.9
総 額	2,801,820	100.0



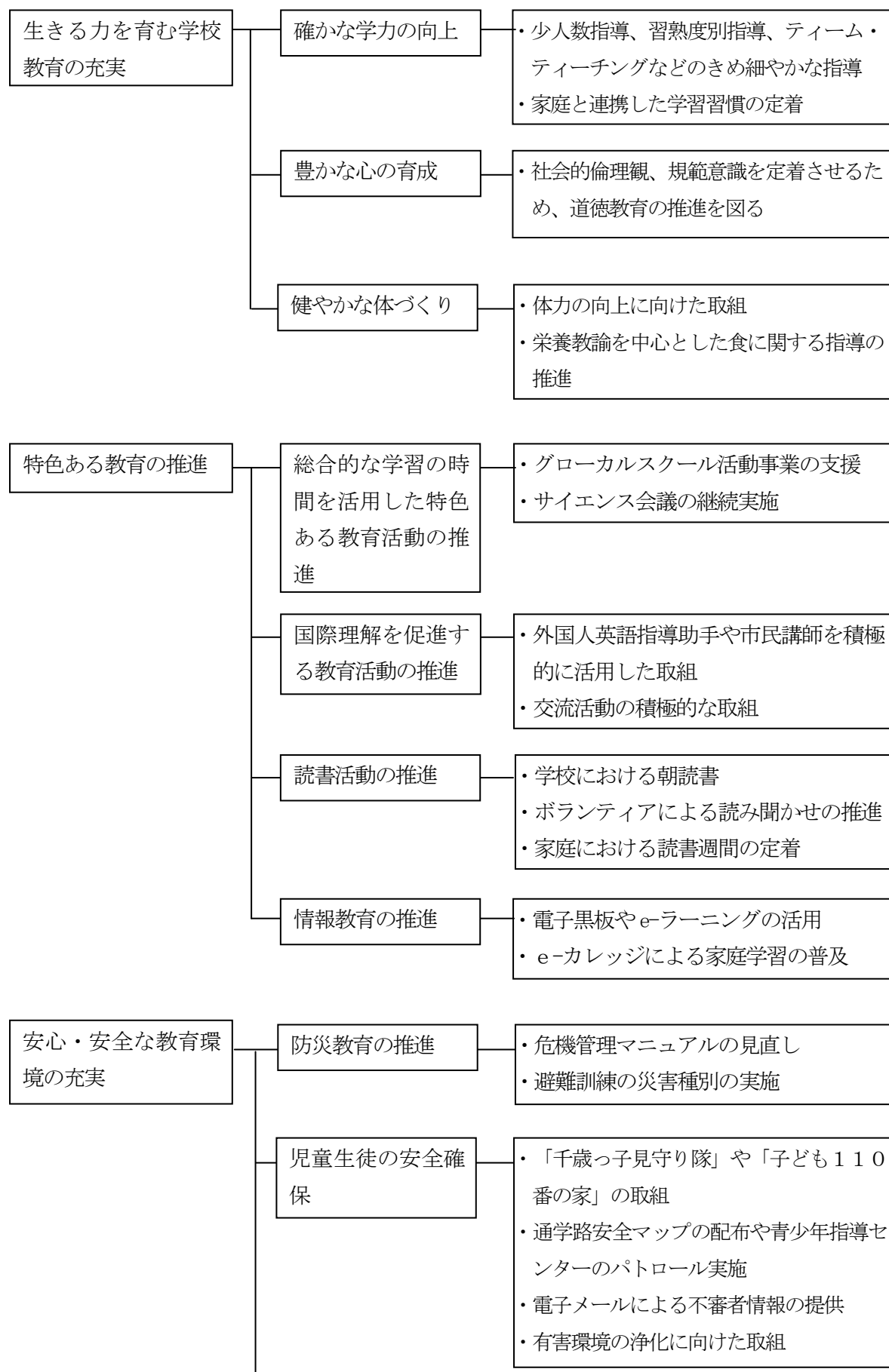
2 平成 24 年度主要事業予算

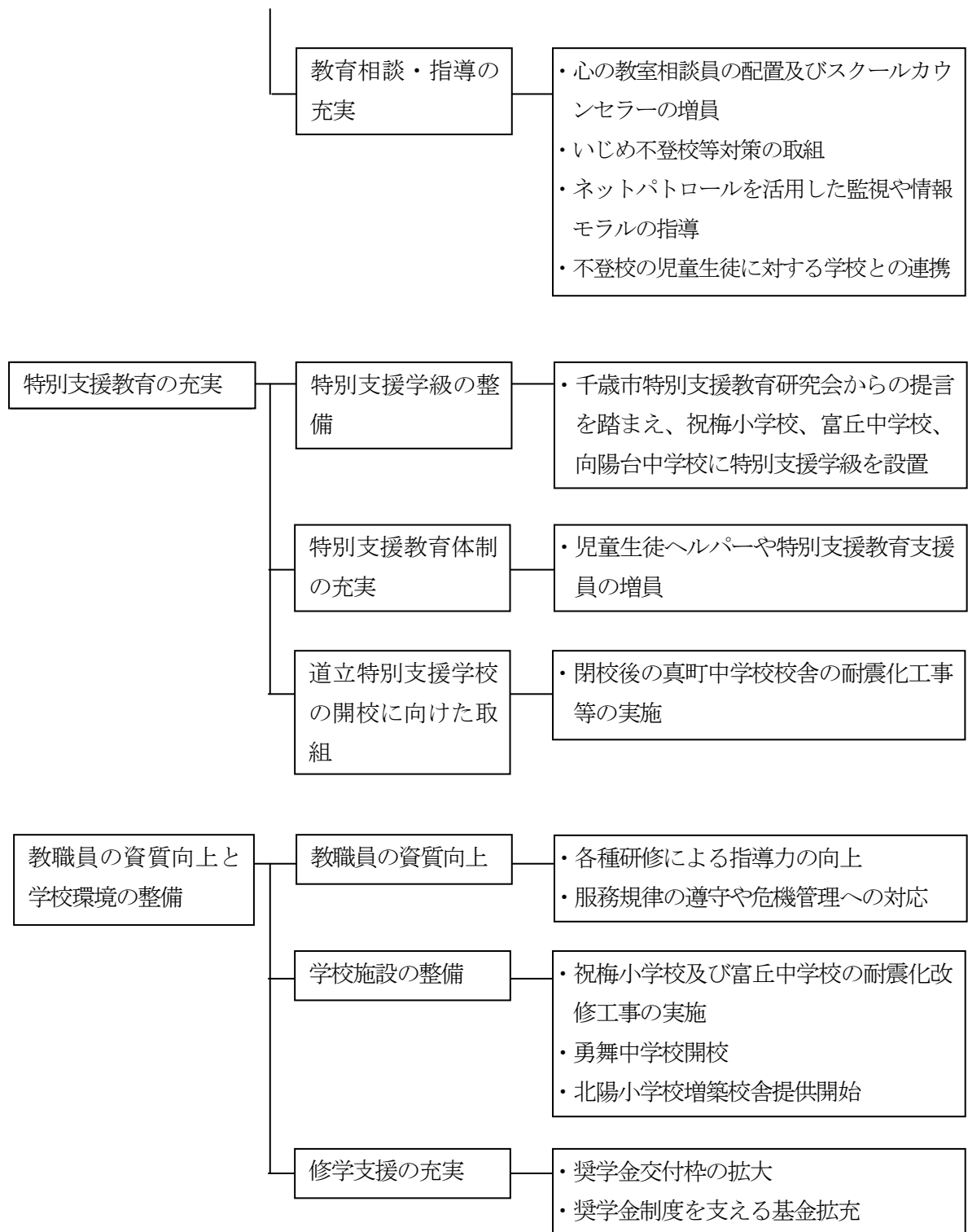
(単位：千円)

款	項	目	本年度予算 (当初)	説明
		教育費	2, 801, 820	
		教育総務費	340, 543	
		教育委員会費	42, 190	教育委員会運営管理業務経費、教育委員会庁舎管理経費、修学支援事業費等
		教育振興費	166, 865	特別支援教育体制推進事業費、スクールバス運行経費、外国青年招致事業費、特別支援学級設置事業費等
		教育財産管理費	131, 488	教員住宅維持管理費経費、道立特別支援学校施設改修事業費等
		小学校費	552, 065	
		小学校管理費	436, 497	小学校運営管理業務経費、小学校施設管理経費、小学校就学援助事業費等
		小学校営繕費	89, 864	小学校維持補修業務経費、小学校防音機能復旧事業費等
		小学校建設事業費	25, 704	北陽小学校仮設校舎整備事業費(リース料)
		中学校費	388, 293	
		中学校管理費	326, 369	中学校運営管理業務経費、中学校施設管理経費、中学校就学援助事業費等
		中学校営繕費	27, 404	中学校維持補修業務経費、中学校耐震化改修事業費等
		中学校建設事業費	34, 520	勇舞中学校建設事業費、富丘中学校仮設校舎整備事業費(リース料)
		幼稚園費	198, 634	
		幼稚園振興費	198, 634	幼稚園教育振興事業費(就園奨励費補助金等)
		社会教育費	483, 420	
		社会教育振興費	10, 969	高齢者学級開催事業費、家庭教育講座開催事業費、生涯学習まちづくり推進講座開催事業費等
		青少年対策費	167, 970	青少年健全育成事業費、青少年会館施設管理経費等
		公民館費	20, 757	公民館管理運営業務経費、公民館分館管理運営業務経費等
		文化振興費	14, 586	埋蔵文化財センター管理業務経費、文化活動支援事業費、上長都文化財収蔵施設維持管理業務経費等
		図書館費	110, 017	図書館施設管理経費等
		市民文化センター費	159, 121	市民文化センター・市民ギャラリー施設管理経費等
		保健体育費	838, 865	
		保健体育総務費	26, 355	児童・生徒健康診断事業費、就学援助事業費等
		給食センター費	298, 070	給食センター施設管理業務経費、給食提供業務経費等
		体育振興費	514, 440	スポーツ普及推進事業費、スポーツ施設管理業務経費、温水プール施設管理経費、スポーツセンターリニューアル事業費等

V 学校教育

〔1〕学校教育の主な施策





〔2〕児童生徒数の推移

1 小学校

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
千歳小	294	297	295	290	279	280	297	301	306	341	325
北進小	24	30	29	27	37	40	38	41	36	32	28
北栄小	309	288	292	283	276	305	304	295	273	267	266
末広小	401	406	435	443	451	455	481	463	466	467	485
緑 小	329	337	322	334	349	348	349	359	380	392	414
千歳第二小	478	493	480	494	473	444	419	392	380	339	339
駒里小	14	13	13	10	8	11	14	11	8	9	8
長都小	11	8	5	－	－	－	－	－	－	－	－
支笏湖小	11	8	9	11	11	12	12	11	12	11	13
日の出小	677	678	680	681	673	655	643	616	588	564	523
信濃小	440	459	447	457	446	433	428	445	452	442	434
高台小	362	348	330	325	324	306	303	315	304	299	308
東 小	25	24	27	22	27	28	28	28	29	27	25
祝梅小	520	484	485	472	434	421	382	376	334	328	318
桜木小	531	538	532	547	532	527	497	471	443	425	400
向陽台小	292	268	272	264	250	233	220	213	191	169	174
北陽小	577	572	594	652	703	741	826	946	1,015	1,117	1,185
泉沢小	581	594	595	579	513	505	454	427	397	341	323
合 計	5,876	5,845	5,842	5,891	5,786	5,744	5,695	5,710	5,614	5,570	5,568

2 中学校

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
千歳中	470	459	439	444	452	446	454	462	485	476	567
北進中	32	17	16	21	24	24	20	22	31	36	38
青葉中	542	560	550	532	518	536	546	533	507	469	451
東千歳中	23	22	19	15	11	12	9	11	15	13	12
長都中	7	11	7	－	－	－	－	－	－	－	－
駒里中	10	11	12	8	9	11	10	9	8	9	9
真町中	121	112	93	80	83	91	91	93	81	89	－
富丘中	723	742	772	830	850	900	899	899	872	936	536
北斗中	351	326	340	346	378	382	393	376	375	371	376
向陽台中	461	445	443	441	433	412	413	379	395	386	344
勇舞中	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	426
合 計	2,740	2,705	2,691	2,717	2,758	2,814	2,835	2,784	2,769	2,785	2,759

※児童生徒数は各年度5月1日現在の学校基本調査による

[3]学校の概要

1 小学校

	千 歳 小 学 校 所在：千歳市本町3丁目4番地の1 電話：0123-23-2181 創設：明治12年10月15日 面積：校地15,089㎡、校舎5,309㎡		
校 長 名	西 木 祭	教 頭 名	山 田 聡
教 職 員 数	教員16名 養護1名 事務1名 栄養1名	学 級 数 児 童 数	12 学級 325 名
教 育 目 標	自然や人とふれ合い、心豊かに 明日に向かってみがきあう ～私たちは、誇り高い千歳小学校の子どもです～ ○すすんで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○意志の強い子 ○きたえる子 <重点目標> 自ら学び つながり合いを大切に し 豊かに生きる子どもの育成		
研 究 主 題	つながり合って、自己をひろげる児童の育成 ～思考の見える言語活動を充実させ、学ぶ喜びを実感できる授業づくり～		
特 色 あ る 教 育 活 動	1. 体験（ふれあい）を重視した教育活動の展開 ○青葉公園での自然体験を軸とした調査活動の推進 ○地域の人や友だちとのつながり合いを重視した学習活動の推進 ○地域の施設など身近なものとのつながりを重視した学習活動の推進 2. 「あおば学習」（総合的な学習の時間） ◇全校テーマ ～共生～ 3年…「身近な人と共に生きる（福祉）」 4年…「地域と共に生きる（地域・郷土理解）」 5年…「この国と共に生きる（環境）」 6年…「世界と共に生きる（国際理解）」 3. 国際理解教育の推進 ○5・6年生の外国語活動へつなげる1～4年生の英語活動 ○国際姉妹校「アメリカアンカレッジ市サンドレイク小学校」との交流 4. 「きらめきタイム」～全校朝学習～ ○「考えて、書く」力をはぐくむ朝学習の推進 ○算数の達成度を確かめる朝学習の推進		
沿 革	明治12年10月 寺子屋式教育を始める 明治13年4月 千歳教育所となる 明治28年3月 千歳尋常小学校となる 昭和22年4月 千歳小学校となる 昭和53年10月 開校100年記念式典挙行 平成元年2月 開校110年・体育館完成記念式典挙行 平成6年6月 サンドレイク小学校児童他 29名来校 相互訪問開始 平成9年3月 本校児童他 54名、サンドレイク小学校訪問 平成10年5月 石狩教育研究所「総合学習」研究協力校 平成15年11月 石教研学校課題研究発表会開催 平成18年6月 サンドレイク小学校児童他46名来校 平成20年1月 サンドレイク小学校訪問（本校児童 他 26名） 平成21年6月 サンドレイク小学校児童他42名来校 10月 耐震化大規模改修工事完了 平成23年1月 サンドレイク小学校訪問（本校児童他24名）		

	北 進 小 学 校 所在：千歳市北栄1丁目2番6号 電話：0123-23-3439 創設：昭和35年5月5日 面積：校地11,341㎡、校舎2,607㎡		
校 長 名	白 川 純	教 頭 名	浅 野 方 伸
教 職 員 数	教員9名 養護1名 事務1名	学 級 数 児 童 数	知的障がい 3学級 自閉症・情緒障がい 2学級 計5学級 28名
教 育 目 標	～21世紀を、自分のよさを発揮し、広く豊かに生きる子どもの育成～ ・たしかに学ぶ子（知） ・かかわりをもてる子（情） ・たくましく生きる子（意・体）		
研 究 主 題	学んだことが日常生活に活きる算数・数学科の授業を目指して ― 自立活動の指導と関連させた授業づくり ―		
特 色 あ る 教 育 活 動	1 特別支援学級のための学校としての特徴を活かした小中一貫教育の推進 2 一人ひとりの発達段階に応じた教科指導の充実 （国語・算数のグループ別学習） 3 将来の社会参加を見通したキャリア活動の充実 （勤労・生涯学習、フィールドワークなど） 4 他校の児童生徒や地域の老人との交流学習 5 他校の児童生徒を含めた教育相談・通級指導		
沿 革	昭和35年5月 児童会館内に千歳小学校特殊学級として発足 昭和38年12月 北栄1丁目2番6号に新校舎落成移転 昭和40年10月 千歳小・千歳中の北栄分校となる 昭和46年4月 北進小中学校として独立 昭和49年4月 言語治療教室緑小に移設 開校15周年記念式典挙行 昭和58年4月 情緒障害学級開設 平成3年3月 開校30周年・校舎増築・新体育館 完成記念式典挙行 平成14年2月 開校40周年記念祝賀会 平成18年2月 北海道教育実践表彰受賞 4月 通級指導教室を開設 平成23年12月 開校50周年・開校40周年をお祝いする会		

	北 栄 小 学 校 所在：千歳市北栄1丁目10番2号 電話：0123-23-4138 創設：昭和28年5月25日 面積：校地30,302㎡、校舎6,033㎡		
校 長 名	四 方 正		教 頭 名 大 村 正 俊
教 職 員 数	教員22名 養護1名 事務2名		学 級 数 児 童 数 14学級 266名 (うち特殊学級4学級29名)
教 育 目 標	○主体的に工夫して学習する子ども (進んで学習する子ども) ○情操に富み創造的な子ども (豊かな心をもった子ども) ○連帯感を深め責任ある行動をする子ども (なかまを大事にする子ども) ○体力の向上に努め、健康で明るい子ども (健康で明るい子ども) ○勤労を愛する子ども (みんなといっしょに働く子ども) 【重点目標】 自主自立的に学習活動に取り組む子どもの育成		
研 究 主 題	意欲を持って学習に取り組む子どもの育成 ～わかる・できる喜びを実感できる授業づくりを通して～		
特 色 あ る 教 育 活 動	○ 特別支援学級(知的障がい、情緒障がい)「たんぼぼ学級」を併設し、普通学級との日常的な交流のほか、総合的な学習の時間に位置づけた交流の機会をもち、共に生きるための相互理解の場としている。 ○ 魅力ある環境構成を工夫し、身近な自然に自ら関わっていける子どもの育成に努めている。 ○ 縦割り班を活用した異学年交流活動を推進している。 ・ 総合的な学習の時間、各種集会活動等、障がい児学級(たんぼぼ学級)交流 ○ 管内唯一のスクールバンドを有し、情操豊かな子どもの育成に努めている。 ・ 定期演奏会、校内諸行事での発表、各種コンクールへの参加		
沿 革	昭和28年5月 千歳小学校より分離し9学級で開校 昭和48年5月 情緒障害児学級新設 昭和55年6月 スクールバンド結成 平成15年11月 開校50周年記念式典挙行 平成17年2月 石狩教育局長表彰受賞(スクールバンド) 平成18年3月 「北栄子どもを見守り隊」発足 平成19年10月 緑化事業「げん気の森」完成式典 平成21年11月 全日本小学校バンドフェスティバル全国大会出場 平成22年11月 全日本小学校バンドフェスティバル全国大会出場 平成23年7月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銀賞受賞 10月 北海道小学校バンドフェスティバル旭川大会金賞受賞 12月 第31回定期演奏会(児童合唱に125名参加)		

	末 広 小 学 校 所在：千歳市富丘2丁目6番2号 電話：0123-23-4127 創設：昭和31年4月1日 面積：校地 22,005 m²、校舎 5,931 m²		
校 長 名	秋 澤 裕	教 頭 名	赤 沼 宏 樹
教 職 員 数	教員21名 養護1名 事務1名 栄養1名	学 級 数 児 童 数	17 学級 485 名
教 育 目 標	○進んでやりぬく子 ○えがおで元気な子 ○広い心でやさしい子 ○六年間を自ら学ぶ子 ＊重点教育目標「主体的に学び、ともに支え合う子の育成」		
研 究 主 題	主体的に考え、自ら学ぶことができる子どもの育成 ～「基礎・基本」の定着と「表現力」の向上を目指した指導のあり方～		
特 色 あ る 教 育 活 動	① アイヌ文化学習（総合的な学習、生活科） 全学年のカリキュラムとして編成し、本物に触れる体験重視の学習活動を軸にふるさとを愛し、自然や命を大切にする心を育み、生き生きと学習する子どもの育成に努めている。また、地域人材の導入や保護者・地域の人々の学習支援を目指し、学校・家庭・地域が一体となった教育活動の創造に努めている。 ② 福祉教育への取り組み（お年寄りとの交流） 地域の老人福祉施設や老人クラブの人たちと交流し、人と人との温かいふれあいを深めるとともに、地域社会の一員としての自覚と連帯感を育てている。 ③ 授業の工夫改善 個に応じた指導の工夫を進め算数等でのT T指導による基礎基本の定着、地域人材活用やゲストティーチャーによる多様な授業の充実と創造を図る。		
沿 革	昭和31年4月 新設開校 8月 開校記念式典挙行 昭和49年3月 現在地に校舎移転 平成8年11月 開校40周年をお祝いする会挙行 平成10年3月 北海道教育実践表彰受賞 平成15年9月 千歳市「花いっぱいコンクール」最優秀賞受賞 平成19年2月 石狩教育局 教育実践奨励表彰 5月 千歳市「花いっぱいコンクール」最優秀賞受賞 平成20年5月 北海道教育実践表彰受賞 平成21年3月 多目的トイレ完成 9月 「ねんりんピック」参加 平成22年8月 道議会議員アイヌ文化学習視察 9月 全国人権教育指導主事研究協議会にて発表 平成23年6月 ユネスコスクール認定		

	緑 小 学 校 所在：千歳市緑町4丁目4番1号 電話：0123-23-4107 創設：昭和32年4月1日 面積：校地 19,328 m²、校舎 6,498 m²		
校 長 名	杉 本 功	教 頭 名	谷 口 寿 光
教 職 員 数	教員25名 養護1名 事務1名	学 級 数 児 童 数	14 学級 414 名
教 育 目 標	～ 私たちは 未来へと進む 緑小の子ども ～ ・なかよく元気に遊びます…… か ら だ (体) ・すすんで学び考えます…… あ た ま (知) ・めあてをもって努力します…… 生きる力 (意) ・人や地球にやさしくします…… こ こ ろ (情)		
研 究 主 題	自ら考え、生き生きと表現する子どもの育成 ～確かな「読み」を追究する言語活動の工夫～		
特 色 あ る 教 育 活 動	○ 緑っ子バザール（全校、地域参加によるふれ合い集会） ○ ボランティア活動（地域別異学年グループによる清掃・美化活動） ○ 地域の施設・人材を活用した授業 ○ 全学年での外国語活動 ○ 千歳科学技術大学の教授や学生との交流授業 ○ カヌー体験（プールや河川の水に対する安全教育） ○ 全学年でのアイヌ文化学習 ○ ユネスコスクール登録		
沿 革	昭和32年4月 昭和49年4月 昭和52年9月 昭和53年4月 昭和59年1月 昭和62年11月 平成7年4月 平成17年10月 平成18年5月 平成19年12月 平成20年3月 4月 12月 平成21年5月 8月 平成23年3月 新設開校 言語治療教室開設 開校20周年記念式典挙行 蘭越小学校と統合 校舎増改築工事完了・引っ越し 開校30周年記念式典挙行 言語通級指導学級開始 文部科学省指定 心に響く道徳教育研究会開催 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 千歳っ子見守り隊発足 開校50周年記念式典挙行 北海道PTA広報誌コンクール審査員特別賞（北海道新聞社賞） お話し会「びっころ」開始 千歳市学校課題研究発表会開催 あそびの日in千歳会場 花いっぱいコンクール「優秀賞」受賞 ユネスコスクールに加盟		

	千 歳 第 二 小 学 校 所在：千歳市清流 1 丁目 4 番 1 号 電話：0123-23-1971 創設：大正 9 年 12 月 13 日 面積：校地 25,693m²、校舎 4,950m²		
校 長 名	山 田 浩 人	教 頭 名	山 崎 信 哉
教 職 員 数	教員 16 名 養護 1 名 事務 1 名	学 級 数 児 童 数	12 学級 339 名
教 育 目 標	○明るく 思いやりのある子 ○ねばり強く たくましい子 ○よく考え 進んで学習する子		
研 究 主 題	『主体的に活動する子どもの育成』 ～確かな学力を身につける算数科の授業づくりを通して～		
特 色 あ る 教 育 活 動	① T T ・少人数指導の実施 ・ 学習意欲の向上、個人差の解消を目指すと共に、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。（算数科・体育科） ② 特別支援教育の充実 ・ 校内の特別支援体制の整備と共に、スクールカウンセラー・特別支援教育支援員心の教室相談員を効果的に活用し、子どもや保護者に対する教育相談の充実を図る。 ③ パワーアップ学習の取り組み（朝の 10 分間学習） ・ 朝の短時間を活用して集中して取り組むことにより、読書活動への意欲向上や学習のつまずきの克服を図る。 ④ 地域の人材や団体との交流を通じた豊かな体験の機会の拡大 ・ 地域の老人クラブ（清流親和会）との交流（昔の遊び・花壇づくりなど） ・ 地域の人材を講師として・・・サケのふるさと館（学芸員）の協力により、サケの誕生と成長（受精卵→孵化→稚魚）の体験学習と千歳川への稚魚放流活動。 ・ アイヌ文化の学習・・・伝統楽器（ムックリ）づくりやサケの解体体験など。 ・ 幼稚園（児）との交流・・・近隣の幼稚園との相互交流。		
沿 革	大正 9 年 12 月 千歳尋常小学校根志越分教場として開校 昭和 21 年 4 月 千歳第二国民学校として独立 昭和 22 年 4 月 千歳第二小学校となる 昭和 43 年 4 月 泉郷小学校統合 昭和 45 年 12 月 開校 50 周年記念式典挙行 平成 4 年 2 月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成 11 年 1 月 サケの稚魚の飼育開始 3 月 増築校舎完成（第 1 期） 平成 12 年 11 月 開校 80 周年記念公開授業研究会 平成 15 年 4 月 少人数指導開始 平成 18 年 4 月 二学期制実施 平成 19 年 5 月 スクールカウンセラー配置事業開始 12 月 児童用 P C 40 台、指導用 P C 1 台設置 平成 20 年 4 月 特別支援教育支援員配置開始 平成 22 年 12 月 開校 90 周年記念集会		

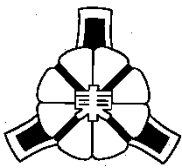
	駒 里 小 学 校 所在：駒里945番地の6 電話：0123-23-3237 創設：明治39年9月1日 面積：校地42,833㎡、校舎1,207㎡		
校 長 名	吉 川 武 志	教 頭 名	関 口 涼
教 職 員 数	教員4名 養護1名 事務1名	学 級 数 児 童 数	3学級 8名
教 育 目 標	◎ やさしい子 （広い視野をもち、ふるさとや人を愛する子ども） ◎ 進んで学ぶ子（進んで学び、自ら考え、行動する子ども） ◎ 元気な子 （たくましい心と体をもった、元気な子ども）		
研 究 主 題	基礎・基本の確実な定着と自己学習力を育てる学習指導の在り方 ～言語活動の充実と個への支援を目指して～		
特 色 ある 教 育 活 動	◎ 学校環境を生かした教育活動の充実・推進 1 「総合的な学習の時間」～地域の中での学びをつくる (1) 農園活動 (2) 地域の自然、産業、生活、文化等に関する内容に基づいた学習 2 ボランティア活動 (1) 交通安全キャンペーン、 (2) 学校祭・餅つき会への地域ご老人の招待活動 (3) リングプル、ペットボトルのキャップ等の回収 3 体力づくり (1) パークゴルフ (2) 歩くスキー (3) 中学校部活との連携（バドミントン）		
沿 革	明治33年6月 千歳尋常小学校阿宇砂里分教場として開校 明治39年9月 阿宇砂里簡易教育所となる 大正6年4月 阿宇砂里尋常小学校として独立 昭和22年4月 阿宇砂里小学校となる 昭和27年4月 駒里小学校となる 平成8年9月 開校90周年記念集会举行 平成10年10月 全道へき地複式・併置校教育研究大会石狩大会会場 平成15年4月 交通安全キャンペーン表彰 平成16年9月 交通安全キャンペーン20年達成 平成17年8月 大規模改修 平成18年11月 小学校開校100周年 中学校開校50周年記念式典、祝賀会開催 平成19年5月 石狩管内複式校新任者研究大会 平成20年7月 文科省指定 豊かな体験活動 平成21年9月 交通安全キャンペーン25年達成		

	支 笏 湖 小 学 校 所在：千歳市支笏湖温泉 2 番地 電話：0123-25-2729 創設：昭和 23 年 12 月 1 日 面積：校地 14,940 m²、校舎 1,643 m²		
校 長 名	加 賀 谷 隆	教 頭 名	生 田 康 人
教 職 員 数	教員 4 名 養護 1 名	学 級 数 児 童 数	3 学級 13 名
教 育 目 標	「たくましい心と体をもった 人間性豊かな児童の育成」 ・自ら考え、創造する子ども（知） ・明るく、協力する子ども（情） ・根気よく、実行する子ども（意） ・心身をきたえる子ども（体） 重点目標（学校課題） 『生き生きと 進んで実行する 子どもの育成』		
研 究 主 題	自分の考えを持ち、生き生きと表現できる児童の育成 ～算数科における学習指導の研究～		
特 色 あ る 教 育 活 動	1 愛鳥モデル指定校～地域の特性を生かし、毎朝の給餌・観察活動、学習・行事との関連を図る。 2 ヒメマス学習～地域の特産であるヒメマスを取り上げることで地域の自然環境や産業人々のくらしを学習し、理科、社会科、生活科、総合学習、行事との関連を図る。 3 全校鼓笛隊～鼓笛隊を全校児童で組織し、地域行事に参加することで支笏湖地区に貢献している自分達に気付かせ、地域住民や観光客へ披露することで自信と意欲を育てる。 4 公園清掃～国立公園の清掃を地域住民、敬老会などの人々で行い、環境美化に努めている。 5 高知県南国市立奈路小学校との交流（「心の直行便」活動）～ 一年おきに相互学校訪問し、手紙、作品類、収穫物交流などを通して気候や文化の違いを知り、また、離れた地域の友だち、父母との「心の交流」を行っている。		
沿 革	昭和22年12月 烏柵舞小学校支笏湖分教場開校 昭和23年12月 支笏湖小学校の認可 現在のユースホステルに校舎完成 昭和24年 1 月 支笏湖小学校の開校式 昭和29年 7 月 現在地に校舎完成 昭和43年11月 開校20周年記念式典挙行 昭和49年 7 月 湖水まつり鼓笛パレード出演 12月 開校25周年記念式典挙行 昭和54年12月 開校30周年記念式典挙行 昭和57年 2 月 現校舎防音・体育館完成 昭和60年 9 月 道複連石狩大会分科会、授業公開 昭和62年 2 月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 平成10年2・8月 南国市立奈路小学校との交流 開校50年記念式・祝賀会挙行 平成18年 5 月 北海道社会貢献賞（野生鳥獣保護功劳）受賞 平成19年 5 月 野生生物保護功劳者表彰		

	日の出小学校 所在：千歳市日の出2丁目3番20号 電話：0123-23-2670 創設：昭和41年12月1日 面積：校地 21,997 m²、校舎 4,899 m²		
校 長 名	入 沢 潤 司	教 頭 名	松 井 明 生
教 職 員 数	教員24名 養護1名 事務1名	学 級 数 児 童 数	18 学級 523 名
教 育 目 標	◎進んで学習する子 (知) ◎思いやりのある子 (情) ◎考えて行動する子 (意) ◎元気に活動する子 (体) ◆元気なあいさつ、学び喜び、未来へはばたく 日の出小		
研 究 主 題	伝え合い学び合う子どもの育成 ～算数科を通して～		
特 色 あ る 教 育 活 動	(1) 学習活動の面 ① 授業のねらいを明確化し、基礎基本の定着を図る指導過程を構築する取り組み ・研究教科を算数科とし、伝え合う力を一層伸ばし、互いの考えを比較したり友だちの考えを基に課題解決に迫るような学び合う意欲や態度を身に付ける指導 ② 目標を持たせる検定と放課後学習の取り組み ・毎週1回、漢字検定と計算検定を実施し、意欲化と定着を図る ・検定に再挑戦できる放課後学習の充実（担任外の教員が担当） (2) 学校行事及び児童会の活動に関わる取り組み ① 日の出っ子ひろば ② あいさつ運動 ③ リングプル集め ④ 愛キャップ集め (3) その他 地域と関わりのある活動 ① P T Aふれあいフェスティバル ② ふれあいボランティアの活用（AKS活動） ③ 読み聞かせの会「やまぶどうの会」との連携（土曜日の図書室開放） ④ 防犯ボランティア「日の出っ子見守り隊」との連携		
沿 革	昭和41年12月 新設開校 昭和42年1月 開校記念式挙行 昭和51年3月 祝梅小学校分離 6月 開校10周年記念式典挙行 昭和61年11月 開校20周年記念式典挙行 平成8年12月 開校30周年記念式典挙行 平成18年12月 開校40周年記念事業		

	信 濃 小 学 校 所在：千歳市信濃 2 丁目 34 番 12 号 電話：0123-23-4752 創設：昭和43年 4 月 1 日 面積：校地23,236㎡、校舎5,644㎡		
校 長 名	亀 浦 正 幸	教 頭 名	山 田 篤 秀
教 職 員 数	教員20名 養護 1 名 事務 2 名	学 級 数 児 童 数	14 学級 434 名
教 育 目 標	○考える子 ○やさしい子 ○がんばる子 ○じょうぶな子		
研 究 主 題	「考えを伝え合い、学び合う信濃っ子」の育成 ～算数科の基礎基本定着と学習形態の工夫を通して～		
特 色 あ る 教 育 活 動	(1) ふれあい活動を通して思いやりの心や実践力の育成 ・地域の老人クラブ、幼稚園との交流 (2) 異学年交流を通して心の交流を図るとともに、自分達で遠足を企画させることにより、自覚と責任感を養う活動 ・ジャンボタイム～子ども達の手でつくりあげる異学年のふれあい活動 ・ノースリーダー～北校舎で高学年に仲間入りした 4 年生が低学年と交流する活動 (3) A L T による英語を使った様々なゲームや歌、外国の文化(衣食住)に触れるクラブ活動。～E クラブ		
沿 革	昭和43年 4 月 新設開校 昭和47年12月 体育館（講堂）完成 昭和48年 7 月 開校5周年記念式典 昭和53年 3 月 桜木小分離 10月 開校10周年記念式典挙行 昭和63年 1 月 「信濃の森」購入 10月 開校20周年記念式典挙行 平成 2 年11月 学校プール完成 平成 6 年 4 月 北陽小分離 平成10年 8 月 開校30周年記念式典挙行 平成20年11月 開校40周年記念事業学校課題研究発表会		

	高 台 小 学 校 所在：千歳市富丘1丁目19番4号 電話：0123-23-9109 創設：昭和45年4月1日 面積：校地 21,844 m²、校舎 5,068 m²		
校 長 名	山 内 雅 彦		教 頭 名 今 村 敏 之
教 職 員 数	教員16名 養護1名 事務1名		学 級 数 12 学級 児 童 数 308 名
教 育 目 標	深く考え 学び合う子（重点 深く考え、進んで行動する子どもの育成） 広い心で 助け合う子（重点 明るく思いやりのある子どもの育成） 心豊かに 生きぬく子（重点 健康で、粘り強くやり抜く子どもの育成）		
研 究 主 題	共に学び、共に高め合う授業づくりのあり方 ～学習集団づくりと考える力・表現力・判断力の育成～		
特 色 あ る 教 育 活 動	1 『生活ノート』を活用した基本的生活習慣作り 2 国際理解教育 総合的な学習の中で、4年生10時間程度文化を学びながら英語学習 3 鮭のふ化の観察 さけボランティアによる飼育とさけのふるさと館との交流 4 ふれあい花壇 3、4年生による花壇づくり（「花いっぱいコンクール」参加） 5 千歳市河川事務所との連携 4年総合的な学習の時間		
沿 革	昭和45年4月 新設開校 昭和54年5月 肢体不自由児訓練室「そらまめ」学級開設 昭和55年11月 開校10周年記念式典祝賀会举行 平成2年11月 開校20周年記念式典举行 平成12年9月 小学校英会話学習モデル事業開始 10月 開校30周年記念式典举行 平成15年3月 平成14年度北海道公立学校教育課程実践・石狩教育局長表彰 平成16年11月 千歳市学校課題研究発表会 平成18年2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 8月 「人権の花」感謝状受賞 平成20年1月 岡山市立西大寺南小と、サケ飼育を通じ交流 平成21年5月 人権の花贈呈式 平成22年5月 「あそびの日 in ちとせ高台小学校」会場校		

	東 小 学 校 所在：千歳市東丘 824 番地の 30 電話：0123-21-3200 創設：昭和 46 年 1 月 1 日 面積：校地 22,150 m²、校舎 2,183 m²		
校 長 名	若 山 真	教 頭 名	近 藤 弘 隆
教 職 員 数	教員 6 名 養護 1 名 事務 1 名	学 級 数 児 童 数	4 学級 25 名
教 育 目 標	「おもいやる心で たくましく 学びつづける 東っ子」 重点目標 『豊かな知恵と、たくましい実践力をもった子どもの育成』		
研 究 主 題	自ら考え、共に学び、意欲的に学習に取り組む子どもの育成 ～算数科の授業を通して～		
特 色 ある 教 育 活 動	- 農業体験活動 - 地域の農業考える活動を通し、自分達の生活が多くの人々に支えられていることに気づかせる。また、地域の農業と食との関わりについても学ぶ。 - 学校田（米）活動を通し、作物を育てる苦労や喜びを体験させるとともに、主食について考えさせる。 - ボランティア活動 - 保育所や老人クラブと交流し、地域への貢献を通して地域の一員としての誇りをもつ。 - 北進小学校との交流活動を通して、他校の児童との交流を深める。 - 学校行事・集会活動 - 小中合同運動会（保育所、地域）、学芸会、雪中運動会等の地域一体に行事を通して、ふるさとを大切にする心を育てる。 - 栽培活動集会（講師依頼）、もちつき集会（講師依頼、学校間交流）百人一首集会（講師依頼）を通して地域の人々との交流を深め、ふるさとを大切にする心を育てる。 - 体力づくり（全校なわとび）と歯磨き指導 - 業間を活用し、なわとびの取り組みを行い、体力づくりを図る。 - 給食終了後に、全校一斉に歯磨き指導を実施している。 - パレットタイム - パレットタイム（朝学習の名称）を確保し、国語・算数を中心とした「くり返し学習」「朝読書」を実施している。 - 縦割り班(異学年)活動を日常的に行い、思いやりの心やたくましい心を育む。 (花壇・給食・稲作・東小音頭)		
沿 革	昭和46年 1 月 幌加小、協和小、東丘小の 3 校統合開校 昭和55年11月 開校10周年記念式典挙行 平成 2 年11月 開校20周年記念式典挙行 平成10年10月 全道へき複大会第5分科会会場校 平成12年12月 開校30周年記念式典挙行 平成13年 9 月 コンピューター室整備 10月 学校林記念植樹 平成14年10月 石教研へき複部会研究集会 平成23年 1 月 開校40周年記念を祝う会開催 9 月 全道へき複研究大会石狩プレ大会第4分科会会場校		

	祝 梅 小 学 校 所在：千歳市梅ヶ丘3丁目2番1号 電話：0123-21-1110 創設：昭和51年4月1日 面積：校地21,444㎡、校舎5,294㎡		
校 長 名	菊 地 英 一	教 頭 名	高 田 哲 也
教 職 員 数	教員17名 養護1名 事務1名 栄養1名	学 級 数 児 童 数	12 学級 318 名
教 育 目 標	『すくすく のびのび』 みとめ合い、まなび合い、たかめ合い、きたえ合う 祝梅っ子 重点教育目標 ・豊かな人間性をはぐくむ道德教育の充実と確かな学力を保障する教育課程の展開		
研 究 主 題	「豊かに表現し合い、生き生きと学ぶ子どもの育成」 ～言語活動の充実を目指して～		
特 色 あ る 教 育 活 動	1 サケの飼育学習及び放流 ・環境教育の一環として「サケの飼育」を教育課程に位置づけて取り組む。放流も行う。 2 コイの飼育・花壇の世話 ・「思いやり」の心を育てる活動のひとつとして実施（対小動物） 3 「チャレンジタイム」「チャレンジ教室」の実施 ・基礎基本の定着をめざし、補充学習として、授業中の「チャレンジタイム」、長期休業中の「チャレンジ教室」を実施する。 4 「祝梅タイム」「朝読書」「詩の暗唱」の実施 ・朝の15分間に実施し、意欲的な学習態度の育成や基礎基本的な学習内容の定着を図る。（水曜日～朝読書、金曜日～詩の暗唱） 5 牛乳パックのリサイクル、リングプル回収、愛キャップ運動への協力 ・ユニセフ活動への協力として実施 6 福祉体験活動・人権教育の実施 ・道德教育の一環として実施		
沿 革	昭和51年4月 新設開校 昭和52年2月 6年生タイムカプセル収埋（2000年に回収） 昭和60年11月 開校10周年記念式典挙行 平成6年1月 豊かな学校創生事業によるサケ飼育開始 平成7年11月 開校20周年記念式典挙行 平成10年1月 岡山県西大寺南小学校とサケ飼育を通しての交流を始める 平成17年12月 開校30周年記念式典挙行 平成22年3月 多目的トイレ完成 平成23年4月 新しい図書スペース「図書の森」完成		





向陽台小学校

所在：千歳市若草5丁目1番地
 電話：0123-28-2111
 創設：昭和57年4月1日
 面積：校地 29,161 m²、校舎 6,759 m²



校 長 名	西 野 典 男	教 頭 名	半 谷 真 理 亜
教 職 員 数	教員14名 養護1名 事務1名	学 級 数 児 童 数	9 学級 174 名 (うち特別支援学級3学級9名)
教 育 目 標	明るく豊かな心とたくましい体を持ち、 進んで自らを創造し実践する子どもの育成をめざす ○すすんで考える子 ○すなおで思いやりのある子 ○ねばり強くやりぬく子 ○明るく たくましい子 重点教育目標 【やさしく、かしこく、たくましい子どもの育成】 ～人の話をよく聞き、自分で考え発表する子～		
研 究 主 題	「進んで運動に親しみ、心身ともにたくましい子どもの育成」 ～運動の基礎・基本の定着を目指した指導の工夫～		
特 色 あ る 教 育 活 動	1. 花と小鳥と緑を愛する活動：ひまわりの栽培活動、小鳥のレストラン、校庭の植物（樹木）観察活動 2. 異学年集団活動：向陽っ子タイム 3. 地域の人材を生かした活動：あおぞら生け花教室、昔遊び、町の探検 4. 地域老人とのふれあい活動：あおぞら収穫祭、ミニ運動会 5. 全校あげて家庭学習の習慣化：家庭学習マニュアルの配布 6. 可能性を伸ばす特別支援教育：個々の支援計画に基づき交流学习体験学習を取り入れた教育活動 7. 図書室の地域開放（ボランティア）：図書ボランティア森ツクとの連携、読み聞かせ		
沿 革	昭和57年4月 新設開校 平成4年10月 開校10周年記念式典挙行 平成5年～ 毎年、市や北海道の花いっぱいコンクールに応募し、優秀賞・優良賞・奨励賞等を受賞 平成6年4月 北海道愛鳥モデル校指定 平成9年3月 泉沢小学校分離 平成10年4月 あおぞら(情緒、知的障害)学級開設 平成11年3月 全道PTA広報紙コンクール優秀賞受賞 平成13年11月 開校20周年を祝う集い 平成14年6月 学校図書館地域開放 平成15年4月 難聴学級開設 平成16年4月 肢体不自由学級開設 平成18年9月 千歳市「花いっぱいコンクール」最優秀賞受賞 平成19年5月 北海道社会貢献賞 野生鳥獣保護功労者受賞 平成20年2月 文部科学省指定 「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」公開研究会開催 12月 北海道花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成21年8月 千歳市花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 12月 北海道花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成22年8月 千歳市花いっぱいコンクール特別賞受賞 11月 北海道花いっぱいコンクール優良賞受賞 平成23年10月 文部科学省 読書活動優秀実践校表彰 12月 開校30周年記念式典		

	北 陽 小 学 校 所在：千歳市北陽3丁目9番1号 電話：0123-42-3441 創設：平成6年4月1日 面積：校地 28,874 m²、校舎 6,165 m²		
校 長 名	齊 木 靖 晃	教 頭 名	小 松 義 幸
教 職 員 数	教員43名 養護2名 事務2名	学 級 数 児 童 数	35 学級 1,185 名 (うち特別支援学級1学級3名)
教 育 目 標	◎自分や友達の良さを生かし、心をより豊かにしようとする子どもの育成 (情) 思いやりをもち、助け合う子 (やさしい子) (意) 目標に向かって、努力する子 (がんばる子) (知) 自ら学び、深く考える子 (考える子) (体) 進んで、体をきたえる子 (元気な子) 【重点目標】 ○自ら考え、進んで取り組む子どもを育てる		
研 究 主 題	「自分の思いや考えを生かし、共に学び合う子どもの育成」 ～話し合い活動を通して考えを深め、共に創り上げる授業を目指して(算数科)～		
特 色 あ る 教 育 活 動	◎ 総合的な学習の時間による今日的な教育課題へアプローチ 身近なところから始める環境・福祉・キャリア教育 地域の自然・社会・人的環境を活用した学習活動の展開 ◎ 読書活動の推進による豊かな心と確かな学力の育成 日常的な読書活動の奨励とボランティアとの提携による読書活動の展開 音読を意識した授業の工夫と児童委員会における発展的な活動(読み聞かせ) 全校朝読書の実施		
沿 革	平成6年4月 新設開校 平成9年3月 世界児童画展都道府県団体賞受賞 平成11年1月 増築校舎完成 平成11・12年度 千歳市学校課題研究指定校 平成11年12月 プール完成 平成12年・13年度 石狩教育局 地域教育推進事業「学社融合推進モデル事業」校 平成14年7月 学校図書館地域開放開始 平成15年11月 開校10周年記念式典 平成18年5月 千歳っ子見守り隊対面式 平成20年3月 増築校舎完成 平成21年3月 全道PTA広報紙コンクール大賞受賞 平成22年1月 新校舎1・2階教室改築工事完了 平成23年3月 図書室・図工室・普通教室改築、校長室移設、職員室拡充工事完了 平成24年3月 プレハブ校舎増築完了		

	泉 沢 小 学 校 所在：千歳市柏陽2丁目9番地 電話：0123-28-5830 創設：平成9年4月1日 面積：校地 32,022 m²、校舎面積 5,627 m²		
校 長 名	高 森 幸 代	教 頭 名	山 口 浩
教 職 員 数	教員16名 養護1名 事務1名	学 級 数 児 童 数	12 学級 323 名
教 育 目 標	「明るい笑顔、響き合う心、瞳輝く泉沢」 ○思いやりをもち、助け合う子（情） ○ねばり強く、がんばりぬく子（意） ○進んで学び、深く考える子（知） ○明るく元気で、たくましい子（体）		
研 究 主 題	自分の考えを持ち、表現しともに高め合える子の育成 ～交流活動の工夫を通して～		
特 色 あ る 教 育 活 動	～ いじめ防止・不登校対策指導のできる学校づくりと総合的な学習の時間のあり方の見直し・地域を生かした教育～ 1 いじめ・不登校対策を全職員・保護者・地域が一体となって取り組む方策 ○ いじめ不登校対策のためのブロックや学年部会、全教育活動の一貫としての取り組み ○ 子どものサインを見逃さず「いじめ」の認識を正確に捉え、早期発見・早期の適切な対応によりいじめ・不登校を根絶させる取り組み 2 総合的な学習時間の見直し、地域を生かした教育活動 ○ 臨空工業団地を生かした教材づくりと教育活動 ○ 向陽台の諸施設（リハビリ学院・航空学園など）を生かしたキャリア教育 ○ 泉沢小の「かがやきの森」・学校林を生かした自然体験活動や環境教育 ○ 老人ホーム・赤い羽根・車椅子などボランティア活動の推進		
沿 革	平成9年4月 新設開校 平成10年9月 泉ザ・ワールド開催 平成11年6月 卒業記念植樹 平成12年9月 授業自由参観実施（3日間） 12月 ケムケム集会 平成13年4月 T T及び少人数指導導入 6月 学校評議員制度実施 8月 コンピューター42台設置 平成14年11月 千歳市学校課題研究指定発表会 平成15年9月 英会話学習開始 平成16年10月 台風により学校林20本倒木 平成17年4月 P T A 規約大幅改訂 10月 開校10周年記念事業準備委員会発足 平成18年5月 開校10周年記念大運動会実施 10月 開校10周年記念・石教研指定学校課題研究発表会開催 11月 開校10周年記念式典挙行 平成19年11月 全校道徳実施 平成20年2月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 5月 第2回全校道徳実施 平成21年2月 「遊々の森」認定書締結式 5～11月 「かがやきの森」整備開始 平成22年2月 第3回全校道徳実施 10月 P T A バザー復活 平成23年10月 第2回 P T A バザー開催 11月 全校道徳実施		

2 中 学 校

 千 歳 中 学 校 所在：千歳市栄町4丁目35番地 電話：0123-23-3161 創設：昭和22年6月4日 面積：校地25,903㎡、校舎5,665㎡ 			
校 長 名	浅 見 基 晴	教 頭 名	鹿 野 秀 一
教 職 員 数	教員35名 養護1名 事務2名	学 級 数 生 徒 数	20 学級 567 名 (うち特別支援学級4学級21名)
教 育 目 標	1 豊かな心の育成 2 確かな力の育成 3 健やかな心身の育成 4 広い視野の育成		
研 究 主 題	『基礎・基本の一層の定着を図り、確かな学力をはぐくむ授業の工夫』 ～目標・評価の一体化と精選を通して～		
特 色 あ る 教 育 活 動	1 千歳科学技術大学との連携による学習活動（SPP） ～1年生を対象にした理科の実験授業～ 2 PTA「おやじの会」の活動 環境整備、地域との交流、研修活動 3 地域との交流、ボランティア活動 生徒会委員会による各種募金活動 地域の方々と共に花を植える花壇ボランティア活動 吹奏楽部・合唱部の地域での演奏活動		
沿 革	昭和22年6月 新設開校 9月 校章を制定 昭和24年6月 校歌制定 昭和26年3月 新校舎完成（現在地） 昭和29年3月 体育館完成 昭和37年11月 鉄筋コンクリート三階建校舎完成 12月 完全防音、温風暖房機付講堂（兼体育館）完成 昭和52年10月 開校30周年記念式典挙行「記念誌発行」 平成元年4月 はまなす学級開設 平成5年1月 コンピューター教室工事完了 平成9年11月 開校50周年記念式典挙行「記念誌発行・校旗更新」 平成10年2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成12年2月 平成11年度北海道教育実践奨励表彰受賞 8月 機械警備センサー設置 平成14年2月 安全対策整備工事完了（玄関オートロック式施錠、テレビドアホン等） 平成16年3月 はまなす学級改修工事完了 平成18年8月 2階東校舎教室改修工事完了 平成19年10月 「柏葉の像」修復・塗装完了（奈良昌美先生・同窓会協賛事業） 平成20年3月 開校60周年記念講演会 平成21年9月 管理棟・教室棟・西校舎ボイラー交換（天然ガス化） 平成22年8月 生徒用トイレ改修工事完了 9月 電子黒板配置 10月 耐震工事（東・西・管理棟・体育館）完了 平成23年1月 理科室、水飲み場、防火扉改修工事完了 8月 統合に係る改修工事完了（西校舎1・2階） 11月 体育館ボイラー交換（天然ガス化） 12月 自転車置き場増設工事完了 平成24年4月 真町中学校と統合		

	北 進 中 学 校 所在：千歳市北栄1丁目2番6号 電話：0123-23-3439 創設：昭和37年4月1日 面積：校地 11,341 m²、校舎 2,607 m²		
校 長 名	白 川 純	教 頭 名	浅 野 方 伸
教 職 員 数	教員12名	学 級 数 生 徒 数	知的障がい 3 学級 自閉症・情緒障がい 3 学級 計 6 学級 38 名
教 育 目 標	21世紀を、自分のよさを発揮し、広く豊かに生きる子どもの育成 ・たしかに学ぶ子（知） ・かかわりをもてる子（情） ・たくましく生きる子（意・体）		
研 究 主 題	学んだことが日常生活に活きる算数・数学科の授業を目指して — 自立活動の指導と関連させた授業づくり —		
特 色 あ る 教 育 活 動	1 特別支援学級のための学校としての特徴を活かした小中一貫教育の推進 2 一人ひとりの発達段階に応じた教科指導の充実 （各教科におけるグループ別学習） 3 将来の社会参加を見通したキャリア活動の充実 （地域と連携した職場体験学習、作業実習、ソーシャルスキルトレーニングなど） 4 他校の児童生徒や地域の老人との交流学习 5 他校の児童生徒を含めた教育相談・通級指導		
沿 革	昭和35年5月 児童会館内に千歳小学校特殊学級として発足 昭和38年12月 北栄1丁目2番6号に新校舎落成移転 昭和40年10月 千歳小・千歳中の北栄分校となる 昭和46年4月 北進小中学校として独立 昭和49年4月 言語治療教室緑小に移設 開校15周年記念式典举行 昭和58年4月 情緒障害学級開設 平成3年3月 開校30周年・校舎増築・新体育館完成記念式典举行 平成14年2月 開校40周年記念祝賀会 平成18年2月 北海道教育実践表彰受賞 4月 通級指導教室を開設 平成23年12月 開校50周年・開校40周年記をお祝いする会		

	青 葉 中 学 校 所在：千歳市豊里4丁目1番1号 電話：0123-23-4147 創設：昭和32年8月29日 面積：校地26,028㎡、校舎6,517㎡		
校 長 名	千 葉 英 一	教 頭 名	小 川 満
教 職 員 数	教員25名 養護1名 事務1名	学 級 数 生 徒 数	14 学級 451名
教 育 目 標	「21世紀の担い手として活躍する人間性豊かな生徒の育成」 すぐれた知性（知） 豊かな情操（徳） 強じんな意志と体力（体） 主体的な行動力（生きる力） 重点教育目標 「確かな学力と豊かな心の育成」 指導の重点「学び方・行い方・生き方」の確かな力の育成		
研 究 主 題	確かな学力の育成 ～教えて考えさせる授業づくり～		
特 色 あ る 教 育 活 動	■自治活動■ 挨拶運動・各種募金活動やGBクラブ・JJキャンペーン・青葉の一等星たちなどユニークな活動を展開し、自治活動の高揚に向けた取り組みを積極的に実施。また、生徒会による「いじめ撲滅宣言」の採択など、アンケートや学級・学年の取組を実施している。 ■部活動■ 年間を通じて練習試合や各種大会に積極的に参加し、技術の向上はもとより人間性の向上に努める。 ■朝読書■ 全校朝読書を完全実施して6年目となり定着期を迎えている。一日の学校生活が読書の静寂からスタートしている。		
沿 革	昭和32年8月 千歳中学校より分離 新設開校 昭和47年1月 真町中学校新設のため分離 昭和48年1月 現在地に校舎移転 昭和50年3月 富丘中学校新設のため分離 昭和56年2月 生徒増に伴い増築校舎完成 平成元年9月 はまなす国体軟式野球会場 平成2年12月 プレハブ校舎完成 平成5年1月 コンピューター室完成 平成6年8月 全国中体連剣道大会競技部 平成7年4月 道研情報教育協力校（2年） 平成11年8月 全道中体連卓球大会運営 平成13年12月 グランド防球ネット延長工事 平成15年11月 管内教育機器活用研究発表 平成16年5月 生徒指導総合推進事業実践校 平成18年2月 コンピューター更新 掲揚塔新設 AED設置 平成19年6月 耐震工事、大規模改修工事 10月 開校50周年式典、祝賀会 平成20年1月 2学年教室LAN工事 5月 J8ちとせっ子未来フォーラム参加 9月 千歳市市制50周年記念式典参加 平成21年3月 全道PTA広報誌コンクール特別賞受賞 平成22年3月 地上デジタル受信アンテナ設置 4月 穂積雅子氏凱旋報告会（バンクーバー五輪銀メダリスト） 平成23年1月 全国中体連スケート大会出場（3,000m） 8月 全国中体連陸上大会出場（女子リレー 200m） 10月 ボイラー室改修工事		

	東 千 歳 中 学 校 所在：千歳市東丘 731 番地の 117 電話：0123-21-3300 創設：昭和 27 年 4 月 1 日 面積：23,108 m²、校舎 1,985 m²		
校 長 名	北 幸 法	教 頭 名	—
教 職 員 数	教員 6 名	学 級 数 生 徒 数	2 学級 12 名
教 育 目 標	◎確かな学力（知） ◎豊かな心（情） ◎責任ある行動（徳） ◎たくましい心身（体）		
研 究 主 題	自ら考え、共に学び、学習意欲を高める生徒の育成 — 学び合い・互いに高め合う学習を通して —		
特 色 あ る 教 育 活 動	・ 柏タイム（総合的な学習） ・ 壁新聞制作活動 ・ 地域保育所への訪問活動 ・ 学校農園作り ・ 花壇整備活動 ・ 小中合同運動会 ・ パークゴルフ大会 ・ 地域の人たちとの校外清掃 ・ 地域の人を講師に迎え、全校道徳 ・ 地域の人を講師に迎え、陶芸教室 ・ 地域の人を講師に迎え、かるた大会 ・ ボランティア活動(国際協力)		
沿 革	昭和22年 6 月 昭和27年 4 月 昭和31年12月 昭和38年12月 昭和45年12月 昭和49年 3 月 昭和51年 3 月 昭和57年11月 平成 4 年 7 月 平成 5 年 4 月 平成 5 年 7 月 平成 6 年 9 月 平成 7 年 2 月 平成19年 1 月 平成20年 1 月 平成21年 1 月 幌加中学校として幌加小学校に併設して開校 東千歳中学校として独立 屋内体育館完成 東雲寮完成 スクールバス運行開始・東雲寮閉鎖 校舎改築完成 防音講堂（屋体）完成 開校30周年記念式典挙行 開校40周年記念事業、パークゴルフ場完成 学校教育目標改定 学校給食センター東千歳調理場閉鎖 ふるさとふれあいパークゴルフ場完成 コンピューター教室設置 第5回全道壁新聞コンクール「準大賞」受賞 第6回全道壁新聞コンクール「準大賞」受賞 第7回全道壁新聞コンクール「特別賞」受賞		

	駒 里 中 学 校 所在：千歳市駒里 945 番地の 6 電話：0123-23-3237 創設：昭和 31 年 1 月 1 日 面積：校地 23,108 m²、校舎 1,985 m²		
校 長 名	吉 川 武 志	教 頭 名	関 口 涼
教 職 員 数	教員 6 名	学 級 数 生 徒 数	2 学級 9 名
教 育 目 標	◎ やさしい子（広い視野をもち、ふるさとや人を愛する子ども） ◎ 進んで学ぶ子（進んで学び、自ら考え、行動する子ども） ◎ 元気な子（たくましい心と体をもった、元気な子ども）		
研 究 主 題	基礎・基本の確実な定着と自己学習力を育てる学習指導の在り方 ～言語活動の充実と個への支援を目指して～		
特 色 あ る 教 育 活 動	◎ 学校環境を生かした教育活動の充実・推進 1 「総合的な学習の時間」～地域の中での学びをつくる (1) 農園活動学習、農業体験学習 (2) 地域の自然、産業、生活、文化等に関する内容に基づいた自由課題学習 2 ボランティア活動 (1) 交通安全キャンペーン (2) 学校祭・餅つき会への地域ご老人の招待活動 (3) リングプル、ペットボトルのキャップ等の回収 3 体力づくり (1) パークゴルフ (2) 部活動（バドミントン）		
沿 革	昭和24年12月 千歳中学校阿字佐里分校設置 昭和29年 9 月 開校50周年記念式典 昭和31年 1 月 駒里中学校として独立・小学校併置 昭和32年 7 月 校旗・校歌を制定 昭和36年12月 屋内体育館落成 昭和51年 8 月 グラウンド整地工事完了 昭和55年 2 月 新校舎開設 昭和61年 6 月 小学校開校80周年・中学校開校30周年記念式典 平成 5 年10月 コンピューター室設置 平成 8 年 9 月 小学校開校90周年・中学校開校40周年記念式典 平成10年10月 全道へき地複式教育研究大会開催 平成17年 8 月 校舎外壁大規模補修完了 平成18年 8 月 講堂外壁・屋根全面改修工事 11月 開校100周年50周年記念式典 平成20年 8 月 全道中体連バドミントン大会女子個人出場 平成21年 8 月 全道中体連バドミントン大会男子個人出場 平成22年 8 月 全国中体連バドミントン大会男子個人出場		

	富 丘 中 学 校 所在：千歳市あずさ1丁目2番1号 電話：0123-24-1188 創設：昭和50年4月1日 面積：校地 24,729 m²、校舎 6,190 m²		
校 長 名	佐々木 芳 幸	教 頭 名	三 浦 崇 史
教 職 員 数	教員29名 養護1名 事務1名	学 級 数 生 徒 数	16 学級 536 名
教 育 目 標	一、賢く 創造力豊かな生徒を育てる 一、豊かに 豊かな心を持ち、感動できる生徒を育てる 一、強く 自ら考え、正しく実行できる生徒を育てる 一、遅しく 身体をきたえ、遅しく成長する生徒を育てる 重点目標 『感性豊かに、夢に向かい、学びに向かう生徒の育成』		
研 究 主 題	「基礎・基本を生かし、意欲的に学習する生徒の育成」 ～教科における、言語活動のさらなる充実を目指して～		
特 色 あ る 教 育 活 動	(1) 各学年毎の「総合的な学習の時間」 テーマ『21世紀を拓く私たち』 1年～郷土学習、2年～職場体験学習、3年～福祉学習 (2) ボランティア活動「富中プチボラ」「チャリティーコンサート」 地域社会に貢献する活動、また、地域社会の福祉関係と一体となった活動を通して、豊かな人間性を育てる。		
沿 革	昭和50年4月 新設開校 昭和57年3月 全日本リコーダーコンテスト重奏部門金賞受賞 昭和59年10月 開校10周年記念式典挙行 昭和60年3月 全日本リコーダーコンテスト重奏・合奏両部門金賞受賞 平成元年3月 リコーダー部門重奏部門「文部大臣奨励賞」受賞 平成7年1月 全国書初め展団体優勝 11月 開校20周年記念式典挙行 平成8年3月 全日本リコーダーコンテスト重奏・合奏両部門金賞受賞 平成13年8月 男子卓球部団体戦全国大会出場 平成16年3月 リコーダー部 文部科学大臣奨励賞受賞 平成17年12月 開校30周年記念式典挙行 平成18年8月 札幌地区吹奏楽コンクール金賞受賞 8月 男子ソフトテニス部全国大会出場 平成19年8月 男子ソフトテニス部・陸上部全国大会出場 10月 仮設校舎設置 平成20年3月 全日本リコーダーコンテスト銀賞受賞 8月 剣道部全国大会出場 平成21年3月 全日本リコーダーコンテスト三重奏部門金賞受賞 平成22年3月 全日本リコーダーコンテスト合奏・重奏の部金賞受賞 平成23年2月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 3月 全日本リコーダーコンテスト参加（東日本大震災のためコンテスト中止）		

	北 斗 中 学 校 所在：千歳市北斗5丁目1番1号 電話：0123-22-4151 創設：昭和59年4月1日 面積：校地 24,729 m²、校舎 6,190 m²		
校 長 名	荒 木 実 千 子	教 頭 名	佐 藤 誠
教 職 員 数	教員22名 養護1名 事務1名	学 級 数 生 徒 数	12 学級 376 名
教 育 目 標	1 思いやりの心を持ち、正しく判断できる生徒の育成 2 創造性豊かに、自ら進んで学ぶ生徒の育成 3 生命を大切に、たくましく生きる生徒の育成 4 広い視野に立ち、世界に目を向ける生徒の育成		
研 究 主 題	意欲的に自ら学びを深めていく生徒の育成		
特 色 あ る 教 育 活 動	1 地域や学校の特性を生かした教育課程の編成・実施 ・体験的活動を重視した校外研修 ・職場体験学習や福祉体験の充実 2 生徒の自主性を育成する活動 ・生徒会や部活動、サークル活動を中心としたボランティア活動 ・日常の生徒会活動の活性化を図る各種強調週間の取り組み 3 地域や保護者との連携を深め、地域に根ざした教育活動 ・北斗ふれあいサークル（地域ぐるみの子育て）活動 ・学校文化の地域発信「飛び出せ北斗中」と地域開放「見に来て北斗中」プロジェクト		
沿 革	昭和59年4月 新設開校 7月 プール完成 昭和60年10月 全道放送研究大会・研究発表開催 昭和61年2月 校舎増築完成 平成元年11月 石教研学校課題研究発表会開催 平成2年3月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成5年11月 コンピューター室設置 平成6年11月 開校10周年記念式典挙行 8月 野球部全道大会第3位 平成8年6月 「北斗ふれあいサークル」開始 平成15年11月 開校20周年記念式典挙行 平成19年1月 全道リコーダーコンテスト金賞受賞 平成21年3月 全日本リコーダーコンテスト合奏部門金賞受賞 平成22年1月 全道リコーダーコンテスト金賞受賞 5月 学校文化地域発信「飛び出せ北斗中」プロジェクト開始 平成23年1月 全道リコーダーコンテスト金賞受賞（東日本大震災のため全国大会中止） 6月 学校文化地域発信「見に来て北斗中」プロジェクト開始 8月 男子バスケットボール部全道大会第3位 花いっぱいコンクール最優秀賞 12月 図書室データベース化リニューアルオープン 平成24年1月 全道リコーダーコンテスト金賞 3月 全日本リコーダーコンテスト出場		

	向陽台 中 学 校 所在：千歳市若草5丁目5番地 電話：0123-28-4286 創設：昭和62年4月1日 面積：校地 29,082 m²、校舎 5,549 m²		
校 長 名	出 村 好 孝	教 頭 名	北 本 貴 史
教 職 員 数	教員21名 養護1名 事務1名	学 級 数 生 徒 数	11 学級 344 名
教 育 目 標	1 知性を磨き 創る人 《知》 2 広く絆を 結ぶ人 《情》 3 理想を求め 励む人 《意》 4 気高く強く 生きる人 《体》 5 すすんで道を 拓く人 《労》		
研 究 主 題	豊かな心を持ち、主体的に考え、実践できる生徒の育成 ～心に響く道徳指導～		
特 色 あ る 教 育 活 動	1 勤労生産活動およびボランティア活動 ①地域環境整備奉仕活動、校内美化活動 ②資源回収活動 ③ボランティア体験活動 2 花いっぱい運動 ①学校花壇の整備と管理 3 保護者・地域の協力による文化活動 ①文化的行事（向中フェスティバル）～各種制作物の掲示、合唱発表 ②地域交流（泉沢向陽台地区文化祭への制作作品の展示や合唱での出演） 4 朝自習と朝読書活動 毎朝、始業前に全校生徒が一斉に朝自習と朝読書を行う。 5 地域の施設と人材を活用した教育活動 ① 域に住んでいる琴の師範との TT ② 地域にあるスキー場を利用しておやじの会などを中心として、地域にいるスキーの指導などの方との TT 6 L i f e 学習～3年間を通したキャリア教育 1年生：地域人材を生かした職業調査 2年生：箱根牧場での農業体験 3年生：地域に根ざした職業体験学習		
沿 革	昭和62年 開校式 7学級273名 平成2年 増築校舎完成 普通教室4、職員室等 計11室 平成5年 「石狩管内教育実践奨励表彰」受賞 平成6年 コンピューター教室設置、ラグビー部全道優勝 平成9年 野球部全国大会出場、石教研・千歳振「学校課題研究発表」 開校10周年記念式典挙行 平成11年 「北海道教育実践表彰」受賞 平成13年 全国読書活動実践校 文部科学大臣賞受賞 平成18年 開校20周年合唱発表会（市民文化センター大ホール） 平成19年 第1回「河口」発表会 平成20年 第2回「河口」発表会 千歳フィルハーモニー管弦楽団参加 平成21年 校舎大規模改修工事（外壁、屋上、非常階段、職員室、教室、玄関、体育館床） 第3回「河口」発表会 千歳フィルハーモニー管弦楽団参加 平成22年 校舎大規模改修工事（体育館、職員・生徒玄関戸） 第4回「河口」発表会 千歳フィルハーモニー管弦楽団・ピアニスト 鶴喰由美氏参加		

	勇 舞 中 学 校 所在：千歳市勇舞3丁目4番2号 電話：0123-40-0051 創設：平成24年4月1日 面積：校地 29,082 m²、校舎 5,549 m²		
校 長 名	杉 本 祐 治	教 頭 名	多 田 貴 典
教 職 員 数	教員23名 養護1名 事務1名	学 級 数 生 徒 数	13 学級 426 名
教 育 目 標	開校の理念 きらやかに しなやかに 学校経営の基本方針 生きる力をはぐくみ、潤いと活力に満ちた学校の創造 ○新しい教育の具現化をめざす学校 ○生徒一人一人がきらめき、信じ合う心が溢れる学校 ○保護者や地域に開かれ、信頼される学校 ○内発的改善力を持ち、支持的な職員風土と協働による学校 ○情熱ある人間性に支えられ、教育的力量を高め合う学校 学校教育目標については10月に予定している開校記念式典にて発表予定		
研 究 主 題	現在検討中		
特 色 あ る 教 育 活 動	① 小中連携教育の充実 ・北陽小との交流の充実を図る 9年間を見通した学習指導、教職員による協働指導 - 交流場面の充実 ～ 児童会・生徒会、部活動、授業交流など ② 学ぶ場面の充実 ・個に応じた補充学習等の実践 ・ICT機器を活用した授業の実践 ・地域人材を活用した多様な活動 ③ 自ら考え行動できる生徒の育成 ・ノーチャイムの実践 ④ 環境教育の充実 ・太陽光発電システムの活用 ・リサイクル活動の推進 など		
沿 革	平成24年4月 開校式 13学級426名 10月 開校式典(予定) 校歌・学校教育目標の発表		

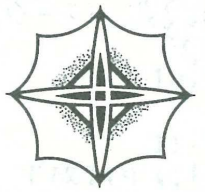
3 幼稚園

(平成 24 年 5 月 1 日現在)

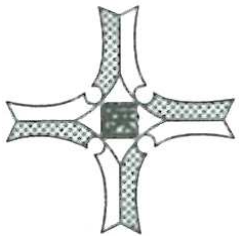
学校法人・幼稚園名	所在地	電話	認可 定員	就園 者数	預かり 保育	給食
千歳栄光学園 千歳幼稚園	〒066-0041 千歳市清水町 4 丁目 25 番地	23-2331	120	91	○	○
千歳栄光学園 千歳第 2 幼稚園	〒066-0037 千歳市新富 1 丁目 6 番 21 号	23-3586	140	117	○	○
千歳青葉学園 千歳青葉幼稚園	〒066-0015 千歳市青葉 5 丁目 13 番 7 号	23-3998	150	132	○	○ (週 3)
西越学園 くるみ幼稚園	〒066-0082 千歳市幸福 1 丁目 847 番地	23-4559	230	211	○	○ (週 5)
千歳学園 メリー幼稚園	〒066-0027 千歳市末広 5 丁目 1 番 6 号	23-3329	280	242	○	○ (週 2)
千歳学園 第 2 メリー幼稚園	〒066-0034 千歳市富丘 4 丁目 13 番 20 号	23-5735	310	294	○	○ (週 2)
富士学園 千歳わかば幼稚園	〒066-0039 千歳市富士 2 丁目 5 番 6 号	26-0183	170	88	○	○ (週 3)
富士学園 第 2 わかば幼稚園	〒066-0078 千歳市勇舞 1 丁目 4 番 1 号	23-2200	280	237	○	○ (週 3)
つくし学園 千歳つくし幼稚園	〒066-0035 千歳市高台 2 丁目 3 番 11 号	23-0203	330	302	○	○ (週 3)
つくし学園 向陽台つくし幼稚園	〒066-0057 千歳市若草 5 丁目 3 番地の 1	28-2123	210	165	○	○ (週 3)
合計 10 幼稚園			2,220	1,879		

4 高等学校

学 所 電	校 在 地	名 地 話	 北海道千歳高等学校 千歳市北栄1丁目4番1号 (電話 0123-23-9145)
校 長 名	釣 晴 彦		
学 生 数	級 数	徒 数	(全日制) 普通科 国際教養科 国際流通科 (定時制) 普通科 計 27学級 1,066名 4学級 80名
沿 革	昭和23年10月30日 道立野幌高等学校千歳分校として設立認可 昭和25年3月31日 北海道月寒高等学校千歳分校となる 昭和25年4月30日 千歳町立北海道千歳高等学校設置許可 昭和29年4月1日 道立移管 昭和33年10月4日 創立10周年記念式典挙行 昭和43年9月22日 創立20周年記念式典挙行 昭和53年9月24日 創立30周年記念式典挙行 昭和62年3月31日 定時制商業科閉科 平成6年11月8日 大韓民国空港高校姉妹提携 平成7年7月・12月 大韓民国空港高校と相互交流開始 (平成10年及び11年一時中断) 平成11年4月1日 国際教養科・国際流通科開設 平成11年11月6日 創立50周年・校舎改築落成記念式典挙行 平成12年9月 アメリカ合衆国ジェームズリバー高校と相互交流開始 平成14年3月31日 第2体育館完成 平成15年4月1日 全日制普通科1間口減 平成20年6月～ 平成21年2月 創立60周年記念事業 (記念看板設置、航空写真撮影、校歌CD作成) 平成22年9月 太陽光発電設備工事完了		

学 所 電	校 在 名 地 話	 北海道千歳北陽高等学校 千歳市北陽2丁目10番53号 (電話 0123-24-2818)
校 長 名	林 俊 夫	
学 生 級 徒 数 数	全日制普通科 24学級 805名	
沿 革	昭和48年4月1日 開校 昭和51年7月15日 文部省教育課程研究開発校指定 昭和57年11月13日 創立10周年記念式典挙行 平成4年10月18日 創立20周年記念式典挙行 平成7年2月13日 道路交通量調査実践により北海道社会貢献賞受賞 平成14年11月9日 創立30周年記念式典挙行 平成15年4月1日 2学期制導入 平成16年4月1日 学校目標改訂 平成18年4月1日 校訓制定 平成19年4月2日 文部科学省キャリア教育調査研究推進校指定 平成20年12月25日 千歳科学技術大学との連携・協力に関する協定 平成21年9月14日 平成23年度よりフィールド制導入決定 平成23年4月1日 平成23年度入学生よりフィールド制実施	

5 大学・各種学校

学校名	所在・電話	学科・定員等
 千歳科学技術大学	〒066-8655 千歳市美々758 - 65 (電話0123-27-6001)	総合光科学部 240 名 バイオ・マテリアル学科 光システム学科 グローバルシステムデザイン学科 (大学院) 光科学研究科 光科学専攻 博士前期課程20名 博士後期課程 3 名
 日本航空専門学校	<千歳キャンパス> 〒066-8622 千歳市泉沢1007番地の95 (電話0123-28-1155) <白老キャンパス> 〒059-0904 白老町東町2丁目1番5号 <能登空港キャンパス> 〒929-2372 石川県輪島市 三井町洲衛9部27番地7	<<千歳キャンパス>> ■航空整備科 3 年制 126 名 (男女) 一等航空運航整備士コース (B767) 二等航空整備士コース/二等航空運航整備士コース/システムコース/技術コース ■空港技術科 2 年制 80 名 (男女) グランドハンドリング <<白老キャンパス>> ■国際航空ビジネス科 2・3年制 40名(女子) ハワイ語学研修専攻コース <<能登空港キャンパス>> ■航空工学科 4 年制 40 名 (男女) ■航空整備科 3 年制 40 名 (男女) 一等航空運航整備士コース (YS-11) 航空機整備訓練課程コース ■航空整備技術科 2 年制 40 名 (男女) ■航空ビジネス科 2 年制 40 名 (男女) ■操縦科 2 年制 10 名 (男女)
 北海道千歳リハビリ テーション学院	〒066-0055 千歳市里美2丁目10番 (電話0123-28-5331)	(昼間部・3 年課程) 理学療法学科 80 名 作業療法学科 40 名

〔4〕就学の助成

1 就学援助

経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費や給食費等の就学に必要な経費の一部援助を行っています。

(1) 学用品費等援助

(単位：人、円)

区分	年度	平成 21 年度実績		平成 22 年度実績		平成 23 年度実績		備考
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	
小学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	973	13,370,760	993	14,039,121	1,026	14,311,458	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	302	3,487,720	316	3,676,550	317	3,699,090	
	新入学児童生徒学用品費等	134	2,666,600	154	3,064,600	134	2,666,600	
	修学旅行費	183	3,236,292	191	3,297,532	178	3,089,509	要保護を含む
	校外活動費	135	386,537	184	406,967	162	366,812	宿泊学習
	学校給食費	953	42,304,120	967	44,477,880	1,026	45,402,740	
	計	—	65,452,029	—	68,962,650	—	69,536,209	
中学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	569	13,987,905	566	14,126,480	604	14,804,512	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	82	2,976,600	135	4,900,500	158	6,027,400	
	新入学児童生徒学用品費等	179	4,099,100	179	4,099,100	189	4,328,100	
	修学旅行費	194	12,383,431	191	11,687,204	251	16,207,953	要保護を含む
	校外活動費	165	704,939	146	847,371	131	389,713	宿泊学習
	学校給食費	563	29,306,490	561	29,696,070	600	31,092,505	
	計	—	63,458,465	—	65,356,725	—	72,850,183	
合計		—	128,910,494	—	134,319,375	—	142,386,392	

(2) 医療費援助

(単位：人、円)

年度 区分		平成 21 年度実績		平成 22 年度実績		平成 23 年度実績		備考
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	
小学校	要保護児童	23	590,068	55	448,840	23	372,200	
	準要保護児童	61	534,587	222	162,690	873	1,968,570	
	計	84	1,124,655	277	611,530	896	2,340,770	
中学校	要保護生徒	8	299,370	19	657,422	45	396,010	
	準要保護生徒	24	294,368	48	156,497	254	661,770	
	計	32	593,738	67	813,919	299	1,057,780	
合 計		116	1,718,393	344	1,425,499	1,195	3,398,550	

2 特別支援教育助成

(1) 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に通学する児童生徒の保護者に対して、経済的な負担の軽減と特別支援教育の振興を図るために就学に必要な経費の一部援助を行っています。

(単位：人、円)

区分 \ 年度		平成 21 年度実績		平成 22 年度実績		平成 23 年度実績		備考
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	
小学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	59	391,754	54	358,012	51	299,626	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	11	174,340	21	202,515	17	179,975	
	新入学児童生徒学用品費等	12	49,750	11	109,450	7	69,650	
	修学旅行費	18	64,105	8	77,320	7	72,100	
	校外活動費	9	24,652	14	4,074	－	－	宿泊学習
	学校給食費	59	1,183,858	53	1,200,670	51	1,144,340	
	通学費	78	429,410	77	475,061	85	556,675	
	計	－	2,317,869	－	2,682,588		2,322,366	
中学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	25	306,718	38	449,304	39	447,130	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	9	163,350	21	381,150	8	145,200	
	新入学児童生徒学用品費等	9	103,050	21	240,450	8	91,600	
	修学旅行費	9	239,958	6	167,100	10	278,500	
	校外活動費	2	5,262	3	8,760	－	－	宿泊学習
	学校給食費	25	675,213	37	982,547	38	1,030,530	
	職場実習・交流学习交通費	3	2,280	21	8,820	18	10,960	
	通学費	10	90,861	11	137,065	6	75,189	
	計	－	1,586,692	－	2,213,196	－	2,079,109	
合計		－	3,904,561	－	4,895,784	－	4,401,475	

(2) 特別支援学校等就学援助費

特別支援学級等に就学する児童生徒の完全就学を図るため、その保護者に対して年間一定額を支給しています。

(単位：人、円)

年度 区分		平成 21 年度実績		平成 22 年度実績		平成 23 年度実績		備 考
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	
小 学 校	特別支援学級	148	5,070,000	139	4,713,000	141	4,716,000	
	特別支援学校等	12	605,000	10	580,000	8	480,000	
	計	160	5,675,000	149	5,293,000	149	5,196,000	
中 学 校	特別支援学級	41	1,948,000	56	2,612,000	58	2,704,000	
	特別支援学校等	11	396,000	9	618,000	13	786,000	
	計	52	2,344,000	65	3,230,000	71	3,490,000	
合計		212	8,019,000	214	8,523,000	220	8,686,000	

3 奨学金制度

経済的理由により、修学が困難な学生、生徒に対し、奨学基金をもとに、奨学金を支給しています。

(1) 資格要件

- ア 千歳市内に住所を有すること
- イ 高等学校、高等専門学校、専修学校、大学に在学中、又は進学を希望するもの
- ウ 学資に乏しいこと
- エ 学業優良及び素行善良であること

(2) 奨学金額

区 分	対 象	金 額
高校生等	高等専門学校生（1年生から3年生）	月額 7,000 円以内
	高校生	
	専修学校生（修業年限が3年以上の高等課程）	
大学生等	大学生（短期大学含む）	月額 10,000 円以内
	高等専門学校生（4年生、5年生及び専攻科）	
	専修学校生（修業年限が2年以上の専門課程）	

(3) 奨学基金現在高

61,600,222円(平成 24 年 3 月 31 日現在)

(4) 支給実績

(単位：人、円)

年度 区分	22 年度			23 年度		
	応募者	受給者	支給金額	応募者	受給者	支給金額
高校生	78	30	2,520,000	65	30	2,520,000
大学生	34	20 (※19)	2,320,000	28	20	2,400,000
合 計	112	50	4,840,000	93	50	4,920,000

※H22 年度は 1 名、8 月交付分より休止（退学のため）

4 私立幼稚園助成

(1) 燃料費・光熱水費補助金

幼稚園に通園する幼児の保護者負担を軽減するため、燃料費・光熱水費として、園児1人当たり年額5,500円を補助しています。

(23年度実績)

対象園児数	補助金交付額
1,840人	10,120,000円

(2) 建設費等利子補給補助金

幼稚園を新設、増設、改築する場合、借入金に対する返済利息の一部を利子補給金として補助している。補助金額は、借入元金の当該年度当初残額（ただし、建設分は300万円、防音分は1,000万円を限度とする。）の3%（借入金利が3%未満の場合はその率）、10年間を限度としている。

(23年度実績) 実績なし

区分	対象幼稚園	補助金交付金額
新築	—	—
増築	—	—
改築	—	—

(3) 障がい児教育補助金

心身障がい児を就園させる幼稚園に対し、障がい児1人当たり年額5万円を補助しています。（ただし、1園当たり15万円を限度とする。）

(23年度実績)

対象幼稚園	対象園児数	補助金交付額
5園	9人	450,000円

(4) 私立幼稚園連合会研修費補助金

私立幼稚園連合会が実施する教員研修に対して、参加教員1人当たり5,500円を限度として補助しています。

(23年度実績)

参加教員数	補助金交付額
94人	281,075円

(5) 就園奨励費補助金

幼稚園に通園する幼児の保護者負担の軽減と公・私立間の保護者負担の較差是正を図るため、入園料・保育料の軽減を行った幼稚園に対し、補助金を交付しています。

(23年度実績)

就園奨励費	対象幼児数	補助金交付額
幼稚園児	1,683人	156,230,900円
2歳児受入	132人	9,828,300円

[5]学 校 保 健

1 児童生徒の体位

(平成 23 年度)

			身長 cm		体重 kg		座高 cm	
			男	女	男	女	男	女
小学生	6 歳	千歳市	116.2	115.9	21.6	21.2	64.5	64.4
		全道	117.2	115.7	21.9	21.3	65.2	64.4
		全国	116.6	115.6	21.3	20.8	64.9	64.4
	7 歳	千歳市	122.4	121.4	24.4	23.9	67.6	66.9
		全道	123.0	122.3	24.9	24.0	67.8	67.4
		全国	122.6	121.6	24.0	23.4	67.7	67.2
	8 歳	千歳市	128.3	127.7	27.3	27.1	70.1	69.8
		全道	128.2	127.9	27.7	27.3	70.3	70.1
		全国	128.2	127.4	27.0	26.4	70.2	69.9
	9 歳	千歳市	133.1	133.9	30.4	31.2	72.0	72.6
		全道	133.9	134.1	31.2	30.9	72.7	73.0
		全国	133.5	133.5	30.3	29.8	72.6	72.7
	10 歳	千歳市	139.0	140.5	34.4	34.5	74.6	75.7
		全道	139.8	141.4	35.8	35.5	75.5	76.5
		全国	138.8	140.2	33.8	34.0	74.9	75.9
	11 歳	千歳市	145.5	147.0	40.0	39.7	77.4	79.0
		全道	145.7	147.5	39.8	39.8	78.1	79.6
		全国	145.0	146.7	38.0	38.8	77.6	79.2
中学生	12 歳	千歳市	153.3	152.3	45.8	45.2	81.8	81.9
		全道	153.2	152.4	45.5	45.0	81.7	82.3
		全国	152.3	151.9	43.8	43.6	81.2	82.1
	13 歳	千歳市	160.6	155.5	50.6	47.7	85.7	83.8
		全道	160.3	155.2	50.4	48.0	85.3	83.7
		全国	159.6	155.0	49.0	47.1	84.9	83.9
	14 歳	千歳市	165.5	157.2	54.9	51.0	88.3	84.9
		全道	166.0	156.6	55.8	50.8	88.2	84.8
		全国	165.1	156.6	54.2	49.9	88.1	84.9

2 災害共済給付

児童生徒が、学校管理下において怪我をした場合、独立行政法人日本スポーツ振興センターから災害共済給付金が支払われます。

給付実績

(単位：件数)

		4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月	計
平成 21 年度	小学校	74	77	58	72	281
	中学校	121	138	122	90	471
	計	195	215	180	162	752
平成 22 年度	小学校	104	73	66	66	309
	中学校	128	123	157	136	544
	計	232	196	223	202	853
平成 23 年度	小学校	99	75	68	84	326
	中学校	145	134	138	129	546
	計	244	209	206	213	872

〔6〕学 校 給 食

1 施設の概要

千歳市学校給食センター

所在地 千歳市流通3丁目1番地の11
電 話 0123-23-3591 FAX 23-3599
開 設 平成5年8月
建築構造 鉄骨造2階建
敷地面積 8,995.46 m²
建物面積 2,660.25 m²



2 学校給食の状況

学校給食は「学校給食法」等に基づき、昭和39年に共同調理方式を採用し、現在、週5回（米飯3回、パンまたは麺類2回）の給食を提供しています。現代の食生活における問題点は、偏った食事内容からくるカルシウムや微量栄養素の不足、脂肪・糖分・塩分等の過剰摂取による健康問題が生じていることです。

なお、食材については、平成13年1月から千歳・恵庭産の白米を使用しており、また、平成22年4月からは、角食及び丸パンの原材料である小麦に千歳産を使用するなど、「地産地消」に努めています。

学校給食は、家庭における食事と相まって、成長期にある児童生徒が1日に必要な栄養量を摂取できるよう、文部科学省が定めている「学校給食栄養基準」に基づき、献立を作成しています。

3 運営方法

学校給食センターの適正な運営を図るため、「千歳市学校給食センター運営審議会」を設置し、運営全般にわたる審議を行っています。

なお、調理、配膳、施設維持管理業務については、業務実施に係る民間のノウハウを活用し、より安定した給食を提供するため、平成21年4月1日から委託を行っています。

千歳市学校給食センター運営審議会委員

所 属 団 体	氏 名
勇舞中学校長	杉本 祐治
緑小学校長	杉本 功
向陽台小学校長	西野 典男
高台小学校教頭	今村 敏之
保護者	橋本 純子
保護者	荒井 由紀恵
千歳医師会・学校医	石坂 明人
民生委員児童委員連絡協議会	後藤 みちよ
千歳消費者協会	中村 千代子
保健福祉部健康推進課長	窪田 聡

(平成24年7月5日現在)

4 給食校及び配食数

学校数			配食数				米飯回数
総 数	小学校	中学校	総 数	小学校	中学校	教職員	週 3 回
26	17	9	8,847	5,568	2,759	520	

(平成24年5月1日現在)

5 給食費

	主食 (円)	副食 (円)	牛乳 (円)	合計 1食単価	給食費(円)		年間給 食回数
					月額	年間	
小学校 (低)	65.34	136.41	39.25	241.00	3,720	44,640	185 回
小学校 (高)	69.49	150.26	39.25	259.00	4,000	48,000	
中学校	73.95	182.80	39.25	296.00	4,570	54,840	

6 栄養基準

			エネ ルギ ー (kcal)	たん ぱく 質 (g)	カルシ ウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
							レチノ ール (μg)	B1 (mg)	B2 (mg)	C (mg)
小学校	低学年	学校給食基準量	610	18.0	325	2.65	135	0.40	0.45	21
		千歳市の献立	666	24.0	344	2.40	292	0.50	0.52	26
	高学年	学校給食基準量	715	22.5	375	3.50	155	0.45	0.50	24
		千歳市の献立	693	27.8	360	2.70	310	0.53	0.54	27
中学校	学校給食基準量		850	28.0	420	4.00	210	0.60	0.60	33
	千歳市の献立		800	31.0	383	3.30	327	0.59	0.88	30

〔7〕生徒指導・青少年指導

1 教育相談

千歳市では、相談電話・来訪又は訪問などにより、小中学校と連携して児童生徒の諸問題に関する相談を行っています。

（1）青少年課における相談業務対応種別件数

（単位：件）

相談種別	平成 22 年度	平成 23 年度	増減
電話で対応した相談	70	55	－15
来訪で対応した相談	101	154	＋53
訪問で対応した相談	0	0	0
その他の方法で対応した相談	9	5	－4
合 計	180	214	＋34

※相談内容は、不登校（57 件）、学校生活（55 件）、問題行動（46 件）家庭生活（38 件）、いじめ（8 件）その他（10 件）となっている。

※保護者からの相談が 77%を占めている。

（2）スクールカウンセラー配置状況

相談体制の充実を図るため、小学校 13 校に心の教室相談員を配置し、児童の悩みやストレスを和らげ問題行動の未然防止を図ります。さらに、中学校を中心としてスクールカウンセラーによる教育相談を実施しています。

平成 23 年度スクールカウンセラー配置校

- ① 北海道スクールカウンセラー：千歳中、北進中、青葉中、真町中、富丘中、北斗中、向陽台中、日の出小、北陽小
- ② 千歳市スクールカウンセラー：千歳第二小、信濃小、高台小、泉沢小
- ③ スクールカウンセラーによる教育相談：教育委員会青少年課相談室において月 2 回実施

2 不登校児童生徒について

不登校児童生徒については、学校と連携するとともに適応指導教室（「おあしす」）への通級を働きかけています。

（1）不登校児童生徒数

（病気・けが以外で 1 カ月に 14 日以上休んだことが 1 回でもあった児童生徒）

（単位：人）

	平成 22 年度	平成 23 年度	増減
小学校	10	11	＋1
中学校	71	94	＋23
計	81	105	＋24

※長期欠席は小学校が 3 名減少、中学校は 8 名の増加となった。

※小学校は半分の児童が学校復帰をした。

(2) 適応指導教室「おあしす」について

① 設置の目的

不登校児童生徒の増加に対応するため、平成9年6月に千歳市青少年会館内（東雲町1丁目10番地）に学校適応指導教室『おあしす』を開設しています。

ここでは、児童生徒の個々の状態に応じた教育相談を行うとともに、集団的な生活習慣や学習、集団活動等において指導・援助を行い、自立や学校生活への復帰を目指しています。

② 指導の方針

ア 指導員と児童生徒の信頼関係を作る中で、生活面での支援を行う。

イ 体験的活動や集団活動を通して、コミュニケーション能力や集団生活における適応能力の向上を図る。

ウ 家庭や在籍校、各関係機関（子育て推進課、児童相談所等）との連携を図りながら、学校復帰への意欲が高まるよう指導・援助に努める。

③ 入級対象児童生徒

市内の小中学校に在籍し、主に心理的要因や集団不適応によって、不登校の状態にある児童生徒。

④ 通級児童生徒数（見学通級は含まず）

（単位：人）

	平成 22 年度	平成 23 年度
小学校	3	3
中学校	24	34
計	27	37

⑤ 開設時間

・月～木 9：30～14：30

・金 9：30～12：00

⑥ 活動内容

ア 個別活動：児童生徒が立てた計画に従って活動し、必要に応じてスタッフの援助を受ける。

イ 学習時間：個々にあった学習内容で、毎週月～木曜日の10時から学習の習慣づけや学ぶことの楽しさを実感させ、学習に積極的に取り組む力を育てる。

ウ マイタイム：「目的を持って活動する」ことを目指し、毎週金曜日の10時から11時の1時間、事前に立てた目標を実行する。

エ 集団活動：児童生徒が状態に応じて、グループで多様な行動をすることによって、心を開放するとともに対人関係を広げ、集団への適応を促進する。

3 いじめに関する取組

千歳市では、いじめの問題に関する指導の方針として「いじめは人間として絶対に許されない」という確固たる認識と毅然とした態度で取り組み、学校、家庭、関係機関及び地域が一体となって、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めることとしています。

各学校においては、いじめ対応マニュアルに基づき、いじめの問題に対して取組を進め、全市的には、子ども達や父母、地域住民、教育関係者等が一体となって取組む行事として、平成9年度から、なかよしさわやかDAYいじめシンポジウムを開催しています。

※平成23年度 なかよしさわやかDAYいじめシンポジウム開催状況

日 時：平成23年11月26日（土）9：20～11：50

会 場：千歳市民文化センター中ホール

参加者：377名

(1) 文部科学省の児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果

(単位：件)

	平成 21 年度	平成 22 年度	増減
いじめ	66	32	－34

4 各種事故

一般事故や交通事故及び非行事故については、小中学校からその都度報告を受け、学校での指導内容を確認し、防止に向けた取組を進めています。

(1) 一般事故・交通事故の状況

(単位：件)

	平成 22 年度	平成 23 年度	増減
交通事故	12	17	＋ 5
一般事故	14	12	－ 2

※交通事故が、増加傾向にある。

(2) 非行事故件の状況

(単位：件)

	平成 22 年度	平成 23 年度	増減
小学校	18	14	－ 4
中学校	37	31	－ 6
計	55	45	－10

※小学校においては、集団による万引き(お菓子)の報告が多い。

※中学校においては、万引き・飲酒・喫煙の報告が多い。

5 児童生徒の安全確保

(1) 不審者・不審電話件数

(単位：件)

	平成 22 年度	平成 23 年度	増減
不審者	32	24	－ 8
不審電話	0	2	＋ 2

※不審者は減少傾向にある。

(2) 千歳っ子見守り隊

各小学校に「千歳っ子見守り隊」を設置し、町内会やPTAの見守り隊ボランティアが児童生徒の見守り活動を行っています。

(単位：人)

	平成 22 年度	平成 23 年度	増減
見守り隊員数	1,099	1,069	－30

(3) 子ども110番の家

子ども達が不審者、事件等に遭遇したときに、助けを求める場所として、各小学校が校区内の商店や事業所などに協力を呼びかけ、「子ども110番の家」を設置しています。

(単位：件)

	平成 22 年度	平成 23 年度	増減
登録件数	1,084	1,085	+ 1

6 青少年指導件数

青少年指導センター専門指導員による青少年の指導件数

(単位：件)

	平成 22 年度	平成 23 年度	増減
未就学	0	0	0
小学生	13	14	+ 1
中学生	39	52	+13
高校生	166	140	-26
その他学生	2	4	+ 2
有職少年	0	5	+ 5
無職少年	0	0	0
成人	0	0	0
合計	220	215	- 5

※指導内容は、自転車の二人乗りが 182 件と最も多く、次いで信号無視 14 件、川遊び 5 件、喫煙 3 件、その他 11 件となっている。

VI 社会教育

〔1〕生涯学習・社会教育の主な施策

いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりの推進	・「千歳学出前講座」による自主的学習活動支援 ・市民活動交流センター「ミナクール」運営団体との連携強化による「まちづくり」の人材や団体の育成と活動の支援 ・「放課後子ども教室」や「学校支援地域本部事業」による地域活動の支援
社会の変化や今日的課題などに対応した、様々な学習機会の充実	・「市民教養セミナー」や「若返り学園」等の生活に密着した学習機会の提供 ・子どもの発達段階に応じた育児知識の「ママさん教室」や「家庭教育セミナー」など情報交換の場の提供や
市民ニーズに対応し、安全で快適に利用できる社会教育施設の充実	・スポーツセンターのリニューアル事業の推進と文化センターの設備更新による機能の向上
多様な文化鑑賞機会の充実と文化活動の支援	・文化センターや市民ギャラリーにおける催事の開催により、文化・芸術に触れる機会の提供 ・文化活動の担い手となる文化芸術活動団体・サークルの育成と活動支援 ・文化意識を高めていくため、活動成果を発表する機会の充実
文化財の保護と継承	・千歳市の文化財を守り伝えるため、「国指定史跡キウス周堤墓群」の保存・活用に向けた取組 ・千歳市の郷土芸能やアイヌ文化の保存と次世代への継承
地域における各種スポーツ活動の活発化と団体の育成	・市民が気軽に参加できる各種スポーツイベントや教室の充実 ・スポーツ活動を支援する指導者や団体の育成 ・各界のプロ選手などを招いて、「千歳ジュニアスポーツフェスティバル」を開催するなど、子どもたちのスポーツ活動の支援
思いやりの心とチャレンジ精神を育む青少年の健全育成活動の推進	・「子ども活動支援センター」を活用し、青少年が地域の中で健康やかに育つ環境づくりや化学実験などの様々な体験学習機会の充実 ・「道の駅サーモンパーク千歳」の再整備と連動しながら、「千歳サケのふるさと館」の魅力ある施設に向けての支援

〔2〕社会教育委員・公民館運営審議会委員

1 社会教育委員

氏 名	所 属 団 体
村 井 政 孝	千歳市退職校長会
千 葉 英 一	千歳市校長会
北 幸 法	千歳市校長会
釣 晴 彦	北海道千歳高等学校
長谷川 誠	千歳科学技術大学
松 本 千恵子	千歳市女性団体協議会
荒 井 由紀恵	千歳市 PTA 連合会
駒 谷 至	千歳市文化団体連絡協議会
開 発 治	千歳市体育協会
河 村 慶 昭	千歳市町内会連合会
尾 本 則 子	千歳市子ども会育成連合会
北 原 美津代	みんなで、ひと・まちづくり委員会
浜 一 穂	泉沢向陽台スポーツクラブ
三 上 幸 男	千歳市体育指導委員協議会
和 田 裕 美	公民館教室

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

2 公民館運営審議会委員

氏 名	所 属 団 体
村 井 政 孝	千歳市退職校長会
北 幸 法	千歳市校長会
松 本 千恵子	千歳市女性団体協議会
荒 井 由紀恵	千歳市 PTA 連合会
駒 谷 至	千歳市文化団体連絡協議会
開 発 治	千歳市体育協会
河 村 慶 昭	千歳市町内会連合会
尾 本 則 子	千歳市子ども会育成連合会
浜 一 穂	泉沢向陽台スポーツクラブ
和 田 裕 美	公民館教室講師

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

〔3〕生涯学習・社会教育の対象

平成24年4月1日現在、千歳市の人口は93,212人で、年齢別人口構成は、年少人口（0～14歳）が13,929人で14.5%、生産年齢人口（15～64歳）が62,977人で67.6%、老年人口（65歳以上）が16,306人で17.5%（平均年齢41.3歳）となっており、人口構成比が若いのが特徴です。

また、昼間人口比率（平成17年の国勢調査105.6%）も全道2位と高く、民間事業所のほか、自衛隊や官公庁に勤める人が多いことから、全国各地と毎年6,000人程の人口移動（転出入）があります。

このような道内他都市には見られない特有の人口形態のなかで、本市の社会教育は展開されています。

〔4〕社会教育事業（平成23年度）

事業名	開催月日	会 場	対 象	趣 旨
ママさん教室	①5月～7月 ②9月～11月	市民文化センター等	母親と幼児等 親子55組	子育て中の母親たちを対象に、子供の発達段階に応じた育児知識の習得と情報交換の場を提供し、地域ぐるみで子育てを行うために支援する人材を育成・活用する。
思春期子育てセミナー	①11月 9日 ② 1月26日	市民文化センター等	市民 60名	思春期や思春期を迎える子を持つ親を対象に、親としてのあり方等について学習する機会を提供。
男性の子育て講座	①8月 6日 ②2月18日	市民文化センター等	父親 (男性保護者) と子ども 69名	講義や実践を通じて、父親としてのあり方や子どもとの関わり方について考える機会を提供し、男性の家庭教育への参画促進を図る。
出前子育て講座	2回	地域集会施設等	子育てサークル 市民団体等 103名	子育て中の親に限らず、多くの市民に、地域ぐるみで子育てを支援することの大切さについて考える機会を提供し、地域における家庭の教育力向上を図る。
家庭教育セミナー	12月3日	市民文化センター等	市民 139名	
チャレンジ教室	体験教室 8回 出前講座 4回	教育委員会 会議室等	小・中学生 534名 (うち出前講座 325名)	ものづくりなどを通しての体験活動の機会を提供する。併せて、地域ぐるみで子どもの育成をしていくために子ども活動を支援する人材を育成・活用する。
千歳市・指宿市 青少年相互交流事業	7月30日～ 8月2日 12月24日～ 12月27日	千歳市⇄ 鹿児島県指宿市	小学校6年生 16名	未来ある子供達の交流を通して姉妹都市の友好関係が発展するよう相互交流を行う。
子ども活動支援 センター	通年	教育委員会 生涯学習課内	ボランティア 登録者5名	青少年の奉仕活動・体験活動の機会充実を図るため、情報提供やコーディネートを行い青少年活動の推進を図る。
市民教養セミナー	5月～3月 年7回	市民文化センター等	市民 1, 269名	社会の急激な変化に対応した市民の学習ニーズに応えるとともに学習機会を提供する。
パソコン講習会	5月～3月 年43講座	市民ギャラリー IT講習室	市民 442名	情報化に積極的に対応していけるようパソコンの操作技術の習得機会の提供を、市民団体との協働により実施する。

事業名	開催月日	会 場	対 象	趣 旨
千歳学出前講座	491件	公共施設等	市民等 5名以上の団体 17, 165名	市民と市民の学びあいによる学習機会の充実や交流の活性化を図るとともに、市民と行政が情報の共有をもとに、協働して生涯学習によるまちづくりを推進する。
千歳市若返り学園	5月～3月	市民文化センター等	60歳以上の 市民 400名	明るく健やかに豊かで生きがいのある生涯を送るために必要な学習機会を提供する。
千歳高星大学	4月～12月 (2年制)	市民文化センター等	概ね60歳以上の市民 47名	豊かで生きがいのある人生を創造できるよう組織的な学習機会を提供する。
英語暗唱コンテスト	10月30日	総合福祉センター	中学生以上 37名	一番身近な外国語である英語を通じて、国際理解と国際感覚の涵養を図り、国際性豊かな人材を育成する。
英会話教室	2月～3月	総合福祉センター	18歳以上 25名	合唱を通じて技術の向上と文化活動の振興を図ると共に、市民へ芸術鑑賞機会を提供する。
フレンドリーコンサート 千歳合唱祭	7月31日	市民文化センター	市内合唱団体 10団体225名	
千歳市民文化表彰	11月4日	ホテルグランテラス 千歳	2個人、2団体	市の文化の向上・振興を図るために、顕著な功績があった個人・団体等を表彰する。
はたちのつどい	1月9日	市民文化センター	新成人 618名	新成人の門出を祝い、社会人としての自覚と社会との関わりや果たすべき役割の認識を高めてもらう契機とする。
社会教育関係団体・ 人材バンク登録 及び情報提供事業	通年		市民 403登録団体	市民の自主的な学習活動や社会参加活動を支援するために活動団体や指導者を登録し情報提供する。
放課後子ども教室 推進事業	6月～3月 毎週水曜日 年40回	北栄小学校	北栄小学校 在籍登録児童 152名	放課後子どもたちの安全で安心した活動場所を確保し、地域住民による支援のもと、学習やスポーツ・文化活動の実施、また、学年や世代を超えた交流の機会を提供する。

〔5〕文化財

1 施設概要

千歳市埋蔵文化財センター

所在地 千歳市長都 42 番地の 1

面積 1,750 m²

開館 平成 22 年 4 月 1 日

主要施設 常設展示室、企画展示室、レクチャールーム、体験学習室

常設展示の見学 月曜～金曜日（祝日及び 12 月 29 日から 1 月 3 日を除く）及び毎月第 2 日曜日の午前 9 時から午後 5 時まで、無料



千歳市埋蔵文化財センター

2 沿革

先人が時代とともに築いてきた文化は、現代の私たちの生活の基礎となっています。千歳には豊かな自然とともに数多くの文化財が残され、時を超えたメッセージを伝えてくれます。遺跡は主に千歳川やその支流、長都川、ユカンボシ川流域などで発見され、平成 24 年 4 月までに 284 遺跡にのぼり、国指定史跡 2 カ所、重要文化財 3 件、市指定史跡 1 カ所、有形文化財 3 件があります。

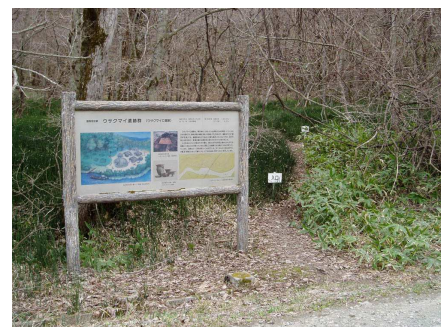
埋蔵文化財以外では、近世から現代までの歴史、文化を伝える市指定有形文化財 3 件、無形文化財 1 件と、アイヌの人々が伝承してきた無形文化財 1 件が指定されています。また、アイヌの古式舞踊は、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。

千歳市埋蔵文化財センターは、文化財の保護と活用の拠点施設として、平成 22 年 4 月、旧長都小中学校を利用して開館しました。遺跡からの出土品が市民に公開されています。

3 国指定史跡

（1）ウサクマイ遺跡群 千歳市蘭越（昭和 54 年 5 月 23 日指定）管理団体：千歳市

市街地から約 5km、支笏湖に向かう途中に、名水百選に選ばれた湧水を源とする内別川が流れています。全長わずか 2.5km の小さな川ですが、約 7,000 年前の縄文時代早期からこの川を中心に人々が暮らし始めました。以後、続縄文、擦文、アイヌ文化期から近代に至るまで、川辺には先人たちの足跡が数多く残され、現在は川の両岸に残る 21 カ所の遺跡を中心に 146ha に及ぶ広大な範囲が史跡として保護されています。



ウサクマイ C 遺跡見学コース入口

しゅうていぼぐん
(2) キウス周堤墓群 千歳市中央(昭和54年10月23日指定) 管理団体：千歳市

中央地区には、約3,000年前の縄文時代後期に造られたお墓を見ることができます。地面を丸く掘り、掘った土を周囲に土手状に積み上げ、内側を墓地にしています。周囲に堤があることから「周堤墓」と呼ばれ、全部で8基あります。一番大きなものは土手の直径が75mに及び、仮に1人が1日1×1×1mの穴を掘ったとして、25人でおよそ4カ月かかることになります。

指定面積は約5万㎡、地表面から確認できる日本一大きな縄文時代のお墓です。



キウス周堤墓群

4 国指定重要文化財

どうぶつがた どせいひん
(1) 動物形土製品 昭和51年美々4遺跡出土 市所有(昭和54年6月6日指定)

頭、首、胴そして指の刻まれた手足を持ち、カメ・水鳥・ムササビ・アザラシなどにも見える不思議な姿をしています。全長31.5cm、最大幅16.2cm、最大厚9.8cm、中は空洞で全身に美しい模様が描かれています。約2,500年前の縄文時代晩期に作られたもので、埋蔵文化財センターに複製品を展示しています。

どせい かめん
(2) 土製仮面 昭和61年ママチ遺跡出土 国所有(昭和63年6月6日指定)

ママチ川のほとりで発掘した約2,300年前の縄文時代晩期のお墓から発見されました。縦横18cmで、ちょうど、お祭りの露店で売っているお面と同じくらいの大きさであり、口と目の部分がくり抜かれ、静かな死の表情を表しています。当時、この土面は墓標に付けられていたと考えられています。実物は江別市の北海道立埋蔵文化財センターに展示されており、複製品を埋蔵文化財センターに展示しています。



動物形土製品



土製仮面

(3) 北海道美々8 遺跡出土品 千歳市美々(平成 17 年 6 月 9 日指定)

新千歳空港の滑走路建設工事の際に、美沢川左岸の美々8 遺跡(低湿部)の発掘調査によって見つかった、アイヌ文化の木製品を中心とする 1,164 点の出土品です。出土品は北海道立埋蔵文化財センターに保管され、一部が展示されています。

5 国指定重要無形民俗文化財

(1) アイヌ古式舞踊 千歳アイヌ文化伝承保存会(平成 6 年 12 月 21 日構成団体に指定)

アイヌとはアイヌ語で「人間」という意味を持つ言葉です。アイヌの人々は、豊かで厳しい大自然の中で独自の生活を営んでいました。自然から学びとった知恵や工夫、習慣や信仰は親から子へと大切に伝えられ、その一つに「舞踊」があります。千歳地方で伝承されている「ホリッパ」「ハラルキ」「ヤイサマ」などの歌と踊りの中には、素朴な形のものや他の地方には見られない千歳独自のものも残されています。



6 市指定文化財

かまかじんじゃべんざいてん み ず し

(1) 千歳神社境内釜加神社弁財天御厨子 有形文化財 千歳神社所有

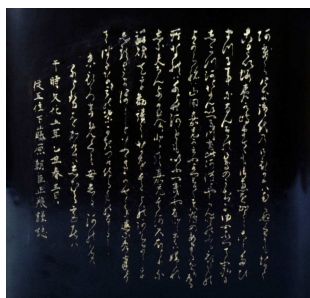
(昭和 46 年 9 月 16 日指定)

かつて千歳一帯はアイヌ語で「大きくぼみ」という意味の「シコツ」と呼ばれていました。文化2(1805)年、シコツ場所担当の箱館奉行調役並 山田鯉兵衛嘉充(やまだりへえよしみつ)が箱館奉行の羽太正頼(はぶとまさやす)に新しい地名を付けたいと願い出たところ、当時シコツにたくさんいた鶴にちなみ、「鶴は千年」の「千年」をとって「千歳」と改名されました。その由来が弁財天を収めていた厨子の後ろに記されています。

埋蔵文化財センターに複製品を展示しています。



釜加の厨子(表)



厨子背面に書かれた由来文

(2) ^{わらびてとう}蕨手刀 有形文化財 市所有(昭和 55 年 7 月 21 日指定)

昭和38年、蘭越の内別川右岸のウサクマイ A 遺跡付近から見つかった二振りの鉄製の刀。

柄の部分の形が春の山菜のワラビに似ていることから「蕨手刀」と呼ばれています。

この種の刀は、1,300年ほど前の東北地方の遺跡から多く発見されており、古代の北海道と東北の交流を示す大切な資料となっています。一振りは鞘が残っている大変珍しい例で、埋蔵文化財センターに展示しています。



蕨手刀

(3) 美々貝塚 史跡 千歳市美々758 番地 市所有(昭和 52 年 4 月 23 日指定)

およそ1万2千年前、粘土を焼いて作った器「縄文土器」が作られるようになりました。当時は、やや寒冷な気候でしたが、その後、次第に温暖化が進み、氷河の溶けた水が海に流れ込むことで海水面が高くなりました。

その結果、海岸線は平野の奥まで入り、千歳では美々駅のあたりまでが海でした。それは、現在の苫小牧の海岸から17kmも内陸になります。

暖かな気候は山々を豊かな狩りの場に変え、海辺には多くの入江ができて良い漁場となりました。

美々では約6,000年前の縄文時代前期の人々がシジミを採集・調理し、貝殻を直径4m、高さ1.2mも積み上げた貝塚を残しています。昭和51年より公開展示しています。



美々貝塚

(4) 磨製石棒 有形文化財 市所有(昭和 52 年 4 月 23 日指定)

キウス周堤墓群のひとつのお墓から見つかった石の棒。

長さ57cm、重さ710gで、全体が丁寧に磨かれ、両端には繊細な線によって模様が彫られています。黒い色調は重量感にあふれ、美術的にもたいへん優れています。

約3,000年前の縄文時代後期に作られたもので、現在は埋蔵文化財センターに展示しています。



磨製石棒

(5) 男性土偶 ^{どぐう} 有形文化財 市所有(昭和 52 年 4 月 23 日指定)

蘭越の内別川付近で見つかった板状の人形(=土偶)で、眉や鼻などの顔の表現がママチの土製仮面とよく似ています。縄文時代の土偶は、ほとんどが女性をモデルにしているので、男性と、はっきりわかるものとしては、全国でも大変、珍しいものです。

全長 14.5cm、厚さ 0.9cm、縄文時代晩期に作られたと考えられており、現在は埋蔵文化財センターに展示しています。



男性土偶

(6) 駅通看板 ^{えきていかんばん} 有形文化財 個人所有(昭和 52 年 4 月 23 日指定)

明治5(1872)年、北海道開拓使は、函館と札幌の間に郵便事業を始め、毎月6回ずつ郵便物を運んでいました。

当時、千歳で郵便局(郵便取扱所)となったのが、新保旅館であり、当時を伝える縦120cm、横94cmの看板が大切に保存されています。



駅通看板

(7) 泉郷獅子舞 ^{いずみさと} 無形文化財 泉郷獅子舞保存会(昭和 54 年 10 月 25 日指定)

市街地から北東へ車で15分ほど行くと、古くから獅子舞が伝えられている泉郷の農村地帯があります。

原野だった泉郷は、明治20(1887)年に開拓が始まりますが、獅子舞は富山県から入植した人々が同29年頃に伝えたと言われています。富山の古い舞と千歳で生まれた新しい舞は、毎年9月に泉郷神社に奉納されますが、その勇壮さは、今も人々の心をかきたてています。



泉郷獅子舞

(8) アイヌの伝統的芸能と工芸技術 無形文化財 千歳アイヌ文化伝承保存会

(平成 5 年 5 月 20 日指定)

千歳地方のアイヌの人々によって古くから伝承されてきた古式舞踊、ユカ_ラやウ_エペケレの語りなどの伝統的芸能、イナウ作り・イカルカル（刺しゅう）・チタル_ペ（ゴザ編み）などの工芸技術の伝承保存活動が行われています。

千歳アイヌ文化伝承保存会を中心に行われている伝承保存活動の主な内容

歌と踊り：ホリッパ（輪踊り）・ハラ_ルキ（鶴の舞）・ヤイサマ（即興の歌）・ウポポ（座り歌）

語　　り：ユカ_ラ（神謡・口承の英雄・神話伝説）・ウ_エペケレ（昔話）

祭　　祀：カムイノミ（神様を迎える儀式）・イチャル_パ（先祖の慰霊祭）

工芸技術：イナウ_ケ（イナウ作り）イクパシイ_{作り}などの男に伝わる技術
チタル_ペ（ゴザ）・刺繍やマタン_{プシ}（鉢巻）作りなど女に伝わる技術

料　　理：シト（団子）・シケ_レペ（キハダの実の料理）など



模様入りのチタル_ペ・刺繍が施された着物とマタン_{プシ}



アシリチェップノミにつくられたヌサ（祭壇）

やませんてつきょう

(9) 山線鉄橋 有形文化財 市所有(平成 11 年 8 月 24 日指定)

北海道内で現在使用されているものとしては最古の鋼橋（イギリス型ピン結合トラス橋）であり、明治32（1899）年にイギリスから輸入され、北海道官設鉄道上川線の砂川・妹背牛間に「第一空知橋」として架けられました。大正12（1923）年に、支笏湖の王子製紙苫小牧工場専用鉄道（軽便鉄道「山線」）の橋「湖畔橋」として移設され、昭和26（1951）年の山線廃止後は道路橋として利用されていました。

平成7年から9年に大規模な改修工事を行い、近代建築遺産として恒久的な保存が図られました。現在は「山線鉄橋」の名で歩道橋として利用され、支笏湖の新たなシンボルになっています。

山線鉄橋



遺跡と埋蔵文化財の年表

時代区分		主な埋蔵文化財
本州	北海道	
近代	開拓	末広遺跡 (410 年前) フレディヒのチャシ ペサのチャシ シュトクンネヒのチャシ アッテウシのチャシ
江戸	アイヌ	
織豊		
室町		
鎌倉		
平安	擦文	(800 年前)
奈良	続縄文	千歳神社遺跡 末広遺跡 祝梅三角山D遺跡 祝梅竪穴遺跡
古墳		蔵手刀 (1,300 年前)
弥生		ふ化場 1 遺跡 ママチ高台遺跡
縄文時代		晩期
	後期	キウス周堤墓群、石棒
	中期	丸子山遺跡環壕 イヨマイ 6 遺跡
	前期	美々貝塚
	早期	
旧石器時代		(10,000 年前) メボシ川 2 遺跡 祝梅上層遺跡 (20,000 年前) 柏台 1 遺跡 祝梅三角山下層遺跡 丸子山遺跡

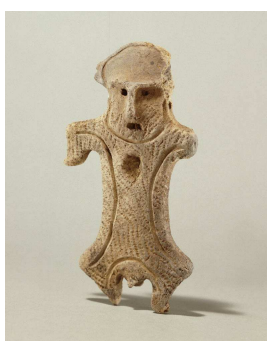
末広遺跡



擦文時代の竪穴式住居跡が 102 軒も発見された、道内でも屈指の遺跡です。

近世アイヌ期、縄文後期の資料も数多く出土しています。

男性土偶



国指定史跡のウサクマイ遺跡群（蘭越）がある内別川近くで見つかった板状の男性土偶です。眉や鼻など、顔の表現が土製仮面とよく似ています。縄文時代の土偶は、ほとんどが女性をモデルにしているので、はっきり男性と分かるのは、全国的にもたいへん珍しい例です。



美笛の熊送り場

支笏湖をつつむ豊かな森林地帯の岩陰に、キムンカムイ（山の神＝ヒグマ）の頭骨が祭られていました。大自然の中で営まれてきたアイヌ文化の精神的な豊かさを示す祭場の一つです。



キウス周堤墓群

縄文時代後期末（3,000 年前）の集団墓地で、7 基がまとまっています。最大のものは外径 75m、内径 34m、土手の高さが 5.4m もあり、今も地表面で確認できるお墓としては日本最大です。国の指定史跡です。



磨製石棒

キウス周堤墓群で発見されました。長さは 57cm あります。両頭に刻みがつけられ、丹念に研磨された美しい石棒です。まじないやお祈りなどの道具ではないかと考えられています。



祝梅下層遺跡

美沢川流域遺跡群

周堤墓群のほか、集落跡や貝塚、動物形土製品など、数多くの遺構と遺物が発見された遺跡群です。



ママチ川丸木舟遺跡

市内朝日町の地下 2m で発見された丸木舟です。長さ 7.3m、幅 50cm で堆積した地層から 18 世紀以前のものとわかります。



〔6〕社会教育施設

1 千歳市立図書館

(1) 施設の概要

所在地	千歳市真町2196番地の1	電話0123-26-2131
開設	昭和63年2月1日	
建築構造	鉄筋コンクリート及び鉄筋鉄骨コンクリート造併用構造	地上2階地下1階
敷地面積	13,062.08㎡	
建築面積	2,233.87㎡	
延床面積	1階 2,130.25㎡	
	2階 380.14㎡	
	地階 305.19㎡	
	合計 2,815.58㎡	



(2) 沿革

昭和25年6月に札幌C I E（札幌民間情報教育局）図書館千歳分館として図書2,100冊の寄贈を受け発足しました。29年、千歳公民館の開館に伴い、公民館の一室に図書室として移り、37年には千歳市民会館内に移転し、名称も公民館図書室となりました。その後、46年には、千歳公民館が新築開館したことに併せて、市民図書室と改称されました。

49年に市立図書館建設運動準備会が開催され、これを機に市内各団体、個人から数多くの図書が寄贈されたことから、図書室はめざましく充実し、その結果、51年4月に待望の市立図書館が誕生することになりました。53年から図書館分室を3カ所設置（平成6年度閉室）しましたが、その後、図書室の利用者数、蔵書の増加によって狭くなり、現在の場所に新築することが決定しました。60年度基本設計・実施設計を経て、61年7月に工事着工、62年11月竣工し、63年2月に開館し、平成6年4月には待望の移動図書館車「ブックくん」が運行を開始しました。同21年4月からは、2代目の「ブックくん」が運行しています。

インターネットの普及により、13年1月に図書館ホームページを開設しました。16年4月に開設した千歳駅市民サービスセンターにおいて図書の取次ぎを開始し、翌17年2月には3支所においても図書の取次ぎを、同年4月からはインターネットによる図書の予約受付を開始しました。また、子どもの読書環境の整備・充実に向けて17年11月に「千歳市子どもの読書活動推進計画」を策定しました。

19年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や運営の効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は、株式会社山三ふじやです。20年5月に千歳市出身の作家「畔柳二美」の資料常設展示コーナーを、22年7月に郷土史家「長見義三」の資料常設展示コーナーを開設しました。

(3) 運営方針

- ・市民の声を大切にし、市民と協働して創る図書館
- ・市民の求める資料、情報に応えることができる図書館
- ・市民生活や地域の要求課題に役立つ図書館
- ・温かさとやすらぎが感じられる図書館
- ・子どもへのサービスを重視する図書館
- ・高齢者、障がい者へのサービスを重視する図書館
- ・市内のどこに住んでも、だれにでも利用しやすい図書館

(4) 事業実績(23年度)

事業名	開催月日	入場者(参加者)数
上映会	4月～3月 (24回)	306人
古典文学読書会	4月～3月 (24回)	243人
乳幼児読書普及事業	4月～3月 (12回)	717人
おはなし会 (5団体)	4月～3月 (89回)	1,661人
市民読書グループ支援	毎週火曜日 (39回)	150人
童話創作講座	6月～12月 (6回)	103人
子育て総合支援センター読み聞かせ	4月～3月 (16回)	515人
手作り絵本教室	7月～8月 (5回)	92人
こどもの読書週間記念事業	4月24日	103人
こども読書推進事業	8月6日、12月25日	32人
千歳市民文芸合評会	8月2日	17人
ふるさとポケット協賛事業 (2事業)	9月25日	597人
読書スタンプラリー	7月～11月	101人
読書週間記念事業	10月29日	32人
図書館まつり	2月5日	78人

(5) 利用案内

ア AV コーナーは、LD や DVD・CD を主体とし、音と画像、映像による資料を個人で視聴できます。収容人員は19ブース・25名で、ソフト数は全部で11,072タイトルを所蔵しています。

イ AV 室は、図書館の行う比較的多人数の主催行事（講演会、映画会、おはなし会等）を行う部屋で、収容人員は約100名。

ウ 一般閲覧室は、参考図書コーナー、閲覧席、軽読書席、書架を配置し、12万冊を収蔵しています。

エ 児童閲覧室は、ヤングアダルトコーナー（小学校高学年、中学生向）、閲覧席、軽読書席、書架、おはなしコーナー（読み聞かせ、紙芝居等）があり、4万冊を収蔵しています。

オ 新聞・雑誌コーナーは、軽読書のコーナーで新聞、雑誌、パンフレット等を設置。

カ 閉架書庫は10万冊を収蔵しており、書架はスチール製移動書架を設置しています。

キ 会議室は、読書会等の主催事業、来客応接室に設置され、収容人員は約60名。

(6) 図書状況

23年度	開館日数	貸出人数	一日平均 貸出人員	貸出冊数	一日平均 貸出冊数	登録者数	市民一人当 り貸出冊数
	337	129,575	384	716,772	2,127	2,059	7.69

(7) 蔵書冊数

23年度	分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業技術	合計
	冊数	6,676	7,845	20,096	30,961	18,736	17,911	290,427
	分類	産業	芸術	語学	文学	AV資料	その他	
	冊数	7,193	19,510	4,141	108,078	11,237	38,043	

(8) 分類別貸出冊数

23年度	分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業技術	合計
	冊数	6,324	23,889	31,432	40,842	36,188	91,371	716,772
	分類	産業	芸術	語学	文学	AV資料	その他	
	冊数	18,164	47,646	7,364	244,337	7,463	161,752	

2 千歳市立千歳公民館

(1) 施設の概要

所在地	千歳市真町 176 番地の 3	電話 0123-23-2740
開設	昭和 46 年 4 月 10 日	
建築構造	鉄筋コンクリート造	地上 2 階
敷地面積	2,930.50 m ²	
建築面積	750.44 m ²	
延床面積	1,573.88 m ²	
会議室	5 室	23.46 m ² ～68.40 m ²
和室	1 室	44.40 m ²
講習室	1 室	54.00 m ²
大集会室	1 室	526.93 m ²



分 館

分 館 名	延面積	開館年月日	備 考
泉郷分館	353.16 m ²	昭和 24.04.10	S54 増築
協和分館	108.54 m ²	昭和 24.10.01	S48 改築
長都分館	358.02 m ²	昭和 25.05.10	S59 増築
新川分館	215.30 m ²	昭和 28.08.18	H16 新川連合会館新築
中央分館	609.87 m ²	昭和 30.11.01	H11 コミセン併設
幌加分館	124.21 m ²	昭和 36.11.01	S56 改築
根志越分館	223.56 m ²	昭和 37.09.24	S55 改築
東丘分館	149.85 m ²	昭和 37.11.01	S57 改築
釜加分館	608.68 m ²	昭和 38.03.01	H9 コミセン併設
駒里分館	268.92 m ²	昭和 43.10.01	S63 増築
長都開拓分館	169.29 m ²	平成 07.04.01	

(2) 沿 革

昭和22年に千歳小学校の一部を借り新設し、29年には東雲町に独立した公民館を開設しました。

37年には、市民会館の落成に伴い、市民会館内に公民館が併設され、農村地区に設置されていた各公民館は分館と改称されました。その後、46年4月に現在地に新築開館し、現在に至っています。平成20年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は公益社団法人千歳市シルバー人材センターです。

(3) 運営方針

ア 生きがいのある豊かな生活を送るための学習機会の充実

- ・生きがいを持って強く生きるための学習活動の促進
- ・多様な生活課題に対応し人生経験を生かした実践的な学習機会の充実

イ 豊かな経験や学習の成果を生かした社会参加の促進

- ・高齢者の活力を地域社会に生かすボランティア活動の促進
- ・地域での世代間交流と生活文化の伝承活動の促進

ウ 学ぶ意欲を高め社会参加を促進する学習環境の整備

- ・高齢者の学習活動と社会参加を支援するコーディネート機能の整備
- ・地域での主体的な学習活動の奨励と支援体制の充実

(4) 公民館教室開講状況(平成 23 年度)

	昼間教室		夜教室	
	教室名	人員(名)	教室名	人員(名)
千歳公民館	太極拳	35	フラメンゴ	14
	実践英会話	20	アトマナンダ・ヨガ入門	39
	フォークダンス	12	フラダンス	18
	パソコン基礎講座	17	英会話中級	12
	やさしい英会話	20	英会話初級	20
	パソコン応用	16	きもの着付	11
	アトマナンダ・ヨガ入門	42	タップ	11
	囲碁	17	パソコン入門	17
	リンパセラピー	20	茶道(後期10月～2月)	4
	パソコン入門	18		
	茶道(前期5月～9月)	13		
	三味線初級	10		
	三味線中級	11		
文化センター	ハワイアンダンス	31	ストレッチ体操	27
	ふっくらパン	24	社交ダンス	44
	男性の料理	9	気功	31
	3B体操	28	体質改善エアロ	33
	さわやか健康体操	32		
	やさしい基本ストレッチ体操	36		
	陶芸	10		
千歳市民 ギャラリー	粘土工芸	13	書道	21
	書道	24		
	絵画	18		
	絵手紙	29		
昼間教室 合計		505	夜間教室 合計	302
総計38教室 807名				

(5) 公民館利用状況(平成 23 年度)

公 民 館			分館 (11 分館の合計)		
	利用件数	利用者数		利用件数	利用者数
青少年	1	15	青少年	44	1,164
社会学級	1	41	社会学級	136	2,100
婦人学級			婦人学級	3	23
文化関係	1,109	13,189	文化関係	298	6,828
スポーツ	216	3,348	スポーツ	1	3
集会・会議	57	1,801	集会・会議	195	2,653
その他一般	92	13,233	その他一般	64	931
計	1,476	31,627	計	741	13,702

3 千歳市民文化センター

(1) 施設の概要

所在地 千歳市北栄2丁目2番11号 電話0123-26-1151

開設 昭和59年4月1日

建築構造 鉄骨鉄筋コンクリート造地上4階地下2階

敷地面積 16,654.27㎡

建築面積 6,870.10㎡

面積 13,015.68㎡



(内訳)

地階1 74.84㎡ (電気、機械室)

地階2 1,274.20㎡ (電気、機械室)

1階 4,260.84㎡ (リハサル室、プラネタリウム、控室)

2階 2,973.62㎡ (中ホール、調理教室、美術工芸室、陶芸教室、和室、多目的室)

3階 2,763.00㎡ (大ホール、視聴覚室、中会議室)

4階 1,396.26㎡ (大会議室、展示ホール、小会議室)

塔屋 272.92㎡ (電気、機械室)

(2) 沿革

昭和54年千歳市開基百年記念事業の一環として、文化活動、芸術・文化の鑑賞そして生涯を通じた学習活動の拠点となる施設の建設が計画され、55年度に実施設計開始、56年6月に着工し、3か年工事で58年12月1日竣工、59年4月21日に全館供用開始しました。

平成10年1月から3月にかけて、大・中ホールの音響、照明の改修整備を行っています。

平成17年4月から1年間休館してリニューアルを行い、18年4月7日より全館供用を再開しました。

施設は、大ホール（客席1,275）、中ホール（客席412）、会議室、視聴覚室、調理教室等研修室、プラネタリウム投影室などを備え、開館以来、公演事業、興行、講演会、各種大会のほかサークル活動に広く活用されています。

19年4月からは、民間業者による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費の削減や運営の効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者はセントラルリーシングシステム株式会社です。

(3) 運営方針

市民の主体的な学習活動を助長し、創造的な芸術文化活動を奨励するため施設のもつ教育的機能を十分発揮するとともに、市民が気軽に利用できる施設として、サービス向上に努めています。

(4) 主催・主管事業(23年度)

プラネタリウム事業(1事業)

事業名	開催月日	入場者数	内 容
プラネタリウムコンサート 星の音楽会	11月6日	55人	北陽高校佐藤先生の「星のお話」とリコーダー奏者江崎浩司とキーボード奏者矢崎有香を迎えての演奏会の2部構成で実施

自主文化事業（25 事業）

事業名	開催日	入場者数	内 容
千歳学生寄席	6月26日	90	北海道大学落語研究会4名による寄席を実施
米村でんじろう おもしろサイエンスショー	7月2日	975	サイエンスプロデューサーとして活躍中の米村でんじろうのサイエンスショーを実施
PMFアンサンブル演奏会	7月16日	146	国際教育音楽祭（PMF）のアカデミー生による演奏会を開催
はいだしょうこ・中西圭三 ファミリーコンサート	7月23日	911	毎年恒例の「中西圭三コンサート」にNHKうたのおねえさんを務めた はいだしょうこを迎え、親子ともに楽しめるコンサートを実施
日本映画inちとせ2011	8月7日	150	往年の日本映画を低価格で提供・上映
子ども劇場 人形劇 「今夜は食べほうだい」	8月20日	98	人形劇団「えりっこ」による人形劇を上演
演劇「表現あそびとお芝居」	9月11日	60	劇団「風の子」による演劇を幼児から小学校低年向けに上演
クラシックコンサートin千歳	9月18日	213	千歳市出身の長谷川加奈氏他2人によるヴァイオリンとピアノによるコンサートを開催
第2回フォトネットソルト写真展	11月8日～ 11月20日	378	千歳在住のアマチュア写真家たちによる写真展を開催
ロビーコンサート	12月18日	50	市内音楽教室「千歳ミュージケット」の生徒によるコンサート
YUIコンサート	1月7日	1,197	テレビ・ラジオ等で活躍中のシンガーソングライターYUIのコンサートを開催
札幌コンサートinちとせ	3月25日	638	指揮者に円光寺雅彦を迎え、ドヴォルザーク作曲「新世界」等よく知られるクラシック曲の演奏会を開催

※この外 13事業

文化交流事業（6 事業）

事業名	開催日	入場者数	内 容
文化祭2011	7月2日 ～3日	659	9種のカルチャー教室を中心に学生落語やロビーコンサート等を開催
スープカレー料理教室	12月10日	33	有名スープカレー店「札幌らっきょ」の店主によるスープカレー教室を実施
オーケストラ体験教室	1月14日	14	オーケストラのリハーサルを市民に公開し、楽器の説明などオーケストラを身近に体験
ニューイヤーコンサート	1月14日	454	毎年クリスマスに行う千歳フィルハーモニーオーケストラによるコンサートを、時期を変更して開催
プラネタリウム体験教室	1月15日	28	プラネタリウムの操作体験と「プレセウス座流星群」の解説を実施
お菓子教室	2月5日	28	「あまい碧ぞら」の店主による初心者向けのパウンドケーキ教室を開催

(5) 利用案内

ア 大ホール舞台は、間口18m、高さ9m、奥行15.5mで、特に音響装置機能の充実を図り、走行式反射板（電動）を採用するなど全国有数の音響機能を有しています。

昭和60年4月には、札幌交響楽団により黒沢明監督「乱」の音楽収録が行われました。

イ 中ホール舞台は、間口11m、高さ5.5m、奥行10mで、音響反射板を設置しています。

ウ プラネタリウムは、ドーム直径11.3m、座席数は120席。

エ 視聴覚室は、ビデオプロジェクター・音響装置を備えており75名程度の研修が可能。

オ 大会議室は、音響装置を備えており移動ステージを組むことにより約200席の小ホールとしても使用できます。

カ 美術工芸教室には、イーゼル・石膏像・人台などが用意されており、利用人数は約30人となっています。

キ 陶芸教室は、土練機、電動ロクロ等の機器を備え、約20人用の作業室と作品の乾燥室、別室には都市ガス焚きの窯を設置しており、一連の作業が行えます。

(6) 利用状況(23年度)

施設区分		大ホール等	中ホール等	会議室等	プラネタリウム	合計
利用件数		945	267	2,899	127	4,238
利用 件 数 の 内 訳	式典	32	3	30		65
	講演・集会	124	51	392		567
	会議・研修等	100	30	1,372		1,502
	邦楽・邦舞	75	34	161	0	270
	洋楽・洋舞	571	122	397	1	1,091
	演劇	20	13	6	0	39
	映画	0	7	6	0	13
	公民館教室	0	0	309		309
	プラネタリウム				126	126
	展示・その他	23	7	226	0	256
利用人数		75,813	24,661	74,110	2,204	176,788

4 千歳市民ギャラリー

(1) 施設の概要

所在地 千歳市千代田町5丁目7番地の1 電話0123-42-5214
 開設 平成7年4月15日
 建築構造 鉄骨鉄筋コンクリート造地上4階地下1階
 敷地面積 746㎡
 建築面積 587㎡
 延床面積 2,418㎡

(内訳)

地階 1 83㎡ (空調・給排水・ボイラー室)
 1階 573㎡ (展示ホール1 : 260㎡等)
 2階 530㎡ (展示ホール2 : 261㎡等)
 3階 594㎡ (研修室1 : 67㎡、研修室2 : 85㎡、
 研修室3 : 180㎡、事務室等)
 4階 594㎡ (市民活動交流センター「ミナクル」、女性団体協議会、文化団体連絡協議会)
 塔屋 44㎡ (エレベーター機械室)



(2) 沿革

平成7年4月、千歳市4期総合計画「人間性と個性を培う『教育文化都市・ちとせ』」の一環として、市民が感性や情操を高め、心豊かで潤いのある地域文化の創造を目指して、創作活動や鑑賞等と芸術文化活動に積極的に参加できる機会の拡充と、発表活動等に対して支援の充実を図るため開館しました。

19年4月からは、民間業者による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や運営の効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者はセントラルリーシングシステム株式会社です。

(3) 運営方針

市民文化センターを補完する施設として、市民の芸術文化の拠点となるよう、美術工芸等の創造活動や発表・鑑賞機会の充実に努めています。

(4) 自主文化事業(23年度) 8事業

事業名	開催月日	入場者数
春のガーデニング教室	4月24日	28
ボールペン画の世界	7月21日～7月31日	382
手作りクリスマスリース教室	11月26日	11
手作りしめ縄教室	12月17日	25
北海道現代具象展	1月17日～1月22日	411
国際身障者絵画展	2月15日～2月26日	437
第16回千歳北陽高等学校校外展	3月17日～3月20日	259
収蔵作品展	3月23日～3月29日	186

(5) 利用案内

ア 展示ホールは、1階260㎡、2階261㎡の2室があり、市内初の本格的ギャラリーとして美術・書道関係の展示が行われています。

イ 研修室は、67㎡、85㎡、180㎡の3室があり、イーゼル・石膏像・人台などを備えています。

(6) 利用状況（23年度）

施設区分		展示ホール	研修室等	合計
利用件数		263	503	766
利用 件数 の内 訳	研修・講習	38	345	383
	展示	205	2	207
	公民館教室	10	151	161
	その他	10	5	15
利用人数		17,327	5,731	23,058

5 千歳市民活動交流センター「ミナクール」

(1) 施設の概要

所在地 千歳市千代田町5丁目7番地の1
千歳市民ギャラリー4階
電話0123-24-0847

開設 平成18年8月1日

施設設備 打合せコーナー、交流スペース、談話室兼児童室、作業コーナー、
情報コーナー、掲示コーナー、図書コーナー、展示コーナー、相談窓口

利用時間 9:00～21:00（休館日：毎週月曜日、毎月最終金曜日、年末年始）

(2) 沿革

豊かな市民生活や活力ある地域社会を実現するため、自主的な市民活動や交流を積極的に推進することを目的に設置されました。

(3) 利用案内

対象：市民活動をしている団体や個人
使用料：無料（印刷機等一部有料）

(4) 所管課

教育委員会教育部生涯学習課



千歳市民活動交流センター
ミナクール

(5) 利用状況(平成23年度)

(単位：人)

総利用者数	利用室別							
	打合せコーナー	交流スペース	談話室兼児童室	図書コーナー	作業コーナー	情報コーナー	展示コーナー	見学相談
11,878	5,458	1,877	1,055	10	2,092	646	282	458

6 千歳市青少年会館

(1) 施設の概要

所在地 千歳市東雲町1丁目10番地 電話 0123-23-1945
 開設 昭和44年12月1日
 建築構造 鉄骨造一部2階建
 敷地面積 704.60 m²
 延床面積 498.96 m²

(内訳)

体育場 235.44m²
 研修室(1) 38.43m²
 研修室(2) 49.41m²
 和室 11.07m²
 事務室 27.45m²



千歳市青少年会館

(2) 沿革

昭和44年12月、北海道百年記念地域事業として青少年が同じ世代の仲間とともに、自らが求めるスポーツや自由な活動を通じて、連帯性、協調性、責任感などを養い、青少年の心身の健全な発達及び地域青少年活動の振興を図ることを目的に建設されました。

平成9年6月には、学校適応指導教室「おあしす」が会館内に開設され、不登校児童生徒に対し、教育相談や集団活動における生活習慣や学習等について指導・援助を行うことに利用されています。

平成17年4月からは、民間業者による経営のノウハウを活用し、サービスの向上、経費の削減や施設管理の効率化を目的に指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は株式会社クリーン開発です。

(3) 利用案内

対象 児童生徒及び学生、勤労青少年
 使用料 無料

(4) 利用状況(平成23年度)

(単位：人)

総利用者数	利用者数			室別利用状況			
	勤労青少年	児童生徒	その他	体育室	集会室	研修室	その他
12,177	-	8,309	3,868	10,013	2,922	4,889	375

〔7〕公益財団法人千歳青少年教育財団

所在地 千歳市花園2丁目312番地 電話 0123-42-3001

設 立 昭和57年3月12日

※平成24年4月1日付けで財団法人から公益財団法人へ移行

1 目的

青少年の健全育成を図るために必要な事業を行うとともに、水族館施設の管理運営に関する事業を行い、もって千歳市及び北海道における社会教育の振興に寄与すること。

2 主な事業内容

- (1) 青少年及び市民のための教育講座や体験教室の開催
- (2) 青少年団体の育成、助言、研修の実施
- (3) 水族館の設置、企画展示、各種体験等の実施

3 千歳サケのふるさと館

(1)施設の概要

所 在 地 千歳市花園2丁目312番地 電話 0123-42 - 3001

開 設 平成6年9月10日

建築構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造地上3階地下1階

敷地面積 2,981.672㎡

建築面積 1,510.580㎡

(内訳)

地階 810.621㎡

1階 1,249.822㎡

2階 847.306㎡

3階 84.488㎡



(2)沿 革

千歳川を遡上する親サケを捕獲する捕魚車（以下「インディアン水車」）は、世界に例を見ないユニークな施設であり、1896年に設置されました。このインディアン水車とその周辺を整備するウォーターフロント構想の中核となる「淡水魚水族館施設」として建設されました。

サケを中心としたサケ科魚類及び北方圏淡水魚の調査、研究に基づくその生態展示、並びに生態・産業・文化等の資料展示を行い、広く水産資源や河川に関する知識の啓発・普及を目的に水族館施設として社会教育事業の振興を図ります。

(3)利用案内

支笏湖から流れ出る冷たく清澄な水をたたえた千歳川のほとりに建てられた施設は、サケと北の淡水魚の一大ミュージアムです。

館内にはいろいろな種類のサケやその仲間、イトウ、シロチョウザメなど、大型淡水魚が悠々と泳ぐ巨大水槽をはじめ、サケの生涯や生態が観賞できる大型マルチビジョンなど、様々な施設があり、サケや淡水魚の生態を楽しく学ぶことができます。また、1級河川千歳川に直接設けられた水中観察窓は世界でもまれな施設で、四季の移ろいとともに自然の川を往来するいろいろな魚を見ることができます。特に秋は、産卵のために遡上するサケの群れを見ることができ、千歳川にかかる水車橋から見えるインディアン水車によるサケの捕獲の様子とともに、千歳川独特の施設になっています。

(4)利用者数

平成23年度 102,575人

(5)入場料(平成23年度)

	個人	団体(20人以上)	障がい者	サポーター会員 (さーもんずカード)	賛助会員 法人券
大人	800円	640円	400円	1,000円	10,000円
高校生	500円	400円	250円	1,000円	
小学生・中学生	300円	200円	150円	500円	
幼児	無料	無料	無料	—	

※賛助会員法人券及びサポーター会員券(さーもんずカード)は、発行の日から1年間有効とする。

※賛助会員法人券による入館は、1回5名までとする。

(6)開館

ア 開館期間：1月2日～12月25日

(平成24年度は施設工事のため平成25年2月12日から28日まで休館)

イ 開館時間：9:00～17:00

4 主催事業・主管事業(平成23年度)

事業名	開催月日	会場	対象・参加	趣旨
アクアリウムナイトツアー(キッズナイト・ファミリーナイト)	7月27～28日 8月6～7日	千歳サケのふるさと館	小学4～中学1年生23名 幼児～小学3年生の親子6組16名	夜の水族館を主体に宿泊型の体験学習会として、水族館の裏側体験や給餌体験、自然観察会などを通して、水族館の仕事や川の生物、自然環境などについて学習した。
サタデースクール(全30回)	第2、第4土曜日	千歳サケのふるさと館	合計442名	サケや水生生物・自然環境・水族館など、各テーマに沿った体験教室、講習会を実施した。

事業名	開催月日	会場	対象・参加	趣 旨
おさかな写生会	7月25日 ～ 8月28日	千歳サケの ふるさと館	幼児～小学生 29名	ふるさと館内に展示している生き物の写生大会を実施。1作品が「全道幼児・児童画コンクール」で入賞した。また、9月23日～10月2日までの期間、作品の管内展示を実施した。
水族館の大掃除体験	12月26日	千歳サケの ふるさと館	小学生～大人 まで17名	館内の主に大型水槽の亚克力面や壁、床などの掃除や大水槽での潜水清掃(有資格者)など、水族館ならではの普段体験できない清掃作業を実施した。
ジュニア・リーダー 講習会(全4回)	4月23日 ～ 2月26日	千歳市民文化センター、 恵庭青少年研修センター	小学5年生～ 中学3年生 109名	子ども会の中心的な役割を果たすリーダーを育成し、地域の子どもの会活動の発展を図ることを目的に実施した。
シニア・リーダー 研修会	3月17日 3月18日	北海道立青年の家	シニア・リー ダー 24名	シニア・リーダーが実施する各種行事や事業について、その企画立案・運営方法などを学び、他団体も含めた様々な事業への支援活動を担える力を養うことを目的に実施した。
自然教室	8月10日 ～ 8月12日	道立森少年自然の家、 函館市漁業協同組合根崎支所、 五稜郭タワー、支笏湖休暇村	小学4～中学3 年生 42名	集団宿泊生活を通じて団体生活の規律を身に付けることを目的に、異なった学年・学校の子どもの同士の交流を図り、団体生活での規律を身につけるため実施した。
冬休みなんでも 体験教室	1月9日 ～ 1月11日	国立日高青少年自然の家、 札幌ウインタースポーツミュージアム、 円山動物園、登別マリンパークニクス	小学4～中学3 年生 44名	冬休みを有意義に過ごし集団宿泊生活を通して子ども達の自立と精神的成長を促すことを目的に、創作活動としてキャンドルづくり、体験活動としてスキー教室、ジャンプ見学、ウインタースポーツ体験、イルカのトレーナー体験を行った。
体験学習	7月3日 3月30日	千歳サケの ふるさと館	小学4年生～ 中学3年生 29名	食に関する体験と知識を高めることを目的に、ジャム作りや千歳産そば粉のクレープ作りを実施した。
販売体験学習	10月30日	千歳サケの ふるさと館	小学4年生～ 中学3年生 10名	労働への意欲やお金の大切さを学ぶことを目的に、オリジナルグッズの企画、製作を行い、館内でオリジナルストラップを販売した。
緑の村キャンプ大会	7月23、 24日 8月5～7日	青葉公園ピクニック 広場	地域子ども会 会員とその父 母及び小学4 年生～中学3 年生 130名	野外活動や宿泊生活を通して協力・助け合いの精神を養うとともに、子ども達同士の友情を深めることを目的として実施した。
ちとせの子ども クリスマスの集い	12月4日	信濃小学校	小学生 94名	シニア・リーダーつばさが中心となり、学校や学年の異なる子ども達がクリスマスの集いを通して相互の親睦を深めることを目的に実施した。
ちとせっ子雪あそび	2月5日	サーモンパーク内 イベント広場	小中学生 107名	冬期間の子ども達の健康増進と交流を図ることを目的に実施した。
ハロウィンパーティー	10月30日	千歳サケの ふるさと館	幼児～大人延 べ150名	サーモンパーク内を仮装した子ども達とパレードし、館内ではシュシュ風ミサンガやジャックランタンやキャンディレイを作ってハロウィンにちなんだ1日を過ごした。
水族館クリスマス イベント	12月23日 ～ 12月25日	千歳サケの ふるさと館	幼児～大人 延べ154名	来館者を対象に餌やり体験、大水槽に潜水したサンタダイバーとの記念撮影、クリスマス仮想パーティーなどのクリスマスイベントを実施した。
サケツアー in 余市&小樽	10月9日	余市鮎見橋ほか	大人 40名	市内旅行会社と提携し、当館学芸員が添乗員として同行して、サケに関わる箇所をまわるツアーを実施した。
新春餌やり体験	1月～2月 (15日間)	千歳サケの ふるさと館	延べ170名	水族館の楽しさを知ってもらうため、大水槽の魚たちへのエサやり体験を実施した。

VII 社会体育

体育・スポーツは、本来、市民が自分のために自主的にその適性や健康状態に応じて行い楽しむものです。

近年、余暇の増大、生活環境の中で運動不足、都市化によるコミュニケーションの欠如などにより、あらためてスポーツのもつ重要性が認識されつつあります。

本市ではこうした状況から、「スポーツ都市宣言」をスローガンに、スポーツを愛しスポーツを通じて健康でたくましい身体をつくり、豊かで明るい郷土を築くため、だれでも、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに親しめるよう、「体育施設の充実・整備」、「だれでも参加できるスポーツ行事」、「地域スポーツグループの育成援助」、「指導者の育成」等を行い、日常生活の中に体育・スポーツが定着し、これを楽しむことができるよう諸条件の整備に取り組み、さらには多様化する活動に対応した生涯スポーツの推進に努めています。

スポーツ都市宣言(昭和 45 年 6 月 29 日)

私たち千歳市民は、スポーツを愛し、スポーツを通じて健康でたくましい身体をつくり、豊かで明るい郷土を築くため、次の目標を掲げて、ここに「スポーツ都市」を宣言する。

記

- 1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう。
- 2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう。
- 3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にも、スポーツの機会をつくりましょう。
- 4 スポーツを通じて、世界の人々と手をつなぎましょう。

千歳市社会体育基本目標

「広げよう！ ふれあいの輪を」
たくましい心身を育むスポーツ、レクリエーションの推進

(社会体育具現目標)

- 1 スポーツを楽しみ進んでレクリエーションに参加する市民
- 2 自然に親しみ寒さに負けない体力づくりに励む市民
- 3 スポーツをとおして約束ごとを守る市民
- 4 スポーツをとおして友情を育むところ豊かな市民
- 5 家庭ぐるみでスポーツやレクリエーションを楽しみ明るい地域づくりのできる市民

〔1〕社会体育事業(平成 23 年度)

事業名	開催月日	会 場	対 象	趣 旨
シニア卓球教室	4月	スポーツセンター	60歳以上 初心者 216名	卓球の初歩的技術を身につけ、ラリーが続くことで楽しいと感じてもらい、教室終了後も引き続き仲間で競技を継続し、心身の健康を維持したり、また、卓球の普及拡大を図る。
トランポリン教室 (5・6年生コース)	4月～5月	スポーツセンター	小学 5・6年生 232名	トランポリンは、人間が空中に跳び上がりたいという欲求を十分に満たしてくれる運動で、トランポリンの楽しさと厳しさを習得し、健やかでたくましい心身の成長を図る。
トランポリン教室 (4年生コース)	6月～7月	スポーツセンター	小学4年生 221名	
トランポリン教室 (3年生コース)	8月～9月	スポーツセンター	小学3年生 230名	
トランポリン教室 (2年生コース)	10月	スポーツセンター	小学2年生 248名	
トランポリン教室 (1年生コース)	11月～12月	スポーツセンター	小学1年生 229名	
弓道教室	6月～7月	武道館	高校生以上 181名	弓道の基礎的な知識及び技能の概要を体得し、弓道の楽しさを理解すると共に健全な心身を養う。
ジュニア卓球教室	7月	スポーツセンター	中学生以上 187名	卓球の初歩的技術を身につけさせ、楽しさを理解させることで、教室終了後も生活の中で実践していく習慣を身につけさせる。
ちびっこわくわく教室 (4歳児)	7月～8月	スポーツセンター	4歳児 155名	団体活動を通して、幼児に体を動かせることと、スキンシップを図ることで幼児同士の結びつきを重視し、遊びに必要な運動能力を伸ばし、運動の楽しさを学ぶ
テニス教室	11～12月	スポーツセンター	社会人 228名	テニスの基礎的技術を身につけ、テニスの楽しさを理解し、テニスの普及を図る
幼児スケート教室	1月	青空公園 スケートリンク	5歳児 199名	スケートを通して、幼児の心身の発達と集団生活に必要な協調性の習得を図ると共に、冬季においてスポーツを楽しむ習慣を養う
ちびっこどきどき教室 (5才児)	3月	スポーツセンター	5歳児 178名	団体活動を通して、幼児に体を動かせることと、スキンシップを図ることで幼児同士の結びつきを重視し、遊びに必要な運動能力を伸ばし、運動の楽しさを学ぶ

(主催：財団法人千歳市体育協会)

〔2〕学校開放事業

学校体育施設（体育館、グラウンド）を広く市民スポーツの場に開放し、市民スポーツの振興を図ることを目的として実施し、市民の好評を得ています。

1 体育館

(1)使用申込み

利用希望団体は、利用する月の前月の15日までに管理指導員まで申し込む。

(2)開放期間・時間

開放期間 4月～3月 開放時間 平 日 17:00～21:00
土・日・祝日・学校の休業日 9:00～21:00

(3)開放学校

市内小中学校（東小学校を除く）

2 グラウンド

(1)使用申込み

利用希望者は、利用する月の前月の15日までに教育委員会スポーツ課スポーツ施設係まで申し込む。（受付：土・日・祝日を除く、9:00～17:00）

(2)開放期間・時間

開放期間 5月～10月 開放時間 平 日 5:00～7:00 17:00～19:00
土・日・祝日・学校の休業日 5:00～19:00

(3)開放学校

市内小中学校（東小学校、北進小中学校除く）

3 武道場

(1)使用申込み

利用希望団体は、利用する月の前月の15日までに管理指導員まで申し込む。

(2)開放期間・時間

開放期間 4月～3月 開放時間 平 日 19:00～21:00

(3)開放学校

勇舞中学校

4 利用状況

(1)利用人数

年度	体育館	グラウンド	計
21	123,297 人	56,529 人	179,826 人
22	121,140 人	57,246 人	178,386 人
23	119,151 人	56,110 人	175,261 人

(2)種目別利用状況(平成23年度)

体育館種目別利用状況

種目	利用状況	種目	利用状況
バスケットボール	26.4%	ミニバレーボール	7.8%
フットサル	22.6%	バレーボール	7.4%
野球	7.2%	空手	5.0%
バドミントン	10.1%	その他	13.5%

グラウンド種目別利用状況

種目	利用状況
野 球	74.1%
サッカー	25.9%

(3)開放校及び開放期間

	体育館	グラウンド	武道場
学 校 名	(通年) 千歳小・北栄小・末広小・緑小 千歳第二小・支笏湖小・日の出小 信濃小・高台小・祝梅小・桜木小 向陽台小・北陽小・泉沢小 北進小中・駒里小中 千歳中・青葉中・東千歳中・富丘中 北斗中・向陽台中・勇舞中	(5月～10月) 千歳小・北栄小・末広小・緑小 千歳第二小・支笏湖小・日の出小 信濃小・高台小・祝梅小・桜木小 向陽台小・北陽小・泉沢小・駒里小中 千歳中・青葉中・東千歳中・富丘中 北斗中・向陽台中・勇舞中	(通年) 勇舞中

〔3〕社会体育施設

1 千歳市温水プール

(1)施設の概要

所在地 千歳市流通3丁目1番9号 電話0123-49 - 7001

開設 平成10年7月20日

建築構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
地上2階地下1階

敷地面積 7,712.63 m²

延床面積 3,643.751m²

1階 2,766.254m²

2階 572.920m²

地階1 304.577m²

1階 プール、更衣室、待合ロビー、
観覧ロビー、会議室

2階 ロビー、多目的ホール、会議室、歓談室、空調機械室、電気室

地階1 濾過機械室、機械監視室
(施設設備)

プール室 競泳プール(財団法人日本水泳連盟公認25m、8コース)、流水
プール(周回距離44.9m)、幼児・低学年プール

ウォータースライダー(滑走路全長101.04m)

ジャグジー(2基)、寝湯(3人用)、採暖室、観覧席(119席)

ロッカー室: ロッカー数550(男264人分、女270人分、多目的16人分)



(2)沿革

新千歳空港24時間運用を巡る地域振興対策の一環として、平成9年4月に着工、10年5月に完成し、開設準備を経て平成10年7月20日から供用開始しました。

施設は、財団法人日本水泳連盟公認25m競泳プール8コースと、101.04mウォータースライダーや周回44.9m流水プールなどのレジャー的要素のプールを備えています。

平成21年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は株式会社苫小牧スコレです。

(3)運営方針

利用者が水に親しみ、心身の健全な発達及び健康の増進の場として、気軽に利用できる施設として、サービスの向上に努めています。

(4)利用案内、利用状況

ア 開館時間 10:00~21:00

イ 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、整備期間(2月)

ウ 利用状況(平成23年度)

区 分		延利用者数(人)
一般利用	未就学児	6,578
	小・中学生	19,739
	高校生	881
	一般	19,798
	65歳以上	7,609
	障がい者	7,126
	小計	61,731

区 分		延利用者数(人)
講習会	未就学児	4,900
	小・中学生	14,475
	一 般	143
	小 計	19,518
その他の事業		3,440
専用利用		3,433
小計		6,873

合計 88,122人

2 千歳市スポーツセンター

(1)施設の概要

所在地 千歳市真町176番地の2 電話0123-22 - 1111
 開設 昭和53年7月1日
 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階
 敷地面積 20,699.99㎡
 建築面積 3,371.57㎡
 延床面積 1階 3,169.83㎡
 中2階 237.84㎡
 2階 1,667.34㎡
 合計 5,075.01㎡



《主要施設》

収容人員 2階固定席 890席、1階移動席 1,500席、立見席 500席
 アリーナ 1,680㎡ (42m×40m)
 バスケットボール (2面)、バレーボール (3面)、バドミントン (8面)
 テニス (2面)、卓球 (35台)、体力テスト
 第2体育館 432㎡ (16m×27m)
 バレーボール (1面)、バドミントン (3面)、卓球 (6台)
 トレーニング室 149.39㎡ ランニングマシン他20種29台
 幼児室 91.65㎡

(2)沿革

昭和45年6月の「スポーツ都市宣言」以来、全市を挙げてスポーツの振興に力を注ぎ、千歳市開基90周年・市制施行10周年の記念事業として、このスポーツセンターの建設が決定された。51年7月の着工以来、2か年の工事期間を経て、53年3月31日に完成、同年7月1日から供用開始しました。

平成18年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は財団法人千歳市体育協会です。

(3)運営方針

市民すべてがスポーツに親しみ、健全な体力づくりの場として積極的に活用されるような施設運営に努めています。

(4)利用案内、利用状況

ア 開館時間 午前 9:00～12:00 午後 13:00～17:00 夜間 18:00～21:00
 イ 休館日毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、毎月最終金曜日の午前、年末年始
 ウ 利用状況（平成23年度）

区 分				延利用者数(人)
個人	アリーナ 及び 第2体育館	当日券	小中高	10,334
			一 般	12,481
		定期券	小中高	8
			一 般	1,306
		小 計		
	トレーニング	当日券	3,255	
		定期券	2,723	
		小 計	5,978	
	その他			2,122
小 計			32,229	

区 分		延利用者数(人)
団体	スポーツ	65,518
	そ の 他	10,234
	会 議	7,697
	小 計	83,449

合計 115,678人

3 千歳市開基記念総合武道館

(1)施設の概要

所在地 千歳市あずさ1丁目3番1号 電話0123-22 - 2100
 開設 平成5年6月1日
 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨 地上2階
 敷地面積 28,037.47 m²
 建築面積 6,567.23 m²
 延床面積 7,298.64 m²



《主要室》

アリーナ 1,553m²
 剣道6面、柔道4面（公式）
 バレーボール3面（6人制）
 バドミントン10面
 剣道場 450m² 剣道2面
 柔道場 450m² 柔道2面
 弓道場 463m² 近的28m²×6人立
 トレーニング室 179m² ランニングマシン15種29台
 会議室 114.3m²
 観覧席 279m² 固定席約500席

(2)沿革

千歳市開基記念事業として、この総合武道館の建設が決定された。

平成5年3月17日に完成し、同年6月1日から供用開始しました。

平成18年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は財団法人千歳市体育協会です。

(2)運営方針

利用者が武道に親しみ、心身の健全な発達及び健康の増進の場として、気軽に利用できるように施設運営に努めています。

(4)利用案内、利用状況

ア 開館時間 午前9:00～12:00 午後13:00～17:00 夜間18:00～21:00

イ 休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、毎月最終金曜日の午前、年末年始

ウ 利用状況（平成23年度）

区 分				延利用者数(人)
個人	アリーナ 及び 第2体育館	当日券	小中高	14,457
			一 般	13,607
		定期券	小中高	7,210
			一 般	11,354
		小 計		
	トレーニング	当日券	5,002	
		定期券	8,187	
		小 計	13,189	
	その他			865
小 計			60,682	

区 分		延利用者数(人)
団体	スポーツ	66,067
	会 議	3,691
	小 計	69,758

合計 130,440人

4 その他の社会体育施設

区分	施設名	所在地	利用期間・時間	施設概要
屋内	ふれあいセンター	あずさ1丁目1番13号	通年 9:00～21:00 休館:月の第2,4月曜、月の最終金曜午前、年末年始	鉄骨造平屋建 1,014 m ² 砂入り人工芝アリーナ ゲートボール2面、テニス1面
陸上	青葉陸上競技場	真町176番地の1	4月～10月	全天候舗装、3種公認400mトラック
野球場	千歳市民球場	泉沢868番地の22(青葉公園内)	4月～10月	面積25,000 m ² 、両翼95m、センター120m、本塁～バックネット周19m
	青葉球場	真町2196番地の1(青葉公園内)		面積21,000 m ² 、両翼94.4m、センター111.369m、本塁～バックネット周20m
	上長都公園野球場	上長都1051番地の17		面積7,868 m ² 両翼70m、センター85m
	若草公園野球場	若草5丁目4番地		面積21,475 m ²
	青葉少年野球場	真町176番地の3		面積6,870 m ² 、少年野球場1面
ソフトボール	あずまソフトボール場	青葉2丁目5番地の23	4月～10月	面積6,092 m ² 、ソフトボール場1面
	住吉ソフトボール場	住吉1丁目3番地		面積18,000 m ² 、ソフトボール場2面
	臨空公園ソフトボール場	泉沢1007番地の52		面積8,250 m ² 、ソフトボール場2面
ラグビー・サッカー	青葉公園ラグビー場	泉沢868番地の23	4月～10月	面積15,000 m ² 、
	青葉公園サッカー場	泉沢868番地の22		面積21,000 m ²
	青空公園サッカー場	あずさ1丁目1096番地		面積9,800 m ²
	臨空公園サッカー場	泉沢1007番地の112		面積15,914 m ²
広場	青葉多目的広場	真町176番地の3	通年	面積894 m ²
	青葉公園ピクニック広場	泉沢868番地の23	4月～11月	面積33,000 m ²
庭球場	青葉公園庭球場	真町2196番地の1	4月～10月	面積11,543 m ² 、人工芝、硬式7面、軟式5面
	上長都公園庭球場	上長都1051番地の19		面積1,404 m ² 、全天候型2面
	すみよし2号公園庭球場	住吉2丁目4番地		面積1,380 m ² 、クレイ2面
	末広東公園庭球場	末広3丁目29番地		面積800 m ² 、人工芝1面
	しゅくぶ公園庭球場	梅ヶ丘2丁目8番地の1		面積300 m ² 、人工芝1面
	つばさ公園庭球場	泉沢1007番地の127		面積2,730 m ² 、人工芝4面(夜間照明2面)
	上長都明星公園庭球場	上長都5番地の2		面積300 m ² 、人工芝1面
	向陽台公園庭球場	文京3丁目4番地の1		面積2,730 m ² 、人工芝4面(夜間照明2面)

区分	施設名	所在地	利用期間・時間	施設概要
水泳プール	青葉水泳プール	真町 176 番地の 3	6 月下旬～ 9 月上旬 10:00～17:00	コンクリートDNシート張(上屋付) 25m×10.7m、5 コース深度 1.1m～1.5m
	北栄水泳プール	北栄 1 丁目 10 番 3 号		コンクリートDNシート張(上屋付) 25m×13m、7 コース、深度 1.3m～1.4m
	日の出水泳プール	日の出 2 丁目 3 番 6 号		コンクリートDNシート張(上屋付) 25m×13m、7 コース 深度 1.1m～1.5m
	末広水泳プール	富丘 2 丁目 6 番 3 号		アルミ DN シート張(上屋付) 25m×13m、7 コース、深度 1.1m～1.4m
	東水泳プール	東丘 824 番地の 30		アルミ(上屋付) 20m×9m、3 コース、深度 0.9m～1.1m
	長都水泳プール	長都 42 番地の 1		ステンレス DN シート張(上屋付) 25m×10.2m、4 コース、深度 1.1m～1.4m
	北斗水泳プール	北斗 5 丁目 1 番 1 号		アルミ DN シート張(上屋付) 24m×10.2m、4 コース、深度 1.1m～1.4m
	向陽台水泳プール	若草 5 丁目 3 番地		アルミ DN シート張(上屋付) 25m×10.2m、4 コース、深度 1.1m～1.4m
	信濃水泳プール	信濃 2 丁目 34 番 12 号		アルミ DN シート張(上屋付) 25m×10.2m、4 コース、深度 1.1m～1.4m
	駒里水泳プール	駒里 945 番地		F R P(上屋付) 25m×7.82m、3 コース深度 1.1m～1.2m
	北陽水泳プール	北陽 3 丁目 9 番 1 号		F R P(上屋付) 25m×10.2m、4 コース深度 1.1m～1.4m
スケート	青空公園スケート場	あずさ 1 丁目 1096 番地	12 月～2 月 9:00～20:00	面積 8,628 m ² 、1 周 400m公認、夜間照明付、夏期ローラースケート場
	日の出スケート場	日の出小学校	1 月～2 月 8:30～16:00	1 周約 200m
	祝梅スケート場	祝梅小学校		1 周約 180m
	高台スケート場	高台小学校		
	向陽台スケート場	向陽台小学校		
	信濃スケート場	信濃小学校		
	桜木スケート場	桜木小学校		
	北栄スケート場	北栄小学校		
	千歳スケート場	千歳小学校		
	緑スケート場	緑小学校		
	北陽スケート場	北陽小学校		
	千歳第二スケート場	千歳第二小学校		
	泉沢スケート場	泉沢小学校		
	支笏湖スケート場	支笏湖小学校		1 周約 140m
スキー	千歳市市民スキー場	泉沢 1017 番地の 7	12 月～3 月 9:00～17:00 ナイター期間中 9:00～21:00	面積 52,000 m ² 、管理棟 175 m ² 、標高差 48m、最大斜度 27 度、降滑長 250m キャリーエース 1 基
	歩くスキーコース	青葉公園	12 月～3 月	歩くスキークラシカルコース 3.2km、フリースタイルコース 7.2km、冬期間のウォーキングコース 3.2km

VIII 教育委員会議の開催状況

平成 23 年における教育委員会会議の開催状況

回数	開催日	議 案
1	平成23年1月14日	千歳市生涯学習基本計画の素案について
2	平成23年1月24日	千歳市生涯学習基本計画について ほか
3	平成23年2月21日	千歳市議会第1回定例会教育行政報告について ほか
4	平成23年3月11日	千歳市教育委員会生涯学習推進アドバイザー等の設置に関する規則の一部を改正する規則の制定について ほか
5	平成23年3月22日	教育委員会職員の任免について ほか
6	平成23年4月23日	千歳市奨学生選考委員会委員の委嘱について ほか
7	平成23年5月20日	千歳市議会第2回定例会教育行政方針及び教育行政報告について ほか
8	平成23年6月27日	千歳市社会教育委員及び千歳市公民館運営審議会委員の委嘱について ほか
9	平成23年7月25日	平成22年度指定管理者モニタリング報告について ほか
10	平成23年8月29日	中学校用教科用図書の採択について ほか
11	平成23年9月15日	千歳市議会第3回定例会教育行政報告について ほか
12	平成23年10月21日	千歳市立学校通学区域規則の一部を改正する規則の制定について ほか
13	平成23年11月14日	千歳市議会第4回定例会教育行政報告について ほか
14	平成23年12月16日	平成24年度以降のミアーズ中学校交流事業の実施について